

付属品の確認



設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。

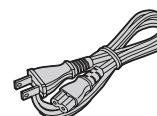
- イラストはイメージイラストであり、実物とは形状が異なる場合があります。
- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

< >は個数です。

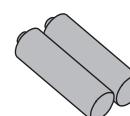
□リモコン<1>
(☞ 10ページ)



□電源コード<1>
(☞ 9ページ)



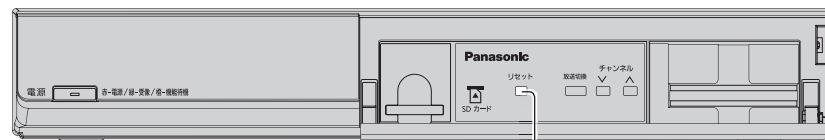
□単3形マンガン乾電池...<2>
(リモコン用) (☞ 11ページ)



リモコン、本体ボタンの操作で正常に動作しない場合

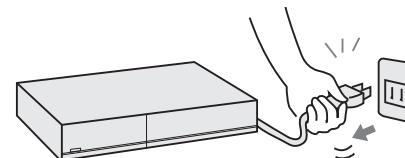
下記の方法で本機をリセットしてください。

- 方法1 本体前面の扉を開け、リセットボタンを押す。



リセットボタンを押す。

- 方法2 電源プラグを一度抜き、約1分後に再度電源プラグを差し込む。



愛情点検

長年ご使用の CATV デジタルセットトップボックスの点検を！



こんな症状は
ありませんか？

- 映像も音も出ない。
- 映像が時々消える。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため
記入されると
便利です。

ご加入（契約）日 年 月 日 品 番 TZ-HXT700PW

ケーブルテレビ局
および
お客様相談室 () -

ID 番号

76 ページの「情報を見る」「IC カード」画面で確認できる「カード ID」と「CATV-ID の STB-ID」を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。

ID 番号 C-CAS カード (カード ID)

B-CAS カード (カード ID)

CATV-ID (STB-ID)

CATV デジタルセットトップボックス TZ-HXT700PW 取扱説明書

4K



Panasonic®

取扱説明書

CATV デジタル
セットトップボックス

品番 TZ-HXT700PW



- このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございました。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」(☞ 122~125ページ) を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

G-GUIDE®

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

SD XC™

dlna
CERTIFIED™

AVCHD™



パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015

TQBX0407
S1215-0

もくじ

ページ 確認

- 4 本機の特長と楽しみかた**
6 使用上のご注意
8 各部のはたらき
8 本体前面
9 本体背面
10 リモコン
11 基本操作のしかた

ページ 番組を見る

- 12 テレビ放送を見る**
13 いろいろなチャンネルの選びかた(選局)
14 番組の内容を見る、裏番組から番組を選ぶ
15 多重音声放送(二重音声、マルチ音声)のとき、番組のタイトルなどを表示する
16 有料番組を見る(ペイ・パー・ビュー)
18 サブメニューを表示する
20 番組表を使う
20 今すぐ番組を見る、番組表の日時を変える、番組表の表示チャンネル数を変える、表示内容を変える
21 番組表をチャンネル別に表示する、注目番組を探す、視聴年齢制限のある番組を一時制限解除する、番組データ取得する、別の放送の番組表を表示する、番組表から録画予約する(簡単予約)
22 お好みの番組を探す
22 番組をフリーワードで探す、ジャンル別に探す
23 キーワードで探す、人名で探す
24 注目番組で探す
25 データ放送を見る
25 データ放送のある番組が確認するとき、ハイブリッドキャストについて

ページ 録画・再生

- 26 録画について**
28 USBハードディスクの接続
28 本機とUSBハードディスクを直接接続する
30 USBハードディスクの設定
30 機器登録する(番組録画・再生用)、USB機器一覧を確認する、USBハードディスクを取り外す
31 USB ハードディスクの起動設定

「安全上のご注意」を必ずお読みください (122~125ページ)

ページ アプリを使う

- 58 ホーム画面**
60 アプリ一覧
61 スマートフォンの写真/動画を見る [ミラーリング]
62 接続機器一覧
64 インターネットを利用した情報を見る [ブラウザ]

ページ 便利に使う

- 67 文字を入力する**
67 リモコンボタン(携帯電話)方法
68 画面キーボード方法
69 その他の機能を使う
69 3D番組を見る、音声ガイド
70 使いかたに合わせて設定を変える
70 字幕や文字スーパーを設定する、録画時の設定を変える
71 順送りできるチャンネルを設定する、二重音声の設定を変える、番組タイトルなどの表示を消す、本体表示窓の明るさを変える
72 チャンネルの入力方式を設定する、ハイブリッドキャストを設定する、音声ガイドの設定を変える
73 有料番組や視聴年齢制限を設定する
76 いろいろな情報を見る
76 放送メールを見る、購入した有料番組を確認する、有料番組の購入記録、データ放送の送信記録などを確認する、B-CAS/C-CASカードの番号などを見る
77 CSデジタル放送の情報を見る、本機に関する情報を見る、ソフト情報表示を見る、ルート証明書の情報を見る、ダビングの履歴を見る

ページ 接続・設定

- 78 ケーブルテレビ宅内線の接続、テレビの接続**
79 B-CAS/C-CASカードの挿入
80 ネットワークへの接続
81 本機のWAN端子にPCを接続する
83 本機と録画機器(DLNA対応機器)を直接接続する
84 設置設定
84 チャンネル設定
87 番組表設定、地域設定

- 88 接続テレビの設定
89 本機のHDMI出力端子から出力される映像信号について
90 クイックスタート、無操作自動オフ、C-CAS/B-CASカードテスト
92 ネットワーク関連設定
92 LAN通信設定
95 プロキシサーバー設定
96 本機の名称変更、お部屋ジャンプリンクを設定する
97 有害サイトの閲覧を制限する
98 宅外リモート接続設定
99 新しい情報のダウンロード方法を選ぶ
99 ダウンロード予約する、ネットワークを利用してソフトウェアを更新する
100 設定をリセットする
100 個人情報をリセットする、内蔵ハードディスクを全消去する(HDDフォーマット)

外部機器の接続

- 101 本機とテレビの電源を連動させる**
101 テレビの電源と連動する、ECOスタンバイ
102 オーディオ機器の接続と設定
102 音声の出力先を切り換える(ピエラリンク制御)
104 ピエラリンク(HDMI)を使う
106 ピエラのリモコンで本機を操作する

ページ 必要なとき

- 110 リモコンについて**
110 テレビのメーカー設定
111 リモコンモードの設定、リモコンボタンでの入力文字一覧表
112 アイコン一覧
114 設定メニュー
115 同時動作と優先動作について
116 故障かな!?
120 メッセージ表示一覧
126 仕様
127 無線LAN使用上の注意
128 商標などについて、お手入れについて
129 Web Browser利用規約
130 さくいん

本機の特長と楽しみかた

デジタル放送を楽しむ

本機は、地上・BSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。4K放送にも対応しています。4K対応テレビ(HDMI 2.0/HDCP2.2対応端子搭載)に接続することで、ハイビジョン放送の約4倍の画素数で更に高画質な4K番組を視聴することができます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により放送内容が異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

地上デジタル

地上波のUHF放送(13~52ch)の周波数帯を使って行うデジタル放送で、高画質な映像や多チャンネルの番組以外に地域密着型のデータ放送なども行われています。

BSデジタル

プロードキャスティング・サテライト(Broadcasting Satellite)を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOWなどの有料放送は、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

CATVデジタル

ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

データ放送・ハイブリッドキャスト

- 画面上の説明に従って操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。例えば、BS103を視聴中にリモコンのデータボタンを押すと、NHKデータ放送で送られている天気予報などがご覧になります。(2015年12月現在)
- 本機はデータ放送の新サービス「ハイブリッドキャスト」に対応しています。本機をインターネットに接続し、ハイブリッドキャスト対応の番組を視聴中にリモコンのデータボタンを押すと、ハイブリッドキャストを起動します。(2015年12月現在)

番組表を使う

- 画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。
(8日分：ご加入のケーブルテレビ局により異なります)
- 番組表から選局や録画予約ができます。
 - 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送、BSデジタルの番組表はBSデジタル放送、CATVの番組表はCATV放送と一緒に送られています。
- ※本機の番組表は、Gガイドを使用しています。

番組を探す

- 今の時間帯で放送されている他の番組(裏番組)が一覧できます。
- 「フリーワードで」「ジャンル別に」「キーワードで」「人名で」の条件を指定して内容を探し、視聴や予約ができます。

ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入できる有料番組)

画面上で購入操作をすることで、番組の視聴や録画ができます。
ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

番組を録画する

- ハイビジョン放送、4K放送を高画質のまま、簡単に録画することができます。次の方法で録画することができます。
 - 内蔵ハードディスク録画
 - USBハードディスク録画(USBハードディスクの登録が必要です。)
本機とUSBハードディスクをUSBケーブルで接続することで録画・再生ができます。
 - LAN録画^{※1}
本機と録画機器^{※2}をLANケーブルで接続することで、本機で受信した番組を録画機器で録画ができます。(本機と録画機器の両方でネットワーク設定が必要です。)
※1 4K放送はLAN録画できません。
 - JLabs SPEC-020(一般社団法人 日本ケーブルラボが策定した仕様)に準拠した録画機器。
- 2番組同時に録画できます。
(内蔵ハードディスク録画×2番組、USBハードディスク録画×2番組、内蔵ハードディスク録画+USBハードディスク録画、内蔵ハードディスク録画+LAN録画、USBハードディスク録画+LAN録画)
- 内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスク録画では、録画中の番組を再生することができます。

ダビングする

- 内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスクに録画(保存)された番組を、ネットワーク接続された録画機器へダビング(ムーブ/コピー)できます。
- ※4K放送を録画した番組は、ダビングすることはできません。
- 「いますぐダビング」「あとからダビング」の2つのダビング方法があります。
 - ダビング機能を使用するにはJLabs SPEC-020(一般社団法人 日本ケーブルラボが策定した仕様)に準拠した機器が必要となります。また、この規格に準拠したスマートフォンなどのモバイル機器にダビングできます。

お部屋ジャンプリンク／ホームサーバー機能

- 同じネットワークに接続しているDLNA対応機器に対して操作できます。
- お部屋ジャンプリンク**: DLNA対応機器の録画番組を本機で視聴することができます。
- ホームサーバー機能**: 本機で受信中の番組(放送配信)や本機の録画番組(録画配信)を、DLNA対応機器(録画機器やテレビ、スマートフォンなどのモバイル機器)で視聴することができます。
- ※4Kの放送や、4Kの録画番組を配信することはできません。
また、4Kの放送と録画番組を、解像度を変換してモバイル機器へ配信することもできません。
- ※4Kの放送視聴中、4Kの録画番組を再生中、4Kのメディアコンテンツを再生中は、モバイル機器への配信はできません。また、モバイル機器への配信中に4Kの視聴および再生を行うと、配信が中断されます。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

【パスワードロック機能】

- パスワード(暗証番号)を設定することで、インターネットへのアクセスを制限することができます。
- パスワード(暗証番号)設定方法(※73ページ「制限項目設定」)
 - インターネットへのアクセス制限方法(ブラウザ制限を[ブラウザ]ボタンを押したときに暗証番号の入力が必要となる設定にする)(※65ページ「ブラウザ制限」)

【フィルタリング機能】

デジタルアーツ株式会社提供の有害サイトフィルタリングサービス「i-フィルター」(有料)をご利用いただけます。(※97ページ「フィルタリングを設定する」)

使用上のご注意

本機は放送内容、ご使用環境、接続されている機器との組み合わせや、外部からの雑音などの影響によりリモコンによる操作ができなくなるなど、まれに正常に動作しないことがあります。

この場合は、本体前面(扉内)のリセットボタンを押していただくか、電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み、動作を確認してください。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。

本機の受信周波数帯域(90 MHz～1000 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

本機の通風孔をふさがないようにしてください。

本機は放熱のため、天面の一部で温度が高くなることがあります。品質、性能には異常ありませんが、内部温度の上昇をおさえるため冷却用ファンや通風孔をふさがないようにして、風通しのよい所に設置してください。

本機の上に他の機器を置いたり、他の機器の上に本機を置かないでください。

他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

視聴記録の送信について

ICカードに記録されている視聴記録データは、定期的に自動送信されます。

本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。

電源プラグを抜いたり、電源を「入」にしているとダウンロードが実行されません。

ダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。

長時間動かない画像を映さないでください。

本機に接続されたテレビやプロジェクターに、動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- 本機は ARIB (電波産業会) 規格および日本ケーブルラボ仕様に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CAS カードおよび C-CAS カードは地上・BS・CS デジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 放送やネットワークのサービスには当社およびご加入のケーブルテレビ局以外の第三者であるサービス事業者が運営するものが含まれています。当社及びケーブルテレビ局は、当該サービスに関する一切（予告なくサービス内容の変更や終了する場合等）について何らの保証も責任も負いません。

内蔵ハードディスク (HDD) に関するご注意

ハードディスクは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です。設置環境や取り扱いにより、録画や再生ができなくなる場合があります。以下のことに注意してください。

- 振動や衝撃を与えない
- 水平に設置して、傾けたり不安定なところに置かない
- 電源プラグをコンセントに接続しているときは、本機を動かさない
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源表示ランプが赤色の状態のときに抜く
- 本機を移動させるときは、電源プラグをコンセントから抜いて 2 分程度待ってから移動する

HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…

HDD 内に不具合箇所があると、録画時や再生時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにダビングして、修理をご依頼ください。HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

二度と録画できないような大切な録画の場合は、事前に試し録画を行い、正しく録画できていることを確かめておいてください。

本機を使用中、不具合により、録画されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

- 停電などが起こったときは、録画・再生中の内容や、HDD に録画した番組内容（データ）が損なわれる場合があります。

表示窓の「HDD」の文字が消灯しているときは

HDD が自動的に休止状態になっています。

- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。

本機から HDD の動作音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

HDD の品質を維持させるため、本機では、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- HDD が休止状態になるとき
- 電源切／入時

本機を使用環境条件以外の高温や低温になる所では使用しないでください。

使用温度 (5 ℃～40 ℃) 以外で使用されると内蔵ハードディスクの保護機能が働き、動作しない場合があります。たばこの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて、急に部屋の温度が上がった場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。

- 部屋の温度になじむまで、電源を切ったままにしておいてください。（約 2～3 時間）
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所（湯気が立ち込めるなど）には設置しないでください。

録画内容の補償に関する免責事項について

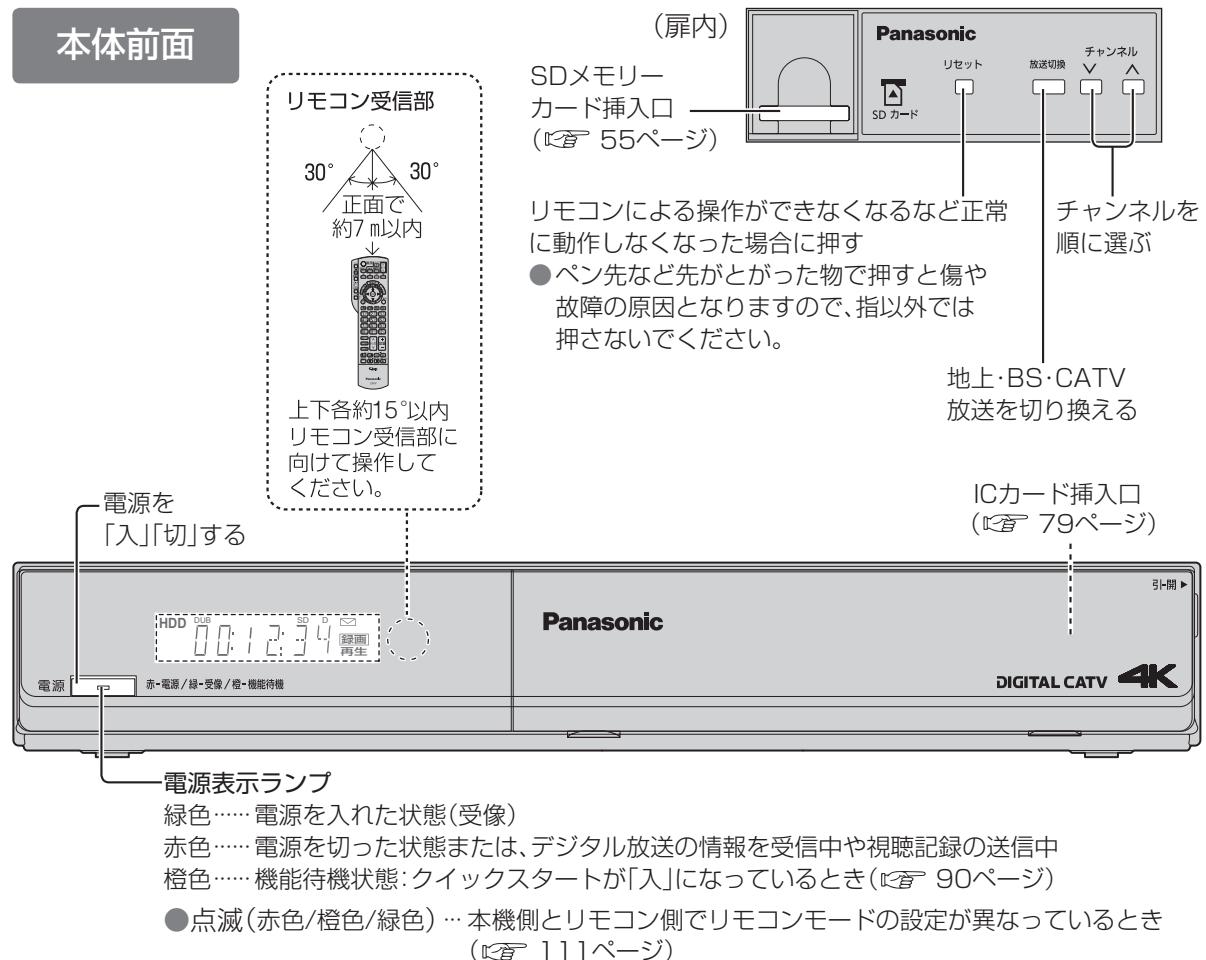
何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD 以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

確認

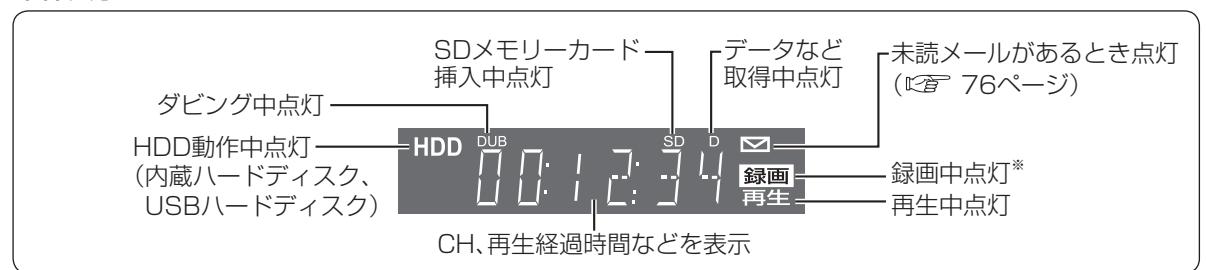
使用上のご注意

各部のはたらき

本体前面



本体表示窓



※本体表示窓の「録画」が点灯表示されても録画はされない場合があります。
(デジタルコピー禁止(コピーネバー)の番組を録画予約し、録画予約が実行された場合など)

お願い

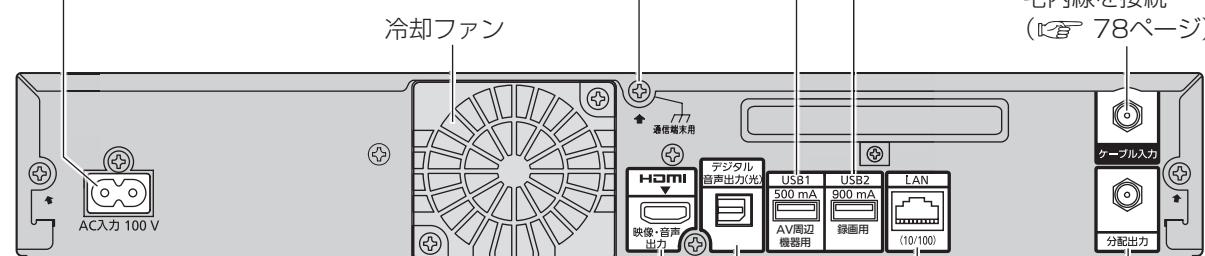
- 録画を中止したい場合は、停止ボタンを押してください。([32ページ](#))
- 電源「切」時(電源表示ランプが赤色の状態)でも、デジタル放送からの情報受信や有料番組の視聴記録の送信を自動的に行います。
- 最新の番組情報の取得とダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。

本体背面

付属の電源コードを接続
電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信や視聴記録の送信を自動的に行っていきますので、ICカードの抜き差し時や異常時以外は抜かないでください。

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

電気通信事業法に基づく通信端末用アース端子



HDMI入力端子のあるテレビを接続([78ページ](#))

光デジタル音声入力端子のあるオーディオ機器を接続([102ページ](#))

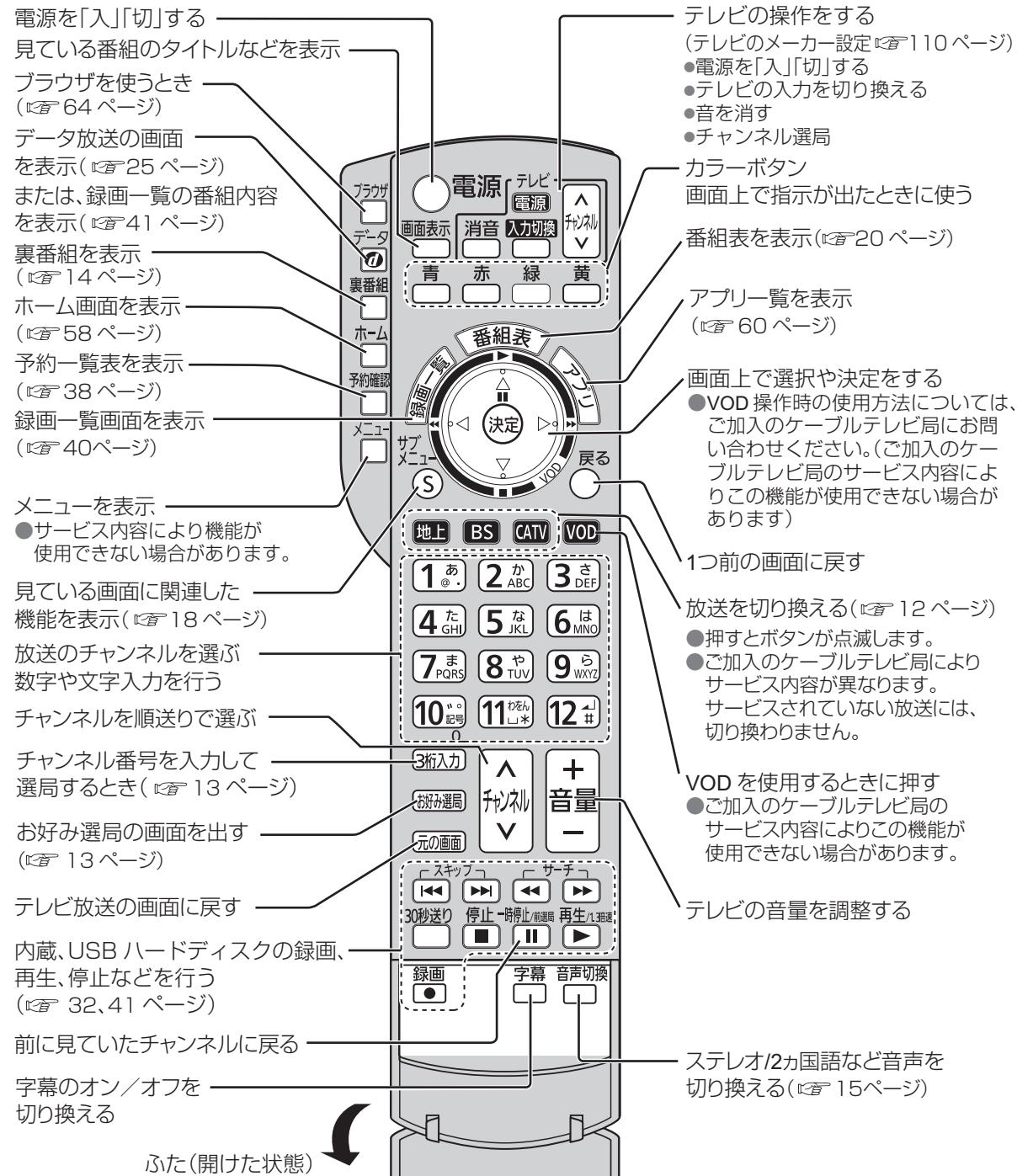
- ブラウザ用のネットワーク機器を接続([80ページ](#))
- DLNA対応の録画機器を接続([80、82、83ページ](#))

USB端子について

- 動作確認した機器については、下記のサポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html> (2015年12月現在)

各部のはたらき

リモコン

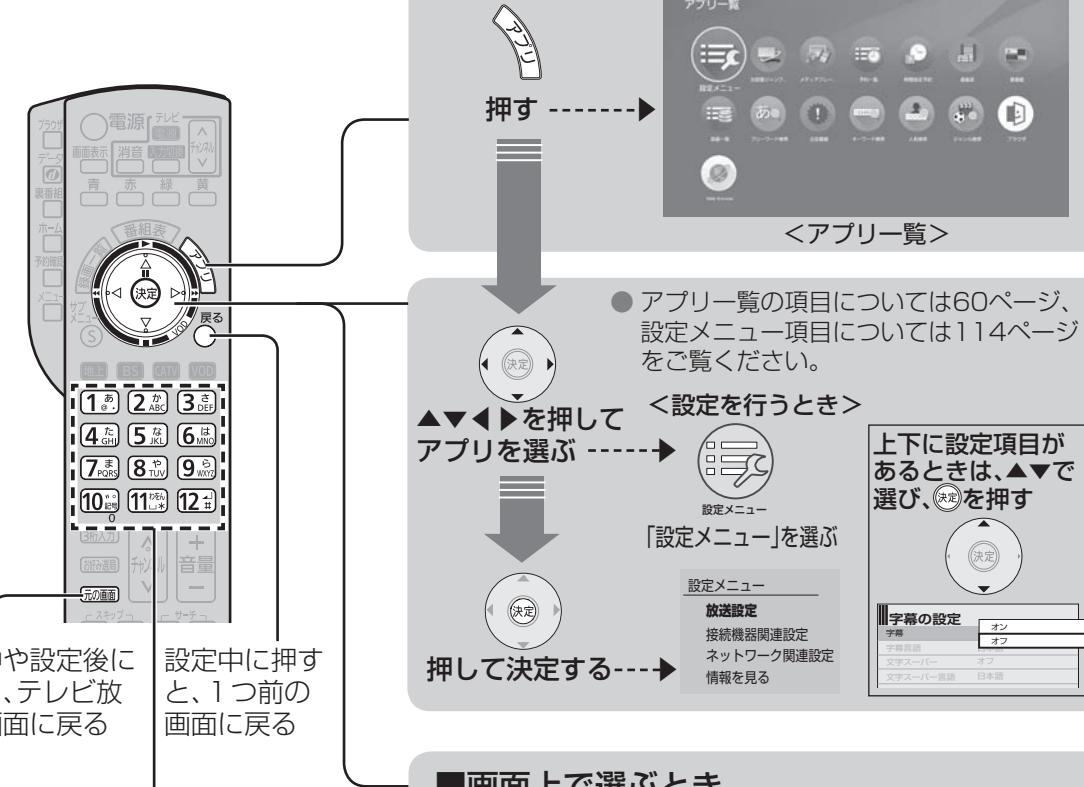


お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光やインバータ蛍光灯の強い光が当たらない場所に設置してください。
- 乾電池の液漏れを防ぐためリモコンの乾電池は単3形マンガン乾電池をご使用ください。

基本操作のしかた

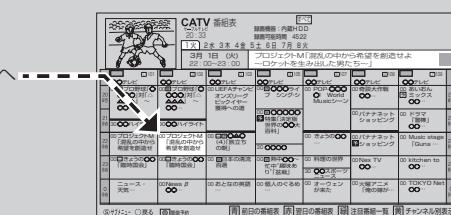
■アプリを使う／設定を行うとき



■数字を入力するとき

リモコンボタン	入力文字 (表示内容)
1 あ. ~ 9 ら	1~9
10 記号 0	0
11 ねん *	*
12 #	#

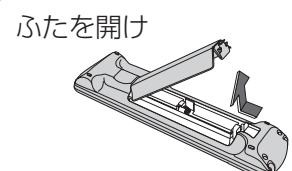
- 文字入力について (☞ 67, 68 ページ)



■本取扱説明書では

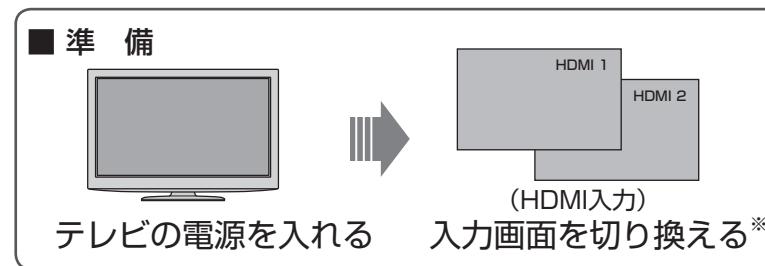
- で選択する操作を ▼▲ で説明しています。
- で選択する操作を ◀▶ で説明しています。

リモコンの電池の入れかた



テレビ放送を見る

戻る
戻る、元の画面でテレビ全画面表示に戻ります。



1 電源を入れる

2 選局入力方式が「プリセット」の場合は放送を選ぶ

- 選局入力方式が「3桁入力」の場合はそのまま手順③へ

■放送切換ボタン

→押すとボタンが数回点滅します。

地上 地上デジタル放送

BS BSデジタル放送

CATV CATVデジタル放送

(CATVの放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります。)

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

3 チャンネルを選ぶ

■選局ボタン

1番 数字ボタンでチャンネルを選ぶ

■選局入力方式が「プリセット」の場合

押すとボタンに登録した放送局を選局します。
(はじめに**3桁入力**を押すと「3桁入力」もできます。)



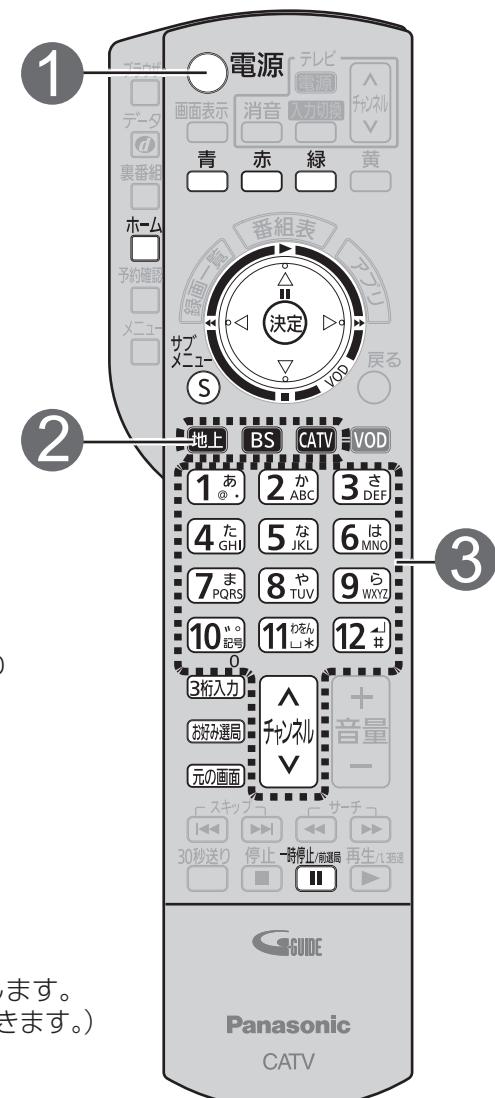
順送りで選ぶ

- 押すたびに、受信できるチャンネルを順々に選局します。
- 選局対象とチャンネルアップ/ダウンで設定したチャンネルが選局できます。(☞ 71ページ)



前に見ていたチャンネルに戻る

*本機のリモコンでテレビの電源を入れたり、入力切換を行うことができます。(☞ 110ページ)



いろいろなチャンネルの選びかた(選局)

お好み選局表から選ぶ

1 **お好み選局** を押す

- 青、赤 押すたびに、ページが切り替わります。

お好み選局 1 / 3ページ		
① 101	② 102	③ 103
LOGO	LOGO	LOGO
④ 141	⑤ 151	⑥ 161

2 ▶▶◀◀で見たいチャンネルを選び、**決定** を押す

- 受信されている放送のみ表示されます。
- CATVのお好み選局は設定されています。
- ご自由に設定し、ご活用ください。

■BSデジタル放送のボタン割り当て (工場出荷時)

番号	チャンネル	番号	チャンネル	番号	チャンネル	番号	チャンネル
1番	101	4番	141	7番	171	10番	200
2番	102	5番	151	8番	181	11番	211
3番	103	6番	161	9番	191	12番	222

- お好み選局の2、3ページ目にも割り当てがあります。
- 地上デジタル放送やCATVデジタル放送の設定内容は、ご加入のケーブルテレビ局により異なります。

3桁チャンネル番号を入力して選局する

1 **3桁入力** を押す

- 1番～10番で3桁番号を入力する
例:「地上デジタル101」チャンネルを選ぶとき

10秒以内 10秒以内

- 数字ボタンを押して10秒以上経つと、押したボタンで(プリセット)選局されますのでご注意ください。
- 3桁入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、下図のような選択パネルを表示します。

LOGO	地上 D 101
LOGO	BS 101
LOGO	C 101

▼▲で見たい放送を選んで、**決定** を押してください。

- ボタンを押して、10秒経つか、または**決定** を押すと、プリセットで選局できます。

お知らせ

- 番組表で選局するには(☞ 20ページ)
- 数字ボタン(1～12)で選局するチャンネルを変更するには(☞ 84～86ページ)
- チャンネル表示を制限するには(☞ 86ページ)
番組表の表示やチャンネル選局、お好み選局において、視聴できるチャンネルのみ表示されるよう設定できます。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により選択できない場合があります。

■地上デジタル放送で、枝番号の異なる放送を選局する場合

- (枝番号とは同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。)
- 枝番号のある地上デジタル放送を受信中に、サブメニューボタンを押す
 - ▼▲で枝番選局を選び、決定する
 - 表示された放送局リストから、見たい放送を選び、決定する
 - 手順③で緑ボタンを押すと、選択中の枝番の放送局にマークが付きます。
(チャンネル番号入力時は、その枝番の放送局を選局します)

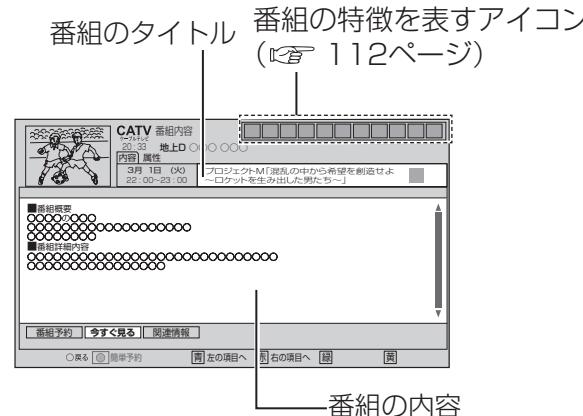
テレビ放送を見る

番組の内容を見る

番組を見ているときに番組の内容を見ることができます。

1 を押す

2 ▲▼で「番組内容」を選び、
 を押す



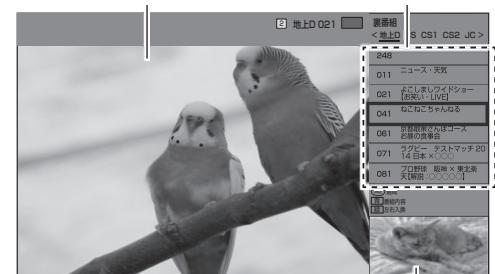
■アイコンで表示している番組の詳しい内容(属性)などを見たいとき
赤 を押す (で番組の内容に戻る)

裏番組から番組を選ぶ

今放送中の裏番組を子画面で確認し切り換えることができます。

1 を押す

視聴中の番組(大画面) チャンネルリスト

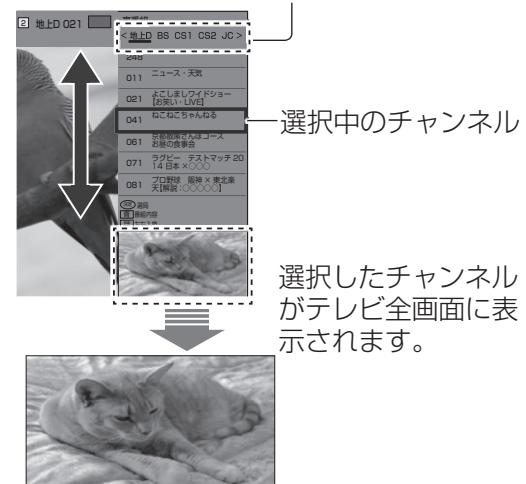


裏番組(子画面)

- : 子画面と大画面を入れ替える
- : 番組内容を表示する
(再度、 を押すと映像に戻る)

2 ▲▼でチャンネルを選び、
 を押す

● ▲▼で放送を切り替えできます。



お知らせ

- 下記の場合、裏番組(子画面)に番組内容が表示されます。
 - ・2番組録画中
 - ・視聴中の番組(大画面)が4K放送のとき
 - ・裏番組のチャンネルリストで4K放送を選択したとき

● 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

多重音声放送(二重音声、マルチ音声)のとき

多重音声放送のときには、音声を切り換えることができます。

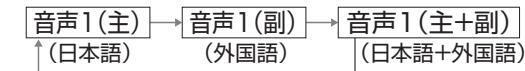
音声切換

(リモコンのふたの内部)を押す

- 押すたびに音声が切り換わります。

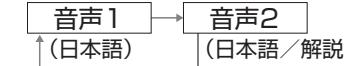
■二重音声 (1つの音声に主音声と副音声が含まれる)

例



■マルチ音声 (複数の音声が含まれる)

例



お知らせ

- 放送によっては、「主」で外国語、「副」で日本語の場合があります。
- 切り換えた音声が有料の場合もあります。

番組のタイトルなどを表示する

番組を見ているときは…

画面表示

を押す

<例> 内蔵ハードディスクで番組を録画中

番組についての情報
(チャンネル名、タイトル、開始・終了時刻)
※次番組に切り替わる前には、下枠に次番組の情報が表示されます。



リモコンボタン ~ 未読メール表示
(それ以外のときは空白)

しばらくして…



↓

画面表示

再度、 を押すと表示は消えます。

録画した番組を再生しているときは…

画面表示

を押す

再生経過時間



しばらくすると消えます。

テレビ放送を見る

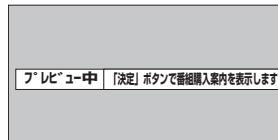
- 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

有料番組を見る(ペイ・パー・ビュー)

- デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、ご加入のケーブルテレビ局との契約が必要です。
- ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入できる)の番組を視聴、録画するには、ご加入のケーブルテレビ局とペイ・パー・ビューの契約と画面上での購入操作が必要です。
- LANケーブルでケーブルモデムなどとの接続が必要な場合があります。
(☞ 80、82ページ)

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局したとき (番組によっては、プレビュー*が表示される)

① 決定 を押す



* プレビューとは、有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービスです。

2 ◀▶で項目を選び、②を押す



● 番組により、選べる項目が変わります。

購入する

番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

購入しない

番組を購入しません。

視聴購入

(料金を払うと視聴できるときのみ表示)
番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

録画購入

(料金を払うと録画できるときのみ表示)
番組を購入したことになり視聴および、録画ができます。

確認画面が表示された場合は、表示内容を確認し操作してください。

お知らせ

● コピーガードについて

デジタル放送には、録画できないようにしている(コピーガードのある)番組があります。その番組は正常に録画できません。コピーガードを解除できない番組は「録画購入」の項目が表示されません。

● 購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。また、番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されます。

テレビ放送を見る

- 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

サブメニューを表示する

1 サブメニューを押す

→現在の画面に関連したサブメニューが表示されます。

2 ▲▼で項目を選び、決定を押す

<例:番組視聴中のとき>

サブメニュー	
番組内容	— 14ページ
視聴制限一時解除	— 73、74ページ
受信状況	— 右記
枝番選局	— 13ページ
信号切換	— 右記
データ放送表示オフ	—
画面モード切換	— 19ページ
スピーカー切換	— 103ページ
オフトイマー	— 下記

●押す前の画面によってサブメニューの項目は変ります。

オフトイマー

3 ▲▼で時間を見、決定を押す

画面モード切換	オフ
スピーカー切換	15分
オフトイマー	30分
選択	60分
決定	90分
戻る	120分

●電源が切れる3分前から「3分後」「2分後」「1分後」と点滅表示します。

●残り時間を知りたいときは⑤を押す。
オフトイマーの項目に残り時間を表示します。

スピーカー切換
オフトイマー (残り15分)

データ放送表示オフ

データ放送を終了させることができます。

●①で再度表示させることができます。

データ
①を押すまでデータ放送は、起動されません。

信号切換

マルチビュー対応の放送*や1つの番組に複数の映像や音楽のある放送の場合に「信号切換」を選び、決定すると、切り替えができる信号の選択画面になります。

3 ▲▼で変更したい設定を見、決定を押す

4 ▲▼で設定内容を見、決定を押す

*マルチビューとは1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

お知らせ

- 信号切換で表示される設定項目は、番組によって変わります。
- 信号切換で切り換えた映像が有料の場合もあります。

受信状況

受信している信号の強さなどを表示します。



お知らせ

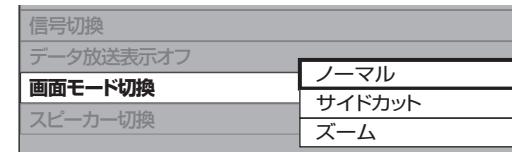
- 受信状況の表示は簡易表示であり、確認のめやすです。

サブメニューを表示する

画面モード切換(画面の黒帯を消す)

額縁表示の場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

3 ▲▼で設定したい画面モードを見、決定を押す



ノーマル

通常の出力

サイドカット

ワイド(16:9)放送の左右の黒帯を消して拡大表示します。
黒帯が無い映像の場合、左右の映像がカットされますので、ご注意ください。



ズーム

ノーマル(4:3)放送の上下の黒帯を消して拡大表示します。(ノーマル放送以外では機能しません)
黒帯が無い映像の場合、上下の映像がカットされますので、ご注意ください。



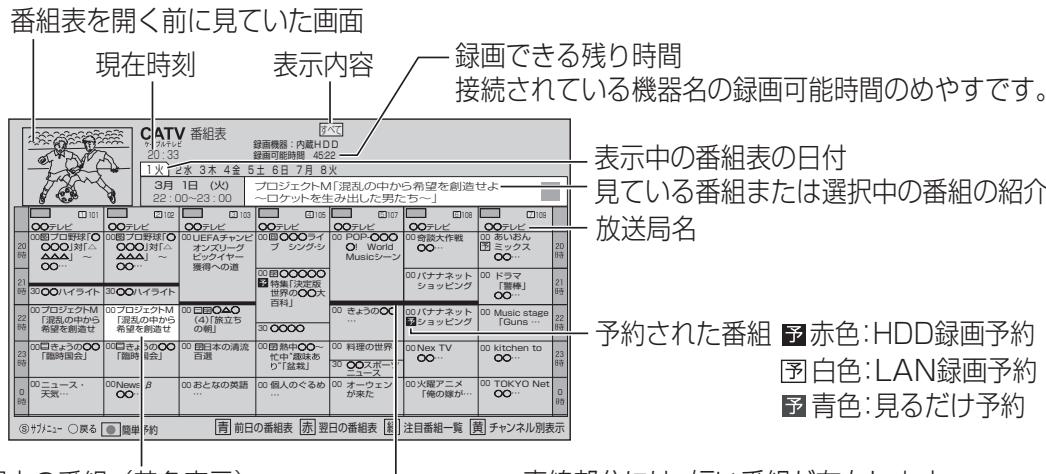
お知らせ

- 選局操作や電源を「切」「入」したり、「元の画面」ボタンを押したり、接続テレビ設定を変更すると、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
- 4K放送およびデータ放送画面のときは、画面モード切換は機能しません。
- このページで記載している画面イラストは動作の一例です。
(接続するテレビやテレビ側の画面設定によっては動作が異なる場合があります)

番組表を使う

画面上にテレビ番組表を表示します。
(最大8日分:ご加入のケーブルテレビ局により異なります。)

番組を見ているときに…  を押す



今すぐ番組を見る

1 で見たい番組を選び、
 を押す

2 で「今すぐ見る」を選び、
 を押す



番組表の日時を変える

前日の番組表を表示する:  を押す

翌日の番組表を表示する:  を押す

番組表の表示チャンネル数を変える

1 番組表を表示中に  を押す

2 で「表示チャンネル数」を
選び、 を押す

3 で表示させたいチャンネル数
を選び、 を押す

表示内容を変える

1 番組表を表示中に  を押す

2 で「表示内容」を選ぶ

3 で表示させたい表示内容を
選び、 を押す

表示内容については(選局対象  71ページ)

- 設定中、で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、でテレビ放送の画面に戻します。

番組表をチャンネル別に表示する

1つのチャンネルの番組表を最大8日分を表示します。

1 番組表を表示中に  を押す

●再度、を押すと全チャンネル表示に戻ります。

注目番組を探す

1 番組表を表示中に  を押す

(番組の探しかたは  24ページ)

●再度、を押すと番組表に戻ります。

視聴年齢制限のある番組を一時制限解除する

本機の「視聴可能年齢」( 73、74ページ)の設定を超える視聴制限番組は表示されません。

表示するためには以下の操作を行ってください。
●視聴年齢制限のある番組は「…」と表示されます。

●「…」と表示される番組でもケーブルテレビ局の運用により、選局できる場合があります。

1 番組表を表示中に  を押す

2 で「視聴制限一時解除」を
選び、 を押す

3 暗証番号を入力する

番組データ取得する

1 番組表を表示中に  を押す

2 で「番組データ取得」を
選び、 を押す

別の放送の番組表を表示する

1 を押す

→押すごとに表示する放送局が順番に移動していきます。

地上デジタル → BSデジタル → CATVデジタル

(ご加入のケーブルテレビ局により異なります。)

● 地上   でも放送が切り換わります。

●  →「表示CH」でも切り換えられます。

番組表から録画予約する(簡単予約)

1 番組表を表示中に  (リモコンのふたの内部)を押す

(設定の詳細は  32ページ)

番組表をお使いになるために…

本機は電源を切っていても、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。電源を切るときは、電源プラグをコンセントから抜かないで、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。

お知らせ

●地上デジタル放送の番組表について

受信可能な放送局で番組表が表示されない場合は、その局を選んで、決定ボタンを押すと表示されます。(数分かかることがあります。)

●3桁入力ボタンを押して数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力すれば、指定したチャンネルが表示されます。

録画について

録画方法について

ハイビジョン放送、4K放送を高画質のまま、簡単に録画することができます。
次の3つの方法で録画することができます。

■内蔵ハードディスク録画

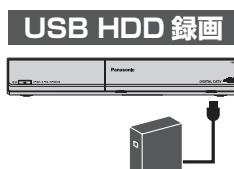
本機の内蔵ハードディスクを使って録画する方法です。



- 別途、機器を接続・設定などは必要なく、すぐにお使いになれます。
- 見ている番組をボタン一つで録画開始したり、放送予定の番組を番組表から選んで簡単に録画予約することができます。
(☞ 32~37ページ)
- 録画した番組は録画一覧から選んで再生することができます。
(☞ 40ページ)

■USBハードディスク録画

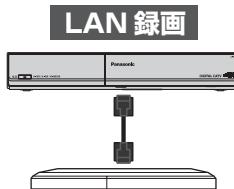
本機とUSBハードディスクをUSBケーブルで接続することで録画する方法です。



- 録画用として使用できるUSBハードディスクは、容量が500 GBから3.0 TBまでのセルフパワー(電源供給タイプ)で動作する機器のみです。(動作確認済みの機器をご使用ください。)
- 本機に初めて接続するUSBハードディスクは、機器登録(☞ 30ページ)が必要です。最大8台まで登録できます。
- 一度、接続・設定すれば、その後は内蔵ハードディスクと同じような感覚で簡単に録画や再生の操作ができます。

■LAN録画

本機と録画機器をLANケーブルで接続することで、本機で受信した番組を録画機器で録画する方法です。



- LAN録画使用前に本機と外部録画機器をネットワーク接続して、両方で初期設定が必要です。
 - ・接続は「ネットワークへの接続」(☞ 80~83ページ)
 - ・本機の設定は「ネットワーク関連設定」(☞ 92~96ページ)
 - ・外部録画機器側の設定操作については、外部録画機器の取扱説明書を参照ください。
- 4K放送はLAN録画できません。

録画時間のめやす

- 本機の内蔵ハードディスク(2 TB)の録画時間のめやすです。
- 録画時間は、放送の転送レートによって異なります。
- 録画可能時間は理論値によって計算しているため、実際の録画時間と異なる場合があります。

放送 容量	地上デジタル HD 放送 (≤ 17 Mbps)	BS デジタル HD 放送 (≤ 24 Mbps)	デジタルCATV放送 (≤ 14 Mbps)	4K放送 (≤ 39 Mbps)
2 TB	約 242 時間	約 172 時間	約 300 時間	約 110 時間

録画内容の補償に関する免責事項について

本機の故障、誤動作、接続機器の不具合あるいは受信障害や停電などの原因により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を交換した場合等においても同様です。あらかじめご了承ください。

録画動作について

録画したい番組が重なったとき に便利な機能

トリプルチューナー搭載
2番組同時録画しながら、別の番組を見ることができます。

高画質な4K番組をそのまま 高画質で録画できます

ハードディスクに空き容量が少ないと 古い録画番組から自動的に消去して録画できます (録画設定 ☞ 70ページ)

録画した番組をスマートフォン・タブレットで持ち出す ことができます

持ち出した番組はネット環境がなくても視聴できます。
(スマートフォンなどで番組を持ち出す ☞ 53ページ)

ネットワークに接続された別の部屋の機器で、本機の録画番組を 見ることができます

(ホームサーバー機能 ☞ 52ページ)

本機で録画した番組を、ホームネットワークに接続している他の 録画機器にダビングすることができます

(他の録画機器にダビングする ☞ 46ページ)

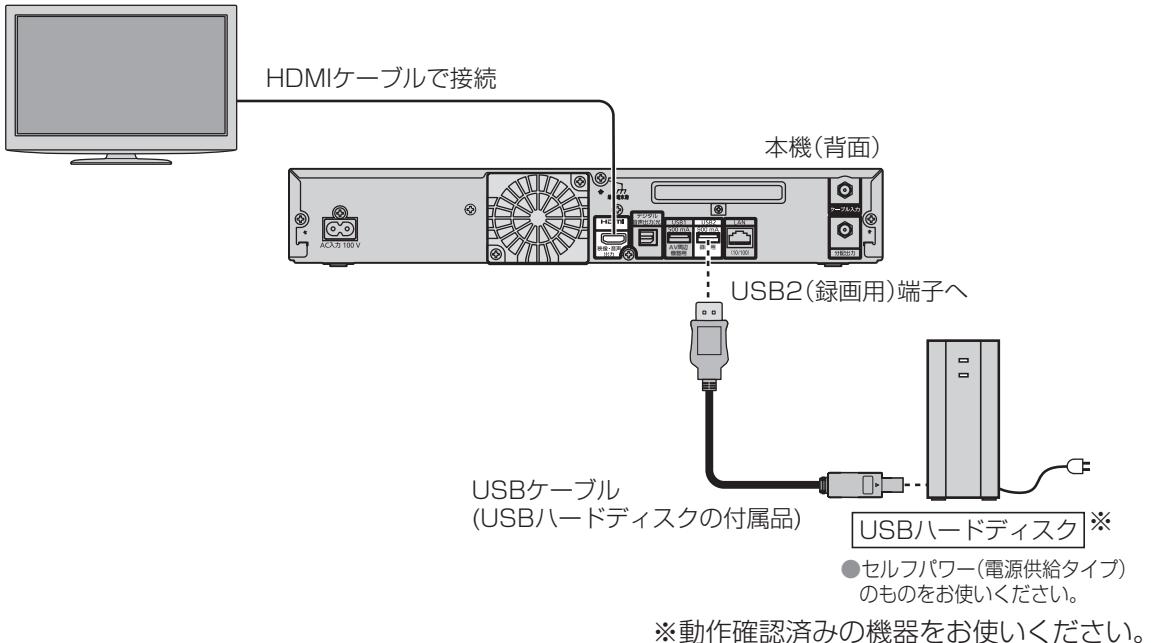
4K放送の録画・再生の制限について

- 4K放送はLAN録画できません。
- 4K録画番組は、外部録画機器へダビングできません。
- 4K放送と4K録画番組は、ホームサーバー機能の放送配信と録画配信ができません。
4K録画番組は録画持ち出しもできません。
また、4K放送と4K録画番組から解像度を変換する配信、持ち出しもできません。
- 4K放送と4K録画番組は、リモート視聴機能の放送配信と録画配信ができません。

USBハードディスクの接続

本機とUSBハードディスクを直接接続する

本機とUSBハードディスクをUSBケーブル1本で直接接続して録画・再生する場合の接続方法です。



●当社で動作確認したUSBハードディスクの最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html> (2015年12月現在)

●録画用USBハードディスクは、必ずUSB2(録画用)端子に接続してください。

お知らせ

<USBハードディスクの動作について>

- 録画用として使用できるUSBハードディスクは、容量が500 GBから3.0 TBまでのセルフパワー(電源供給タイプ)で動作する機器のみです。動作確認済みの機器をご使用ください。(動作確認済みの機器はサポートサイトをご確認ください。[28ページ](#))
- 本機に初めて接続するUSBハードディスクは、機器登録が必要です。[\(28ページ\)](#)最大8台まで登録できます。
- 本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。他の録画機器(同じ品番の同型機種を含む)やテレビ、パソコンなどに接続して再生することはできません。他の録画機器でUSBハードディスクに録画した番組は再生できません。

<USBハードディスクのご注意>

- USBハードディスクを本機に接続して録画・再生用として登録すると、本機専用のハードディスクとしてフォーマット(初期化)されます。それまでUSBハードディスク内に録画していたデータはすべて消去されます。[\(28 30ページ\)](#)
- 本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用してください。本機専用で使用中のUSBハードディスクを、他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になります、録画した番組や保存していたデータがすべて削除されます。[\(28 30ページ\)](#)
- 登録を一度解除したUSBハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。[\(28 30, 31ページ\)](#)
- USB端子には、本機に対応していない機器を接続しないでください。
- USBハードディスクは、USBケーブルが届く範囲で、安定した水平な場所に設置してください。
- USB端子からUSBハードディスクを外すときは、必ずメニュー操作で取り外せる状態にしてから行ってください。[\(28 30ページ\)](#)
- 録画中にUSBハードディスクの空き容量がなくなると、録画を停止します。停止する直前までの番組は録画されます。新たに録画する場合は、不要な録画番組を削除し、録画できる時間を確保してから録画してください。
- 起動時にUSBハードディスクを接続している場合や、USBハードディスクを切り換えた場合[\(28 43ページ\)](#)は、USBハードディスクの認識に時間がかかることがあります。
- 録画した番組の数が多い場合、録画一覧画面の表示に時間がかかることがあります。
- USBハードディスクが休止中の場合は、録画・再生の立ち上り動作に時間がかかります。(録画・再生の立ち上がり動作を早くする→「USB HDD機能待機」を「する」にする[\(28 31ページ\)](#))
- USBハードディスクの動作中は、USBケーブルを抜いたり、本機の電源プラグを抜かないでください。録画できない、録画した内容が消える、USBハードディスクの不具合などが発生します。USBハードディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 接続した機器の組み合わせまたは、機器の操作や性能などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

USBハードディスクの設定

機器登録する(番組録画・再生用)

本機に初めて接続するUSBハードディスクは、録画用として機器登録が必要です。未登録のUSBハードディスクが接続された場合、登録確認画面が表示されます。

- ① 確認画面の内容を確認し、◀で「はい」選び、**(決定)** を押す

USB HDD接続確認	
USB HDDを番組録画・再生用として登録しますか?	
はい	いいえ

- ② 確認画面が2回表示され、◀で「はい」選び、**(決定)** を押す

この受信機でUSB HDDに録画した番組はこの受信機でのみ再生できます。他の受信機やパソコンでは再生できません。また、故障により受信機を修理された場合には、USB HDDの番組は再生できなくなります。USB HDDを登録しますか?

はい	いいえ
----	-----

◀で「はい」選び、**(決定)** を押す

USB HDDを登録するには、フォーマットを行う必要があります。フォーマットを行うと、USB HDD内の全てのデータが消去されます。USB HDDをフォーマットしますか?

はい	いいえ
----	-----

◀で「はい」選び、**(決定)** を押す

フォーマットが始まります。

- ③ 表示名を変える場合、◀で「はい」選び、**(決定)** を押す

表示名を設定することができます。表示名を変更しますか?

はい	いいえ
----	-----

- ④ 表示名を入力し、**(決定)** を押す
●表示名を変える(☞ 31ページ)

◀で「はい」選び、**(決定)** を押す

機器登録終了です

操作するリモコンのボタン位置 (☞ 11ページ)

- 1  を押す
- 2 ▶▲◀▶で「設定メニュー」を選び、**(決定)** を押す
- 3 ▶▲で「接続機器関連設定」を選び、**(決定)** を押す

USB機器一覧を確認する

- 4 ▲▼で「USB機器一覧」を選び、**(決定)** を押す

「モード」欄に「未登録」になっているUSBハードディスクを選び、**(決定)** を押すと機器登録が実行されます。(☞ 左記)



「接続」欄が「接続」、「モード」欄が「登録」になっているUSBハードディスクに録画できます。

お知らせ

- 登録できるUSBハードディスクは8台までです。すでに8台機器登録されている場合は、いずれかの登録を削除してください。(機器登録を削除する☞ 31ページ)

USBハードディスクを取り外す

本機からUSBハードディスクを取り外すときに行います。

- 1 上記の「USB機器一覧を確認する」で「USB機器一覧」を表示させ
▲▼で取り外すUSBハードディスクを選び、**青** を押す



この機器は安全に取り外しできます。

- 上記の画面が表示されてから取り外してください。

USB ハードディスクの起動設定

USB ハードディスクの録画・再生の立ち上がり動作を早くする機能待機状態にします。

- 4 ▼▲で「USB HDD機能待機」を選び、**(決定)** を押す

▲▼で「する」を選び、**(決定)** を押す



- 「する」録画・再生の立ち上がり動作を早くする
- 「しない」(工場出荷時)
USB ハードディスクまたは、内蔵ハードディスクを10分以上操作しなかったときに、休止状態になる
- USB ハードディスクの操作をすると休止状態は解除されますが、復帰に時間がかかります。

表示名を変える

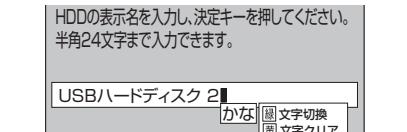
USB ハードディスクの表示名を変えます。

- 4 ▲▼で「USB機器一覧」を選び、**(決定)** を押す

- 5 ▲▼で表示名を変えるUSBハードディスクを選び、**緑** を押す

- 6 表示名を変更して、**(決定)** を押す

●文字を入力する(☞ 67ページ)



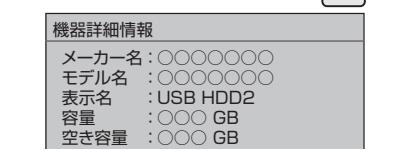
・全角文字のときは入力できる文字数が制限されます。

詳細情報を表示する

USB ハードディスクの詳細情報を表示します。

- 4 ▲▼で「USB機器一覧」を選び、**(決定)** を押す

- 5 ▲▼で詳細情報を表示させるUSB ハードディスクを選び、**赤** を押す



● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

機器登録を削除する

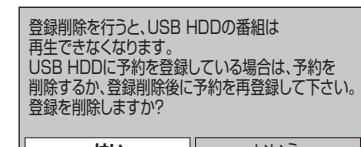
USB ハードディスクの機器登録を削除します。

登録削除したUSB ハードディスクにこれまで録画した番組は再生ができなくなります。

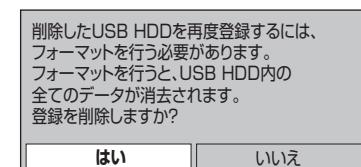
- 4 ▲▼で「USB機器一覧」を選び、**(決定)** を押す

- 5 ▲▼で機器登録削除するUSB ハードディスクを選び、**黄** を押す

- 6 確認画面が2回表示され、「はい」を選び、**(決定)** を押す



◀で「はい」選び、**(決定)** を押す



◀で「はい」選び、**(決定)** を押す

機器登録削除完了です。

録画予約時のまとめ番組設定をする

繰り返し録画する番組を自動的にまとめ番組として録画できます。

- 「まとめ番組設定」を「する」に設定すると、録画予約時にシリーズ物の番組や同時に録画した番組がひとつにまとまり検索しやすくなります。

(設定の詳細は☞ 70ページ)

見ている番組を録画する(即時録画)

録画する

見ている番組を内蔵ハードディスクに即時録画できます。

録画
●(リモコンのふたの内部)を押す

→録画がスタートして本体前面表示窓の「録画」が点灯表示します。

●あらかじめ録画ボタン設定([70ページ](#))を「番組終了まで」にしておくと番組終了後、自動的に録画を停止します。

・工場出荷時は「6時間録画」に設定されています。
●現在放送中の他の番組を録画するときは、録画したい番組を選んで録画ボタンを押してください。

2番組を同時に録画する

今放送中の2つの番組を同時に録画できます。

1 ▲または、1番組～12番組で
録画したい番組を選ぶ

2 録画
●(リモコンのふたの内部)を押す
→録画がスタートして本体前面表示部の「録画」が点灯表示します。

3 手順1、2を繰り返して、2つ目の番組を選ぶ

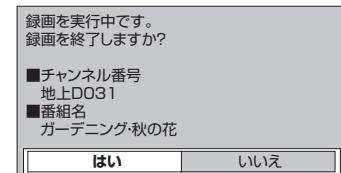
お知らせ

- 録画しながら、すでに録画した番組や録画中の番組を再生することができます。[\(40ページ\)](#)
- 録画番組を再生中に録画を停止する場合は、再生を停止してから録画を停止してください。
- 電源「切」状態のとき実行中の録画を停止する場合は、「電源」ボタンを押して電源を入れてから停止操作してください。
- 録画中は電源「切」にしても録画は継続します。
- 即時録画は予約一覧に表示されません。
- ペイ・パー・ビュー(PPV)の番組で、録画できない場合があります。
- ハードディスクが休止中の場合は、録画・再生の立ち上り動作に時間がかかります。
- ハードディスク1台に、最大3000の番組が録画できます。
- USBハードディスクとLAN録画では即時録画はできません。
- 録画を停止した場合、停止した時点までの番組は保存されます。
- 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分割し保存されます。

録画を停止する

1 停止
■を押す

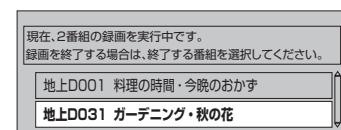
2 ◀で「はい」を選び、決定を押す



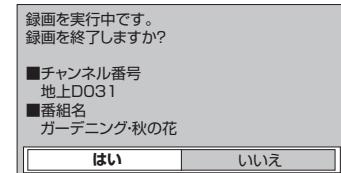
複数の番組を録画している場合

1 停止
■を押す

2 ▼▲で停止する番組を選び、
決定を押す



3 ◀で「はい」を選び、決定を押す



録画予約する

内蔵ハードディスク録画

USBハードディスク録画

LAN録画

録画予約は次の方法で録画することができます。

- ・内蔵ハードディスク録画
- ・USBハードディスク録画
- ・LAN録画

※2番組同時に録画できます。

(内蔵ハードディスク録画×2番組、USBハードディスク録画×2番組、
内蔵ハードディスク録画+USBハードディスク録画、
内蔵ハードディスク録画+LAN録画、USBハードディスク録画+LAN録画)

録画予約の前に

録画予約時のご注意

- 番組がデジタルコピー禁止(コピーネバー)の場合は、録画予約できますが録画されません。録画予約実行時に本体前面表示窓の「録画」が点灯表示されても録画されません。
- 視聴可能年齢を設定している場合、制限を超える番組を録画予約する時に、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力しないと録画が実行されない場合があります。[\(73、74ページ\)](#)
- ペイ・パー・ビュー(PPV)の番組を録画するときは、表示画面に従って操作してください。
- ペイ・パー・ビュー(PPV)の番組を予約し、録画に失敗しても購入代金は徴収される場合があります。
- 録画できる残り時間を確認してください。録画できる残り時間が十分でない場合は録画一覧画面で不要な番組を消去してください。[\(43ページ\)](#)
- LAN録画使用前に本機と外部録画機器をネットワーク接続して、両方で初期設定が必要です。
(接続は「ネットワークへの接続」[\(80～83ページ\)](#))
(本機の設定は「ネットワーク関連設定」[\(92～96ページ\)](#))
外部録画機器側の設定操作については、外部録画機器の取扱説明書を参照ください。
- 放送時間が連続している2つの番組をLAN録画で予約した場合、次の予約番組の録画準備のため、前の録画番組の最後が数十秒切れます。
- 外部録画機器の仕様によりLAN録画できない場合があります。
LAN録画に対応しているかどうか確認してください。[\(45ページ\)](#)

録画中のご注意

- 内蔵ハードディスクまたはUSBハードディスクに録画中、空き容量が十分でない場合に、録画番組の自動消去機能(古い録画番組から自動的に消去して録画する)を有効にすると、プロテクト(上書き禁止)がされていない録画番組は自動的に消去されることがあります。[\(37、70ページ\)](#)
- 同じ番組を2つ録画予約する場合は、2つ目の予約は日時を指定して録画予約[\(35ページ\)](#)してください。(同じ番組を番組表から2回録画予約できません。)

お知らせ

- 予約は「見るだけ予約」と「録画予約」合わせて64件までです。
- LAN録画を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続をご使用ください。
無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。
- 8時間を超える番組を録画予約実行した場合、8時間ごとの番組に分割し保存されます。
- 4K放送の番組は、LAN録画での予約登録はできません。
- LAN録画中に4K放送を検出すると予約を中止します。

録画予約する

- 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

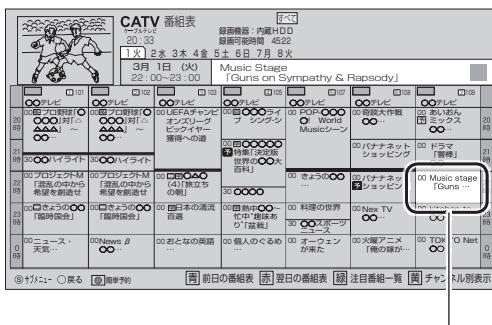
番組表から録画予約する

簡単予約する

- 1 番組表を押す
- 2 ▶▶◀▶で番組表から、録画したい番組を選び、(決定)を押す
→録画予約が完了です。

● 視聴制限の番組で暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号を入力してください。(☞ 73、74ページ)

<番組表>



例: 選んでいる番組が黄色になる

番組の内容を確認してから録画予約する

- 1 番組表を押す
- 2 ▶▶◀▶で番組表から、録画したい番組を選び、(決定)を押す
→番組内容と選択ボタンが表示されます。
 - 放送中の番組のとき
 - 放送予定の番組のとき
- 3 ◀▶で「番組予約」を選び、(決定)を押す
- 4 ▲▼で「予約する」を選び、(決定)を押す

予約内容を確認してください

■毎週予約するとき

「毎週予約する」を選び、(決定)を押す

■詳細な設定を行って予約するとき

→「録画予約の詳細設定」
(☞ 36ページ)

お知らせ

● 番組の放送時間が変更(3時間までの開始遅れ、番組の延長)になったときは番組に追従して録画します。時間指定予約(☞ 35ページ)のときは、番組追従は行いません。

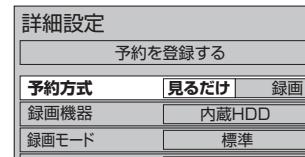
見るだけ予約する

見たい番組を予約します。

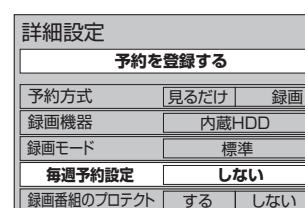
- 1 左ページ手順④のとき
▼で「詳細設定」を選び、(決定)を押す



- 2 ▶▶で「予約方式」を選び、◀で「見るだけ」を選ぶ



- 3 ▲で「予約を登録する」を選び、(決定)を押す



■毎週予約するとき

「毎週予約設定」を選び、(決定)を押す
→「毎週予約の設定」(☞ 36ページ)

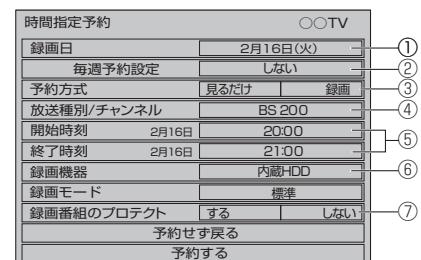
お知らせ

- 電源を「切」にしている場合、「見るだけ予約」は無効になります。
- 録画予約の確認、変更、取り消し(☞ 38ページ)
- 番組表を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合、正常に録画予約されないときがあります。
- 毎週予約では、次回以降の予約が重複している場合があります。予約一覧で確認してください。(☞ 38ページ)

日時を指定して録画予約する

- 1 ▶を押す
- 2 ▶▶◀▶で「時間指定予約」を選び、(決定)を押す

- 3 ▶▶で項目を選び、◀▶で設定する



- ① 日／曜日を選ぶ
- ② 毎週予約を選ぶ(決定)を押す
(「毎週予約の設定」☞ 36ページ)
- 毎日・毎週などの連続予約
しない ↔ 每週(月) … 每週(日) ↔
毎日 ↔ 每週(月)～(土) ↔ 每週(月)～(金)
または曜日指定(月)(火)(水)(木)(金)(土)(日)

- 自動更新の設定
自動更新を「入」にすると、前回録画した同じ番組を消去して録画します。

- ③ 「見るだけ」または「録画」を選ぶ

- ④ 放送種別／チャンネルを選ぶ

- ⑤ 開始・終了時刻を選ぶ

- ⑥ 録画機器を選ぶ

- 「内蔵HDD」、「USB HDDの機器名」、「LAN録画対応機器名」

- ⑦ 録画番組のプロテクト

- 録画番組のプロテクト設定については「録画番組のプロテクト」(☞ 37ページ)をご覧ください。

- 4 ▶で「予約する」を選び、(決定)を押す

- 確認画面(またはエラー画面)が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。
- 暗証番号入力画面が表示された場合は暗証番号を入力してください。(☞ 73、74ページ)

録画予約の詳細設定

録画機器の設定

- 34ページ「番組表から録画予約する」手順④で「詳細設定」を選び、
決定を押す
- ▼▲で「録画機器」を選び、◀▶で
録画する機器を選ぶ



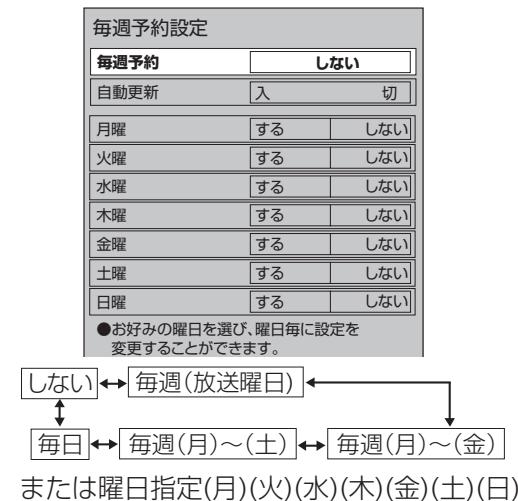
- 設定できないとき
(USBハードディスク)
 - ・USBハードディスクと本機が正常に接続されているかご確認ください。
(☞ 28ページ)
 - ・USBハードディスクが事前に機器登録されているかご確認ください。
(☞ 30ページ)
 - ・USBハードディスクの電源が入っているかご確認ください。
- (LAN録画)
 - ・対応録画機器と本機が正常にネットワーク接続されているかご確認ください。
(☞ 80~83ページ)
 - ・本機と対応録画機器が正しくネットワーク設定がされているかご確認ください。
(☞ 92~96ページ)
 - ・対応録画機器の電源が入っているかご確認ください。
 - ・対応録画機器の仕様によりLAN録画できない場合があります。
LAN録画に対応しているかどうか確認してください。(録画機器の情報を表示☞ 45ページ)

- ▲で「予約を登録する」を選び、
決定を押す

毎週予約の設定

毎週予約を設定すると、次回以降の放送を番組表データ(番組開始時刻や番組タイトル、チャンネルなど)から検索し自動的に予約設定します。(検索する曜日も個別に設定できます。)

- 34ページ「番組表から録画予約する」手順④で「詳細設定」を選び、
決定を押す
- ▼▲で「毎週予約設定」を選び、
決定を押す
- ▼▲で「毎週予約」または各曜日を
選び、◀▶で設定する



■自動更新の設定

- ▼▲で「自動更新」を選び、
◀▶で設定する

自動更新を「入」にすると、前回録画した同じ番組を消去して録画します。

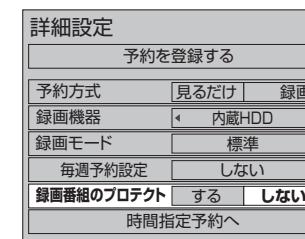
お知らせ

- 予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合、正常に録画予約されないことがあります。
- 1つの「毎週予約」からは、1日に1回だけ同じ時間帯の番組が予約設定されます。
(同じ番組が1日に複数回放送される場合でも、1回だけ予約設定します)

録画番組のプロテクト

録画番組のプロテクト設定ができます。「する」に設定すると、「録画番組の自動消去」(☞ 70ページ)や「自動更新」(☞ 35、36ページ)で上書きがされません。工場出荷時は「しない」に設定されています。

- 34ページ「番組表から録画予約する」手順④で「詳細設定」を選び、
決定を押す
- ▼▲で「録画番組のプロテクト」を
選び、◀▶で設定する



- ▼▲で「予約を登録する」を選び、
決定を押す

お知らせ

- プロテクト「する」に設定された番組はダビング登録できません。
(プロテクトを解除するには「録画した番組の上書き禁止を設定する」☞ 42ページ)

録画予約の確認・変更・取り消し

- 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

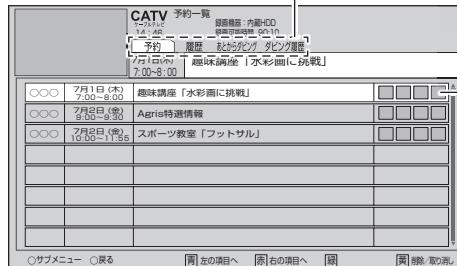
1 預約確認ボタンを押す

※アプリ一覧(60ページ)で「予約一覧」を選んで、決定を押しても予約一覧を表示します。

2 ▼▲で確認・変更・取り消したい番組を選び、決定を押す

予約の状態をアイコン表示
(詳しくは113ページ)

<予約一覧> ◀▶で項目を選択



青ボタン: 左の項目へ

赤ボタン: 右の項目へ

黄ボタン: 予約の取り消し

● 実行前の予約と実行済みの予約が、それぞれ64件まで表示されます。

<予約内容>



例：実行前の毎週予約を選んだとき

お知らせ

● 実行中の録画を停止する場合は以下の操作を行ってください。

- 電源「入」で視聴中のとき：「停止」ボタンを押す→画面表示に従って操作する
- 電源「切」状態のとき：「電源」ボタンを押し視聴状態にする→「停止」ボタンを押す→画面表示に従って操作する

● 録画終了後の番組は、「履歴削除」を選んで決定すると、一覧から削除ができます。

● 番組表で予約済みの番組を選んで決定ボタンを押すと「設定変更」「予約削除」を選べます。

● 予約番組の放送時間が変更された場合に、変更内容が予約一覧で反映されないことがあります。

予約内容の確認や変更のとき

3 ▶で「設定変更」を選び、決定を押す

4 設定内容を確認する

5 設定を変更するときは、設定を変更して、▼▲で「修正を反映する」を選び、決定を押す

予約した番組を取り消すとき

3 ▶で「予約削除」を選び、決定を押す

- (実行中の予約を選んだときは、「取り消し」と表示されます。)

お知らせ

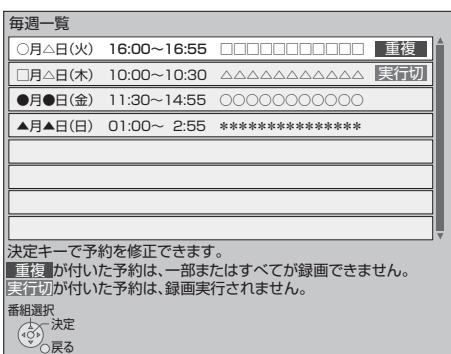
- 確認画面が表示された場合には、表示内容を確認し操作してください。
- 予約一覧表で取り消したい番組を選び、黄ボタンを押して取り消すこともできます。

毎週一覧の確認や変更のとき

3 ▶で「毎週一覧」を選び、決定を押す

4 設定内容を確認する

設定を変更するときは、▼▲で変更したい予約を選び、決定を押す



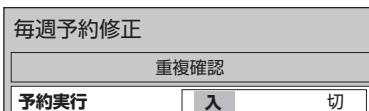
決定キーで予約を修正できます。
重複が付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。
実行切が付いた予約は、録画実行されません。

番組選択
決定
○戻る

重複：他の予約と重なっている場合
(一部または全て録画できません)

実行切：毎週予約が「切」になっている場合(録画実行されません)

5 ▼▲で「予約実行」を選び、◀▶で設定する



・「入」
毎週予約の録画予約実行を「入」にする

・「切」
毎週予約の録画予約実行を「切」にする

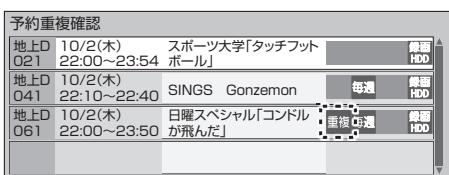
● 予約が重複している場合は重複確認ができます。

▼▲で「重複確認」を選び、決定を押す。
(「重複確認」を右記手順④)

録画予約の重複の確認や変更のとき

3 ▶で「重複確認」を選び、決定を押す

4 重複している予約を確認する



重複 予約時間が重複している予約アイコン

5 重複している予約を削除するときは、▼▲で予約を選び、○を押す

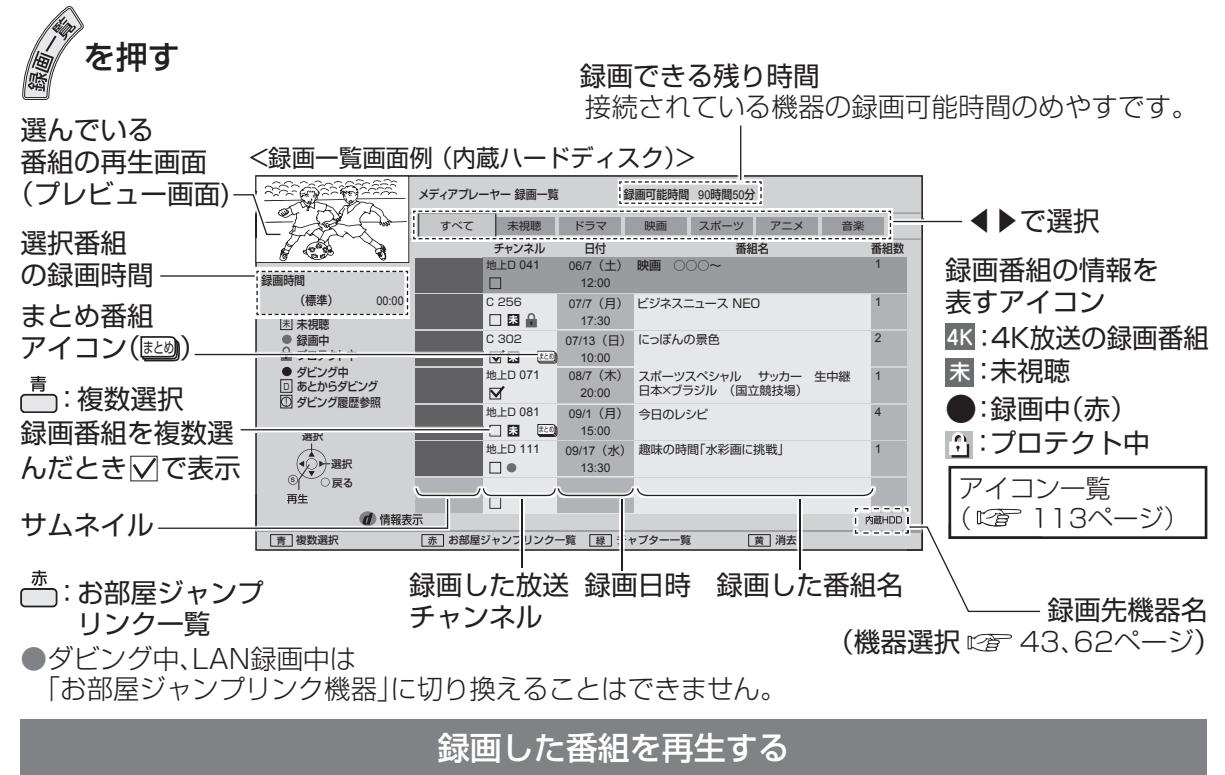
録画・再生

● 録画予約の確認・変更・取り消し

録画した番組を見る

錄画一覽

内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスクに録画(保存)した番組は、録画一覧から選んで再生ができます。録画一覧では録画した番組の再生(録画中の番組も可能)、消去などを行うことができます。



録画した番組を再生する

▼▲で見たい番組を選び、または

 再生/1.3倍速 を押す

選んだ番組を再生します

● 未視聴番組は、先頭から再生します。

お知らせ

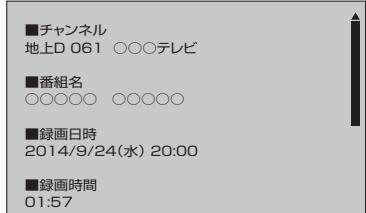
- プロテクト設定[上書き禁止](☞ 42ページ)がされていない録画番組は、ハードディスクの空き容量が十分でない場合、録画番組の自動消去(☞ 70ページ)を「する」に設定していると、古い録画番組から自動的に消去されることがあります。録画予約でのプロテクト設定の変更は「録画番組のプロテクト」(☞ 37ページ)で行ってください。
 - 録画可能時間は、ハードディスクに録画できる残り時間のめやすを表示します。録画番組の自動消去(☞ 70ページ)を「する」に設定した場合、録画しても録画可能時間は変りません。録画済み番組にプロテクト設定[上書き禁止](☞ 42ページ)にするか、自動消去設定を「しない」に設定して録画した場合には、録画できる時間が減るため録画可能時間も減ります。

- 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

番組の詳細内容を表示する

- ## 1 40ページの録画一覧画面を表示させ データ

① を押す
「チャンネル」「番組名」「録画日時」「録画時間」「録画モード」「ダビング可能回数」「番組詳細内容」が表示されます。
● ▼▲でスクロールします。

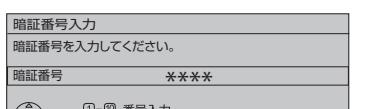


視聴制限番組名表示の一時制限解除

通常、視聴制限番組は録画一覧に表示されませんが、番組名を一時的に表示させることができます。

- ① 40ページの録画一覧画面を表示させ
② [スタートメニュー] を押し、▼▲で「視聴制限一時解除」を選び、を押す

- ## ② 暗証番号を入力する



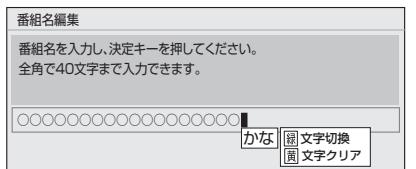
視聴制限番組も含め録画一覧画面に表示されます。

番組名を編集する

- 1 40ページの録画一覧画面を表示させ
▼▲で編集したい番組を選び

⑤ ▲と▼で編集したい項目
を選び、(決定) を押す

- ## 番組名を編集する



●文字の入力方法(☞ 67ページ)

再生中の操作

操作内容	操作ボタン
1.3倍速 再生	<p>再生/1.3倍速 </p> <p>●再生中に(長押し)押すと、再生速度が変わります。 (通常再生→1.3倍速)</p> <p>再生/1.3倍速 </p> <p>●で通常再生に戻ります。</p> <p>●録画時は動作しません。</p>
一時停止	<p>一時停止/前進局 </p> <p>●番組の再生を一時停止します。</p> <p>●シークバーを表示します。 </p> <p>●一時停止中にまたは 一時停止/前進局 で再生を再開します。</p>
停止	<p>停止 </p> <p>番組の再生を停止します。</p> <p>●停止中にで再度再生します。</p>
サーチ (早送り) (早戻し)	<p>(再生中に)  </p> <p>●押すごとに、速度が速くなります。(5段階)</p> <p>再生/1.3倍速 </p> <p>●で通常再生に戻ります。</p>
スキップ 再生	<p>(再生中または一時停止中に)  </p> <p>●押した回数だけチャプターのある場面に飛び越して再生します。</p>
30秒先へ スキップ 再生	<p>(再生中または一時停止中に) 30秒送り </p> <p>●1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。</p>
ABリピート	<p>(再生中に) </p> <p>●1回目でA点、2回目でB点を設定します。A点とB点の間で再生が繰り返されます。</p> <p>●で通常再生に戻ります。</p>

録画した番組を見る

録画一覧

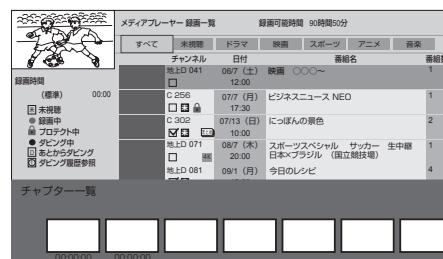
チャプター表示

録画中、シーンの切り換わりにより、チャプター画面を作成します。お好みのシーンをかんたんに見つけることができます。
※「録画設定」で「自動チャプター」を「入」に設定しておきます。(☞ 70ページ)

- 40ページの録画一覧画面を表示させ
緑 を押す

チャプター一覧が表示されます。

- ◀▶でチャプター画面を選び、
決定 を押す



再生がはじまります。

録画した番組の上書き禁止を設定する

- 40ページの録画一覧画面を表示させ
▼▲で設定したい番組を選び、
サブメニュー を押す



- ▼▲**で「プロテクト設定変更」を選び、**決定** を押す

プロテクト設定が変更されます。
上書き禁止の設定がされると、上書きが禁止になり、録画番組情報に **LOCK** (プロテクト設定) のアイコンが表示されます。

お知らせ

- プロテクトされている番組はダビング登録できません。

まとめ番組の作成・解除・外す

シリーズ物などの番組をひとつにまとめて検索しやすくなります。
●事前に「まとめ番組設定」を「する」に設定すると、録画予約時にシリーズ物や同時間帯の番組を、まとめ番組として録画します。(☞ 70ページ)

- 40ページの録画一覧画面を表示させる

手動でまとめ番組を作成する

- ▼▲**と **青** (複数選択) でまとめる番組を指定する
- サブメニュー** (S) を押し、**▼▲**で「まとめ番組の作成」を選び、**決定** を押す

まとめ番組を解除する

- ▼▲**で解除するまとめ番組を選ぶ
 - サブメニュー** (S) を押し、**▼▲**で「まとめ番組の解除」を選び、**決定** を押す
- ※録画予約時のまとめ番組設定(☞ 70ページ)で作られたまとめ番組を、解除することもできます。

まとめ番組から外す

- ▼▲**で外したい番組を含むまとめ番組を選び、**決定** を押す
- ▼▲**で外したい番組を選ぶ
- サブメニュー** (S) を押し、**▼▲**で「まとめ番組から除外」を選び、**決定** を押す

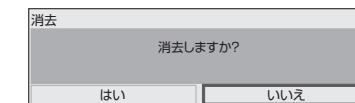
お知らせ

- まとめ番組として録画された場合、最初に録画予約した番組名・日時の下にまとまります。

録画した番組を消去する

- 40ページの録画一覧画面を表示させ
▼▲で消去したい番組を選び、
黄 を押す

- ◀で「はい」を選び、**決定** を押す



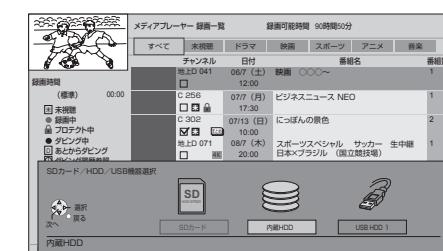
お知らせ

- 下記の番組は削除できません。
 - プロテクト設定された番組(☞ 左下記)
 - あとからダビングに登録された番組(☞ 49ページ)

機器選択

録画一覧の表示を本機の内蔵ハードディスク、または接続されているUSBハードディスクなどの登録機器に切り替えます。

- 40ページの録画一覧画面を表示させ
サブメニュー (S) を押し、**▼▲**で「機器選択」を選び、**決定** を押す



- 接続/登録されていない、または電源が入っていない機器は表示されません。
- SDカードなどの録画に対応していない機器を選択した場合は、録画一覧は表示されません。

- ◀▶で切り換える機器を選び、
決定 を押す

選択した機器の録画一覧が表示されます。(☞ 40ページ)

● 設定中、**〇** で1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、**[元の画面]** でテレビ放送の画面に戻します。

他の録画機器の番組を見る

お部屋ジャンプリンク

ネットワーク接続されたDLNA対応機器(録画機器)の録画番組を本機で見ることができます。本機とDLNA対応機器の両方で設定が必要です。(本機の設定は**44ページ**)

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境(他社製機器など)により、本機で見ることができない場合があります。

1  を押す

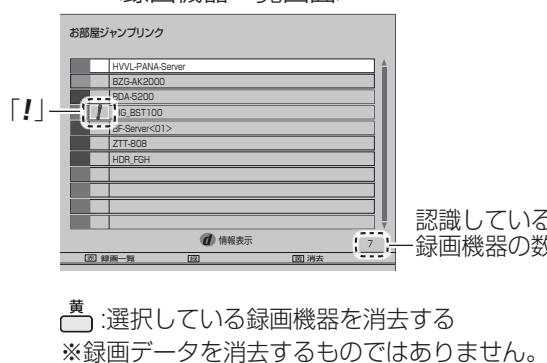
2 ▼▲◀▶で「お部屋ジャンプリンク」を選び、**(決定)** を押す

3 ▼▲で録画機器を選び、**(決定)** を押す

「!」が表示している機器は、現在ネットワーク機能が動作していません。
(または電源がオフ状態)

*「!」が表示している機器を選択し、**(決定)** を押すことで機器を起動できます。
・録画機器により起動できない場合があります。

<録画機器一覧画面>

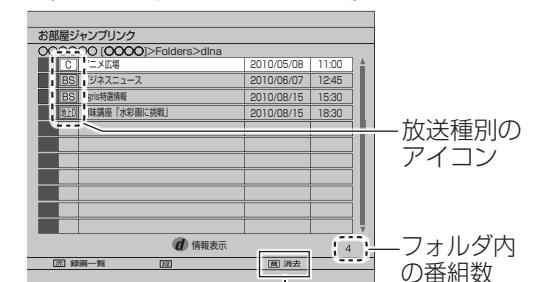


お知らせ

ホーム
□ → 「接続機器一覧」からでも「DLNA対応機器」または「お部屋ジャンプリンク機器」の録画機器一覧画面を表示することができます。
(**62ページ**)

4 ▼▲で再生する番組を選び、**(決定)** を押す

<お部屋ジャンプリンクファイル一覧画面>
(JLabs対応機器の画面例)



- お部屋ジャンプリンクファイル一覧の録画番組を消去する
▼▲で消去したい番組を選び、 を押す。
※消去確認画面が表示されたら、◀で「はい」を選び、**(決定)** を押す。
- 録画機器によって表示画面が異なります。
●一度再生された番組は、続きから再生が可能です。
※録画機器により、サブメニューボタンで再生開始位置が選べます。

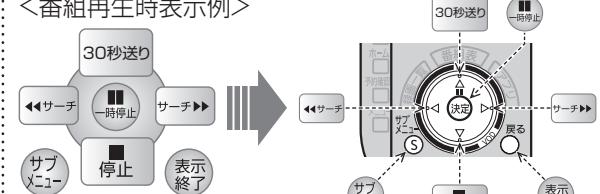
再生がはじまります。

番組のタイトルと再生情報が表示されます。



●番組再生時、操作パネルが表示されます。

<番組再生時表示例>



●録画機器によって操作表示が異なります。

●操作パネルが表示されていないときは、 を押す

お知らせ

- お部屋ジャンプリンクでの録画番組の消去は、録画機器や録画番組により消去できない場合があります。
- 録画機器により、途中再生できる番組は最新の20番組までになる場合があります。

- 設定中、 で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、 でテレビ放送の画面に戻します。

お部屋ジャンプリンクで接続している録画機器の設定・情報の表示ができます。

録画機器の設定
(録画先、ダビングモード)

1 44ページの手順③のとき

▼▲で録画機器を選び、 押す



■ダビングの録画先(記録先)を設定する

▲▼で「録画先」を選び、**(決定)** 押す

▲▼で録画先を選択し、**(決定)** 押す

※機器によっては表示されない場合があります。

■ダビングモードを切り換える

▲▼で「ダビングモード」を選び、**(決定)** 押す

▲▼でダビングモードを選択し、**(決定)** 押す

●機器により設定できない場合があります。

・「そのまま」:通常のダビングに対応した機器

・「サイズ優先」:番組持ち出しに対応したモバイル機器
(サイズ優先でダビング)

・「画質優先」:番組持ち出しに対応したモバイル機器(画質優先でダビング)

●再生時の設定ができます。

「スライドショー設定」、「ビデオ設定」、

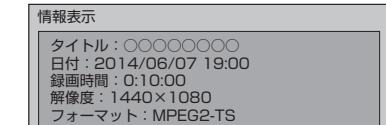
「音楽設定」

●録画機器により設定できない場合があります。

番組情報を表示

1 44ページの手順④のとき

▼▲で番組を選び、 押す



お知らせ

●番組情報は、録画機器や再生中の番組により表示されない場合があります。

●本機とDLNA対応機器間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。

●画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。

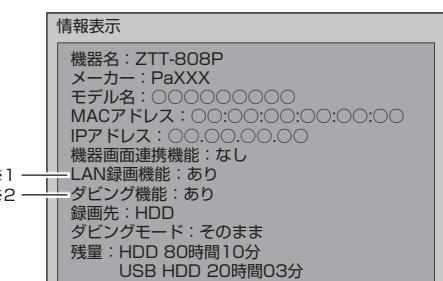
●お部屋ジャンプリンクの詳細な設定は、下記のサポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html>
(2015年12月現在)

録画機器の情報を表示
(機種名、IPアドレス、LAN録画機能、ダビング機能、残量など)

1 44ページの手順③のとき

▼▲で録画機器を選び、 押す

録画機器の情報が表示されます。
機器名／メーカー名／モデル名／
MACアドレス／IPアドレス／
機器画面連携機能／LAN録画機能^{※1}／
ダビング機能^{※2}／録画先／ダビングモード／
残量(録画可能時間のめやす)



*1 JLabs方式のLAN録画に対応している場合、「あり」と表示します。

*2 ダビング機能に対応している場合、「あり」と表示します。

●機器の内容が正しく表示されないときは、ネットワーク接続や選択した機器の設定を確認してください。

●詳細情報の内容は機器によって異なります。

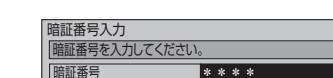
[JLabs対応機器を接続している場合]

視聴制限一時解除

本機の「視聴可能年齢」(**73、74ページ**)の設定を超える視聴制限番組は表示されません。下記の操作で番組名を一時的に表示させることができます。

1 お部屋ジャンプリンクファイル一覧画面を表示させ
⑤ を押し、▼▲で「視聴制限一時解除」を選び、**(決定)** を押す

2 暗証番号を入力する



他の録画機器にダビングする

ダビング機能は本機の内蔵ハードディスクおよび本機に接続したUSBハードディスクに録画した番組を、ホームネットワークに接続している録画機器へダビング(ムーブ／コピー)する機能です。

ダビングの種類

■いますぐダビング (☞47ページ)

「いますぐダビング」とは、内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスクに録画した番組を選択し、すぐにダビングを開始する機能です。

- ・1つの録画番組のみダビングできます。
- ・ダビング実行中、録画予約によりダビングが中断される場合があります。
- ・お客様操作による停止、録画機器側からの停止およびエラーが発生しない限り中止されません。
- ・電源オンのときに実行開始できる機能です。
(ダビング実行中にリモコンによる電源オフ・オンの操作を行っても、ダビングは継続します。)

■あとからダビング (☞49ページ)

「あとからダビング」とは、内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスクに録画した番組を事前に登録し、電源オフ時の一定期間内に自動でダビングを行う機能です。

- ・複数の録画番組をまとめてダビング登録できます。
- ・ダビングの予約設定はできません。
- ・録画予約が優先されます。(録画予約が開始すると、「あとからダビング」は中止される場合があります。)
- ・電源オフのときに動作します。(ダビング実行中に電源オフすると、「あとからダビング」を中止します。)

ダビングするための準備

●録画機器をネットワーク接続する。(☞80~83ページ)

●ネットワークを設定する。(本機の設定は、「ネットワーク関連設定」☞92~96ページ) ※録画機器側の設定は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

●録画機器がダビングに対応しているかどうか確認し、「ダビングモード」を設定する。(☞45ページ) ※ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境(機器のメーカーなど)により、ダビングできない場合があります。

●USBハードディスクを接続・設定する。(接続☞28ページ、設定☞30ページ)

●ダビングする内蔵ハードディスクまたはUSBハードディスクに切り換える。(☞43、62ページ)

お知らせ

- 4K放送を録画した番組は、ダビングすることはできません。
- モバイル機器へのダビング中に、4K放送の視聴、4K録画番組の再生、4Kコンテンツの再生を行うとダビングが中断終了します。なお、中断に伴い、ダビングする番組が消えることはありません。
- 当社製ブルーレイレコーダーでのダビング中にブルーレイレコーダーを操作するまたは重複するブルーレイレコーダー側の録画予約が開始するとダビングが失敗または中断する場合があります。
- 本機でCATVデジタル放送を録画した番組を当社製録画機器へダビングした場合、CS放送と表示する場合があります。
- 1回のみデジタルコピーが可能な録画番組(コピー1回)ではダビングが成功した場合、本機に保存された元の番組は削除されます。
- ダビング先の録画機器の容量が満杯になると途中で中断されます。
- 本機からダビングした履歴を見ることができます。(☞77ページ)
- 選択した機器がダビング機能に対応し、記録先情報が取得できる場合、ダビングの記録先を設定することができます。[JLabs対応機器のみ] (「ダビングの記録先の設定」☞45ページ)
※ 機器によっては表示されない場合があります。
- 録画機器に録画されている番組をUSBハードディスクへ移動することはできません。
- USBハードディスクの間で番組を移動することはできません。

ダビング10について

本機と他の録画機器をネットワーク(LAN)接続した場合、本機の内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスクに録画した番組を他の録画機器へ10回までダビングすることができます。
(コピー^{※1}: 9回 + ムーブ^{※2}: 1回)

※1 コピー : オリジナルを残したまま複製が可能。

※2 ムーブ : 録画した番組の保存場所を移動させること。

(他の録画機器に10回目のダビングをしたときその録画番組は本機から消去されます。)

●地上/BSデジタル放送はダビング10に対応していますが、全てのデジタル放送がダビング10に対応しているわけではありません。

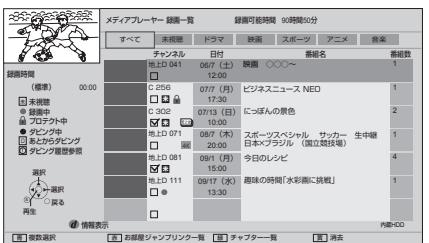
●直接録画機器に録画した場合は、ダビング10は対応されません。

いますぐダビング

「いますぐダビング」とは、本機の内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスクに録画した番組を、すぐにダビングを開始する機能です。1つの録画番組のみをダビングします。

1 □を押す

2 ▼▲でダビングしたい録画番組を選ぶ



3 ○を押し、▼▲で「ダビング」を選び、決定を押す



ダビングができない場合は、メッセージを表示します。

4 ▼▲で「ダビング方式」を選び、決定を押す ▼▲で「いますぐダビング」を選び、決定を押す



ダビング設定パネル

選択した録画番組の情報を表示します。
チャンネル／番組名／録画時間／ダビング可能回数

●「ダビング可能回数 1回」の録画番組をダビングすると、ダビングが成功した場合この番組は保存先のハードディスクから消去されます。

お知らせ

●LAN録画画面では、「いますぐダビング」は選択できません。

5 ▼▲で「ダビング機器」を選び、決定を押す ▼▲でダビング先を選び、決定を押す

ダビング方式	いますぐダビング
ダビング機器	BTZ600
残量	82 時間 21 分

●ダビング先の機器を選びます。
LANダビング対応機器のみ表示します。
(☞45ページ)

6 ▼▲で「ダビングを登録する」を選び、決定を押す

残量	82 時間 21 分
ダビングを登録する	

7 ▲で「はい」を選び、決定を押す

「1回だけ録画可能」の録画番組をダビングする際に表示します。
ダビングが成功した場合は、保存先のハードディスクから消去されます。

ダビング登録確認
いますぐダビングを実行します。
・他の番組の録画、再生によってダビングを中断する場合があります。
・ダビング先の機器の操作、動作状態や接続状況などによって、実行を中断することができます。
・ダビング先の機器の残量が不足しているときは、ダビングできない可能性があります。
・モバイル機器へのダビング実行中に、4Kコンテンツを視聴、再生すると、ダブルページが中断される場合があります。
・選択した番組はダビングが成功すると、コピー制限のためHDDから消去されます。
「いますぐダビング」を実行しますか？
はい いいえ

●「いいえ」を選択すると、録画一覧画面に戻ります。



ダビングを実行します。

いますぐダビング

「いますぐダビング」は優先順位(☞115ページ)によってダビングが停止する場合があります。

「いますぐダビング」実行中の画面表示

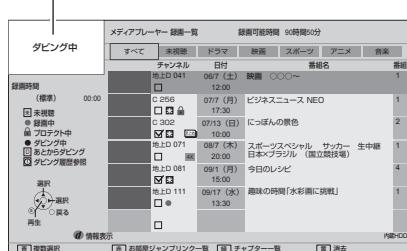
ダビング実行中は画面の右上にダビングの進捗率を表示します。



- 画面表示 ()を押したときや、チャンネルを切り換えるごとに表示します。
- しばらくすると表示は消えます。
画面表示 ()を押しても表示は消えます。)

録画一覧画面で「いますぐダビング」実行中の録画番組が選択された時は、プレビュー画面内には「ダビング中」と表示します。

プレビュー画面



「いますぐダビング」を停止する

実行中の「いますぐダビング」を停止する場合は下記の二つの方法があります。

録画一覧から停止する

- 1 □ を押す
- 2 ▼▲でダビングを停止したい録画番組を選ぶ
- 3 ⑤ を押し、▼▲で「ダビング」を選び、⑥ を押す
- 4 ▼▲で「ダビングを解除する」を選び、⑥ を押す
- 5 ◀で「はい」を選び、⑦ を押す

番組を見ているときに停止する

- 1 停止 □ を押す
- 2 ◀で「はい」を選び、⑦ を押す

お知らせ

- LANダビング対応機器の録画可能残量時間が不足しているときは、ダビングができない場合があります。残量を確認してください。
- 録画番組ごとに異なるLANダビング対応機器を選択できます。
- 「いますぐダビング」を実行中の録画番組や「あとからダビング」で登録済みの録画番組をダビング登録することはできません。
- 「あとからダビング」に登録された録画番組を「いますぐダビング」する場合は、「あとからダビング」を解除してから、「いますぐダビング」に再度登録してください。
- ダビング登録された録画番組はダビングが終了するまで削除できません。
- 「いますぐダビング」は、電源オンのときに実行開始できる機能です。ダビング実行中にリモコンによる電源オフの場合はダビングを継続します。
- 「いますぐダビング」は、1つの録画番組のみダビングできます。複数の録画番組を一度にダビング登録する場合は「あとからダビング」で設定してください。
- 「いますぐダビング」のダビング成功、失敗は「ダビング履歴」の画面に表示されます。(☞77ページ)
- LANダビング対応機器の同時動作制限などの仕様により、ダビング実行が中止される場合があります。
- 「いますぐダビング」実行中にLAN録画の予約がある場合、「いますぐダビング」が中止され、LAN録画の予約を実行します。
- ハードディスク(内蔵ハードディスクまたはUSBハードディスク)に2番組録画と「いますぐダビング」を同時に実行している場合に、ハードディスクに録画した番組を再生するとダビングが中止されます。

あとからダビング

「あとからダビング」とは、本機の内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスクに録画した番組を事前に登録し、電源オフ時の一定期間内に自動でダビングを行う機能です。

- あとからダビングは最大32件まで登録できます。
- まとめ番組もダビング登録できます。まとめられた番組すべてをダビング登録します。



- 2 ▼▲でダビングしたい録画番組を選ぶ



録画番組を複数選ぶときは…

□ を押すと、選択した録画番組にチェックマーク(✓)が入ります。複数の録画番組のダビング設定ができます。

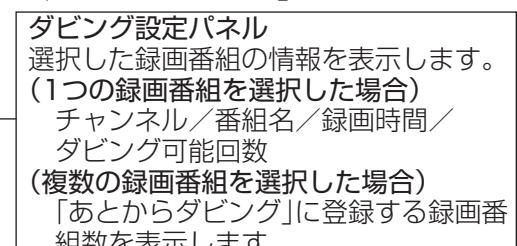
- 3 ⑤ を押し、▼▲で「ダビング」を選び、⑥ を押す

ダビングができない録画番組が含まれている場合は、メッセージを表示します。

- 4 ▼▲で「ダビング方式」を選び、
⑥ を押す
▲▼で「あとからダビング」を選び、
⑥ を押す



● 録画番組を複数選んでいる場合は、「あとからダビング」になります。



● 「ダビング可能回数 1回」の録画番組をダビングすると、ダビングが成功した場合、保存先のハードディスクから消去されます。

- 5 ▼▲で「ダビング機器」を選び、
⑥ を押す
▲▼でダビング先を選び、
⑥ を押す

ダビング方式	あとからダビング
ダビング機器	BTZ600
残量	82 時間 21 分

- ダビング先の機器を選びます。
LANダビング対応機器のみ表示します。(☞96ページ)

お知らせ

- 複数の録画番組を登録した場合は、すべて同じ機器にダビング登録します。
録画番組ごとに個別の設定はできません。

- 6 ▼▲で「ダビングを登録する」を選び、⑦ を押す

ダビング機器	BTZ600
残量	82 時間 21 分
ダビングを登録する	

- 録画番組をダビング登録します。

- 7 「ダビング登録確認」画面を表示します。
◀で「はい」を選び、⑦ を押す

- 「いいえ」を選択すると、録画一覧画面に戻ります。

「1回だけ録画可能」の録画番組をダビングすると、ダビングが成功した場合、保存先のハードディスクから消去されます。



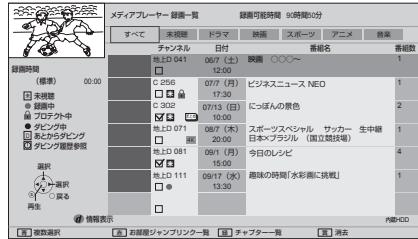
あとからダビング

「あとからダビング」は優先順位(☞ 115ページ)によってダビングが実行されない場合があります。

「あとからダビング」の確認・取り消し

「あとからダビング」に登録した番組を一覧表示する(あとからダビング一覧)

①  を押す



②  を押し、▼▲で「ダビング一覧」を選び、 を押す



③ 「あとからダビング」に登録した番組の一覧を表示します。



ダビング再実行中アイコン(右表)――

- 登録した順に上から一覧表示します。この順でダビングを実行します。ダビング機器側の状態により、ダビングの順序が入れ替わる場合があります。
- 実行前の「あとからダビング」の登録を32件まで表示します。
- を押し、予約一覧を表示中に◀▶を押しても「あとからダビング」を表示することができます。
- 視聴年齢制限のある番組は表示されない場合があります。(☞ 51ページ)

「あとからダビング」の登録を取り消す

③ 左記手順①～②であとからダビング一覧を表示させる



④ ▼▲で取り消したい番組を選び、 を押す

⑤ 確認画面が表示されたら、◀で「はい」を選び、 を押す

- 選択した番組を「あとからダビング」の登録から削除します。
- 「あとからダビング」の詳細からでも削除できます。(☞ 51ページ)

<ダビング再実行中アイコン>

アイコン	名称	内容
	ダビング再実行中	「あとからダビング」が再実行の待機中であることを示すアイコン。「あとからダビング」が実行中に電源を入れるなどの操作をした場合や、ダビング機器側の状態により、ダビングが実行されない、または中止された場合など)

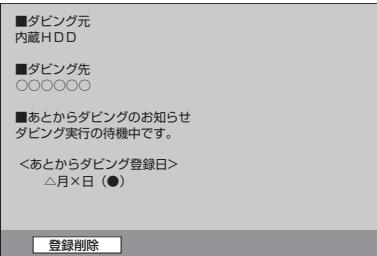
●設定中、○で1つ前の画面に戻ります。

●設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

「あとからダビング」の詳細を表示する

① 50ページ手順①～②であとからダビング一覧を表示させる

② ▼▲で確認したい番組を選び、 を押す



●「あとからダビング」の詳細を表示します。

- ・ダビング元
- ・ダビング先
- ・あとからダビングのお知らせ
- ・あとからダビング登録日

お知らせ

- 詳細画面で「登録削除」を選び、 を押すと、「あとからダビング」の登録を削除できます。

視聴年齢制限のある番組を一時制限解除する

視聴年齢制限のある番組は、あとからダビング一覧には表示されない場合があります。表示するためには以下の操作を行ってください。

●視聴年齢制限のある番組は「…」と表示されます。

① 50ページ手順①～②であとからダビング一覧を表示させる

②  を押し、▼▲で「視聴制限一時解除」を選び、 を押す

③ 1あ～10^{記号}を押して、暗証番号を入力する

お知らせ

- 「あとからダビング」の予約設定はできません。
- 電源オフのときに「あとからダビング」を実行します。ダビング実行中に電源オンした場合はダビングを中止します。
- ネットワーク接続による機能の優先動作や、ダビング機器側の状態により、「あとからダビング」が実行しないことや、中止することがあります。(同時動作と優先動作について☞ 115ページ) ダビングの状況はあとからダビング一覧(☞ 50ページ)または「ダビング履歴」(☞ 77ページ)をご確認ください。

ダビング機器の動作仕様については、ダビング機器の取扱説明書を参照してください。

- 「あとからダビング」が中止された場合、再度ダビングができる状態になれば、ダビングを再実行します。
- 電源オンの状態では「あとからダビング」は実行されません。
- 複数の録画番組をダビング登録した場合でも、ダビングは録画番組ごとに個別で実行します。一度にダビングをするものではありません。
- ダビングの順序は、登録した順に実行します。あとからダビング一覧で確認することができます。
- 再実行(ダビング再実行中)のアイコンが表示されている録画番組は、ダビングを再実行します。
- 一週間以内にダビングできなかった録画番組は、あとからダビング一覧から削除され、ダビング履歴(☞ 77ページ)に「ダビング失敗」として表示しますが、保存先のハードディスクに録画した番組は残ります。(「1回だけ録画可能」の番組がダビング中止になった場合、対応機器にはダビング途中までの映像は残りません。)

別の部屋の機器で録画番組を見る

ホームサーバー機能

本機で受信中の番組(放送配信)や本機の録画番組(録画配信)を、同じネットワークに接続されたDLNA対応機器(録画機器やテレビ、スマートフォンなどのモバイル機器)で視聴することができます。再生の操作はDLNA対応機器側で行います。(操作については接続機器の取扱説明書をご覧ください。)

- 4Kの放送や、4Kの録画番組を配信することはできません。

また、4Kの放送と録画番組を、解像度を変換してモバイル機器へ配信することもできません。

- 本機とDLNA対応機器の両方で設定が必要です。(本機の設定は☞ 92~96ページ)

ホームサーバー機能を使用するには、「サーバー機能」を「入」にしてください。

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境(他社製機器など)により、見ることができない場合があります。

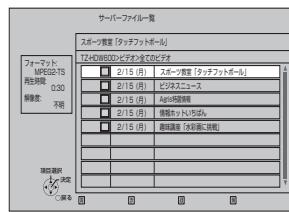
視聴年齢制限(パレンタルロック)のある番組を見る場合、ネットワーク接続された機器により動作が異なります。

- ・JLabs対応機器の場合：JLabs対応機器側の視聴年齢制限の設定により再生します。
- ・JLabs非対応機器の場合：視聴制限が設定された本機の録画番組は再生できません。

DLNA対応の当社製機器から再生する

ネットワーク接続したDLNA対応の当社製機器から、本機に録画している番組を再生することができます。操作は機器の取扱説明書をご覧ください。

1 機器のリモコンを使って、本機の「録画一覧」を表示させる

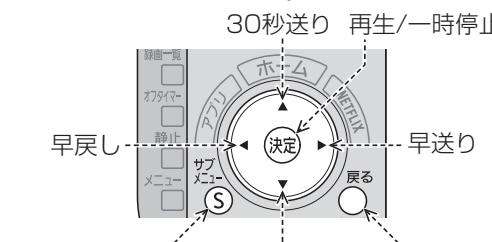


- 機器によって「録画一覧」を表示させる方法は異なります。

2 ▼▲で再生する番組を選び、 〔決定〕を押す

- 操作ガイドが表示されます。

(例)番組再生時 30秒送り



- 操作ガイドが表示されていないときは、
〔S〕を押す

DLNA対応の他社製機器から再生する

ネットワーク接続したDLNA対応の他社製機器から、本機に録画している番組を再生することができます。

- 番組の一覧画面や再生可能な番組、再生方法などは接続した機器によって異なります。操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 編集はできません。

接続した機器で、本機の番組を選び、 再生する

- 再生中の操作は、接続した機器の操作方法に従ってください。

お知らせ

- 本機が以下の場合、ホームサーバー機能は動作しません。
 - ・2番組録画中(※放送配信のみ停止)
 - ・LAN録画中
 - ・ダビング中
 - ・お部屋ジャンプリンク再生中
 - ・ブラウザなどのネットワークを利用する機能を使用中など
- スマートフォンなどのモバイル機器で視聴する場合、音声は主音声のみ・字幕情報など一部機能が制限されることがあります。
- 2台以上の機器で同時に再生することはできません。
- JLabs対応機器の場合は、ご使用のJLabs対応機器の視聴年齢制限を設定してください。
※機器により設定項目の名称が異なる場合があります。
- モバイル機器へ配信中に、裏番組表(☞ 14ページ)を起動すると配信が中断されます。
- 4Kの放送視聴中、4Kの録画番組を再生中、4Kのメディアコンテンツを再生中は、モバイル機器への配信はできません。また、モバイル機器への配信中に4Kの視聴および再生を行うと、配信が中断されます。

スマートフォンなどで番組を持ち出す

スマートフォンなどで、録画番組を持ち出す場合、「サーバー機能」の設定を「入」に設定してください。

サーバー機能を「入」にする

1 ○ を押す

2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を 選び、〔決定〕を押す

3 ▲▼で「ネットワーク関連設定」を 選び、〔決定〕を押す

4 ▼▲で「お部屋ジャンプリンク設 定」を選び、〔決定〕を押す

お部屋ジャンプリンク設定	
サーバー機能	切
接続許可方法	自動許可
接続機器一覧	

5 ▼▲で「サーバー機能」を選び、 〔決定〕を押す

▼▲で「入」を選び、〔決定〕を押す

- クイックスタート(☞ 90ページ)も「入」に設定されます。

番組持ち出し対応機器(スマートフォン、 アプリなど)における操作例

本機とホームネットワークで接続されている、番組持ち出し対応機器で、本機がホームサーバーとして認識・表示されます。番組持ち出し対応機器の操作で、本機を選択し、持ち出し視聴したい録画番組を指定してください。

※番組持ち出し対応機器の操作は、ご使用される機器の取扱説明書またはホームページをご覧ください。

※事前に本機のサーバー機能を「入」に設定してください。

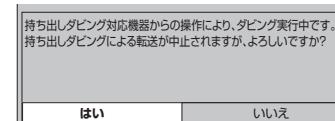
本機操作による、番組持ち出しの中止

番組持ち出しは、番組持ち出し対応機器で実行操作を行いますが、番組持ち出し実行中に、本機で以下の操作を行った場合には、実行を停止します。

- ・番組持ち出し実行中の番組を再生した場合
- ・ダビング操作

●番組持ち出し中断確認画面が表示されます。(操作により表示されない場合もあります。)

確認画面が表示されたら、◀▶で選択し、
〔決定〕を押す



お知らせ

●以下の場合、番組持ち出し対応機器から「番組持ち出し」を開始できません。

- ・再生中の番組
- ・プロテクトが設定されている番組
- ・あとからダビングに登録されている番組
- ・いますぐダビングされている番組
- ・以下の動作を実行している場合

録画一覧表示中*、LAN録画、いますぐダビング実行中、あとからダビング実行中、2番組同時録画中+ハードディスク再生中、各種ネットワークアプリ起動中、メディアプレーヤーの状態によってなど
※録画一覧が表示されていない時に番組持ち出しを開始したものは、番組持ち出し実行中に録画一覧を表示して番組持ち出しは中断しません。

- 4Kの録画番組は、番組持ち出しきません。
- 番組持ち出し対応機器側の状態・操作によっても、番組持ち出しが失敗する場合があります。詳しくは各対応機器の取扱説明書およびホームページをご確認ください。
- 番組持ち出しのダビングが成功した場合、「ダビング履歴」の画面に表示されます。
- 番組持ち出し中に、裏番組表(☞ 14ページ)を起動すると持ち出しが中断されます。

● 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

SDメモリーカードを使う

本機ではSDメモリーカードを使用して、下記のことができます。

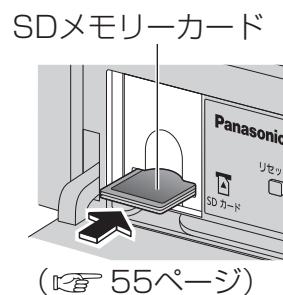
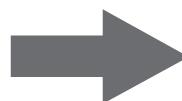
- デジタルカメラで撮影した画像(写真)、デジタルビデオカメラで撮影した動画(ビデオ)をテレビ画面で見る
- SDメモリーカードのコンテンツ*を本機で再生する
※パソコンなどで保存した画像(写真)や動画(ビデオ)、音楽メディアプレーヤーで再生できます。(☞ 56ページ)



デジタルカメラの画像(写真)



デジタルビデオカメラのビデオ(動画)



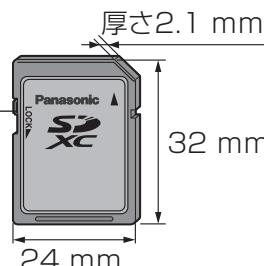
<メディアプレーヤー>



(☞ 55ページ)

SDメモリーカードについて

切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーカードです。メモリー容量によりSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの3種類があります。



書き込み禁止 (LOCK)スイッチ
スイッチを「LOCK」にすると、誤消去や書き込みを防止できます。

- 規格外のSDメモリーカードやSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。
故障の原因になります。

SDメモリーカードの種類

本機では、FAT16またはFAT32フォーマットされたSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、exFATフォーマットされたSDXCメモリーカードが使用できます。

種類	メモリー容量
SDメモリーカード	(8 MB~2 GB)
SDHCメモリーカード	(4 GB~32 GB)
SDXCメモリーカード	(48 GB~256 GB)

- 一部のSDメモリーカードで使用できない場合があります。

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。<http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html>
(2015年12月現在)

■SDメモリーカードを廃棄・譲渡するとき

- パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
- メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

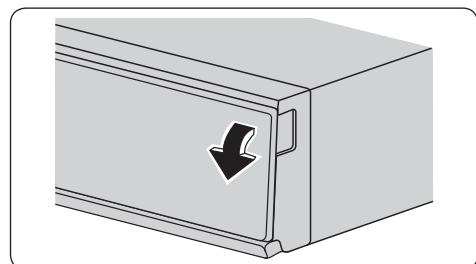
SDメモリーカードの取り付け・取り外し

お願い

- SDメモリーカードの読み取り中や再生操作中は、電源を切ったり、SDカードを取り出したりしないでください。SDメモリーカードに記録したデータが壊れたり、本体が正常に動作しなくなる場合があります。
- miniSD™カードまたはmicroSD™カードを直接差し込まないでください。必ず、アダプターを装着してご使用ください。
- miniSD™カードまたはmicroSD™カードを使用の場合はアダプターごと出し入れしてください。SDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

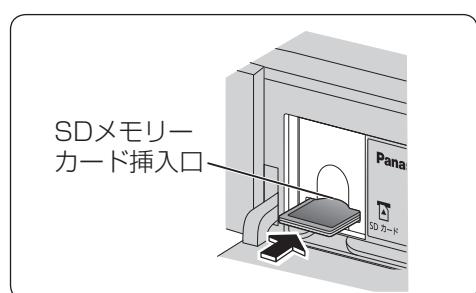
扉の開けかた

扉上部の「引-開 ▶」を指先で引いて開ける



入れかた

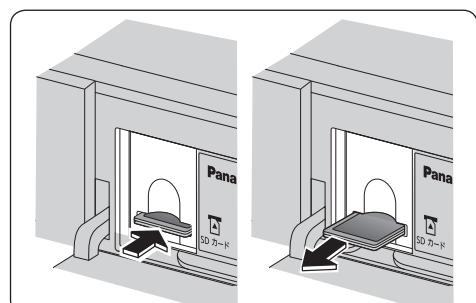
SDメモリーカードの表面(ラベル面)を上にしてまっすぐ奥まで差し込む



取り出しかた

- SDメモリーカードの画像を見終わったら、[元の画面]を押し、テレビ画面に戻してから取り出してください。

カード中央部を押して、カードが少し出てきたら、上下を持って、ゆっくりと引き出す



メディアプレーヤーで再生する

画像(写真)・動画(ビデオ)・音楽の再生や管理

メディアプレーヤーは写真、ビデオ、音楽の異なるコンテンツを同じ操作で再生できるアプリです。
(メディアプレーヤー再生仕様 57ページ)

1  を押す

2 ▲▼◀▶で「メディアプレーヤー」を選び、 を押す

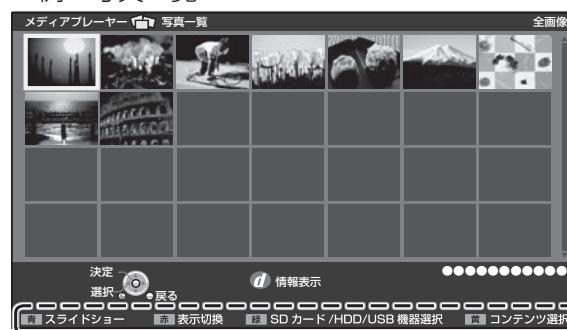


- 機器選択の画面が表示された場合は、◀▶で再生する機器を選択し、 を押してください。
- ※SDカード、USB-HDDは接続時のみ表示されます。
- ※SDカードとUSB-HDDが接続していない場合は表示しません。(手順③へ)

3 ◀▶でコンテンツを選び、 を押す



<例：写真一覧>



■画像(写真)を再生する

- シングル再生

再生したい画像(写真)を▲▼◀▶で選び、 を押す

- スライドショー再生

①再生したい画像(写真)を▲▼◀▶で選び、 を押す

※スライドショー設定画面が表示され、スライドショーの各種設定ができます。

②「スライドショー開始」を▲▼で選び、 を押す

■動画(ビデオ)・音楽を再生する

再生したい動画(ビデオ)/音楽を▲▼◀▶で選び、 を押す

※サムネイル画面一覧が表示された場合は、▲▼◀▶で選び、 を押す

お知らせ

- 全フォルダ内を探し、本機で表示可能な静止画を表示します。
- ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかることがあります。

メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ

写真 (画像)				
フォーマット	JPEG形式			
サブサンプリング	4:4:4、4:2:2、4:2:0			
表示画素数	最小8×8画素～最大30719×17279画素			
その他	DCFおよびExif規格に準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したファイルが再生できます。JPEG以外の形式(BMP形式、GIF形式、TIFF形式など)、プログレッシブJPEG形式やJPEG2000形式の写真は再生できません。			

動画 (ビデオ映像)				
フォーマット	AVCHD形式	MP4形式	MKV形式	FLV形式
ビデオコーデック	H.264	H.264、H265(HEVC)、MPEG1、MPEG2	H.264、H265(HEVC)、MPEG1、MPEG2	H.264
オーディオコーデック	Dolby Digital	AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG Audio、MP3	AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG Audio、MP3、Vorbis	AAC、MP3
その他	当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画(AVCHDのVer.2.0に対応したAVCHD Progressive、AVCHD)を再生できます。フォルダの構成を変更すると再生できなくなることがあります。	当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画が再生できます。	--	--

動画 (ビデオ映像)				
フォーマット	3GPP形式	PS形式	TS形式	WebM形式
ビデオコーデック	H.264	H.264、MPEG1、MPEG2	H.264、H265(HEVC)、MPEG1、MPEG2	VP9
オーディオコーデック	AAC、HE-AAC	AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、LPCM、MPEG Audio、MP3	AAC、HE-AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、MPEG Audio、MP3	Vorbis
音楽	MP3形式	M4A形式(AAC, Apple Lossless)	FLAC形式	WAV形式(LPCM)
その他	--	著作権保護技術により保護されたファイルは再生できません。	--	--

■本機で表示できる字幕のフォーマット

MicroDVD、SubRip、TMPlayer (.srt、.sub、.txt)

・動画ファイルと同じフォルダ内に保存した同名の字幕ファイルを表示できます。

・2つ以上の字幕ファイルが同じフォルダ内にあるとき、「.srt」、「.sub」、「.txt」の優先順位で表示されます。

お知らせ

- すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- ファイルによっては、字幕やチャプターの機能は使えないことがあります。
- ファイル名にマルチバイト文字や特殊文字を使用しないでください。
- ファイル名やフォルダ名を変更した場合、本機で使えなくなることがあります。
- メディアプレーヤーとお部屋ジャンプリンクでは、再生できるファイルフォーマットが異なります。
- すべてのサーバー機器とのファイル再生を保証するものではありません。
- 再生可能なファイル形式以外のファイルを再生することはできません。
- 再生可能なファイル形式であっても、ご使用の編集ソフト、ファイルの仕様やコーデックによっては、再生できない場合があります。
- 受信機の動作状況によっては、再生ができない場合があります。

ホーム画面

ホーム画面とは、テレビ放送やアプリ、接続した外部機器などの各種コンテンツを簡単に起動することができる機能です。

- よく使うコンテンツをホーム画面に登録することで操作が簡単になります。
- 「番組表」、「録画一覧」などのアプリや、「USBハードディスク」、「ネットワーク機器」などの操作画面が起動するコンテンツをホーム画面に登録／削除／移動することができます。

ホーム画面を操作する

ホーム画面の表示

① ホームボタンを押す

ホーム画面を表示します。

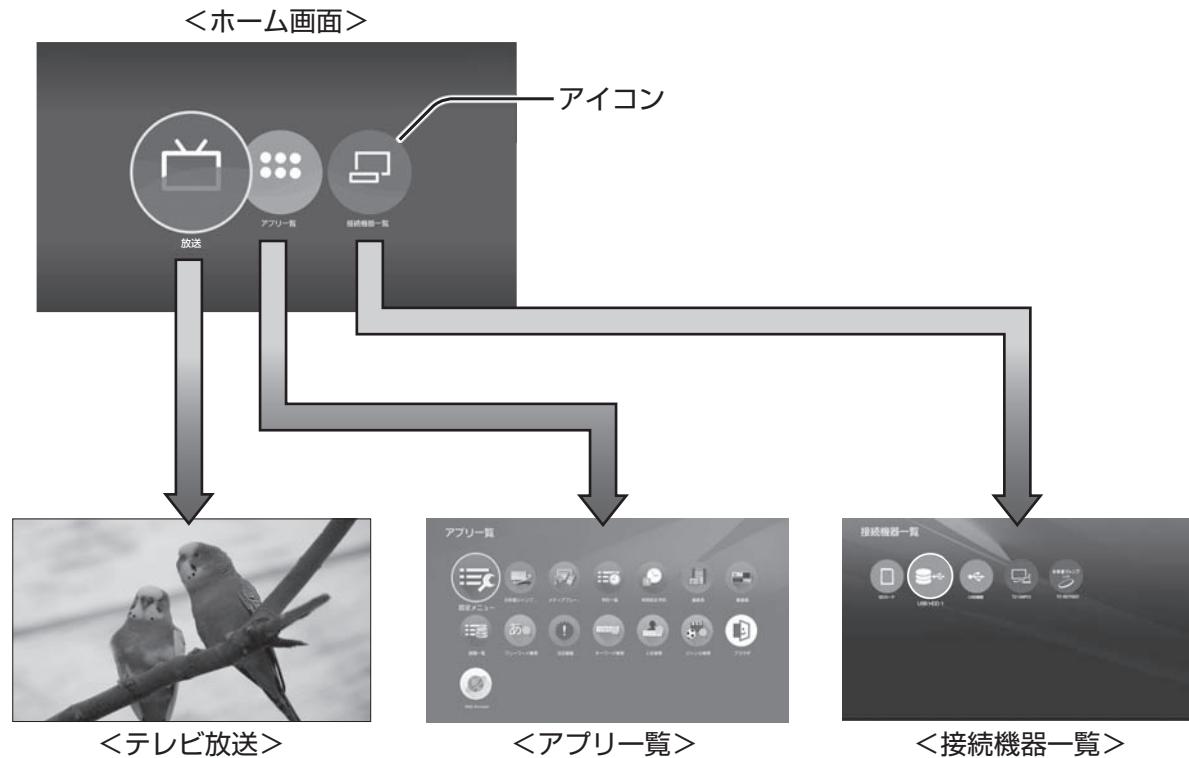
●登録されているコンテンツのアイコンを表示します。

●工場出荷時は「放送」、「アプリ一覧」、「接続機器一覧」のアイコンを表示します。

② ◀▶で起動したいコンテンツを選択し、決定ボタンを押す

●選択しているコンテンツのアイコンが大きく表示されます。

●コンテンツが起動し、画面が切り換わります。



● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

ホーム画面を操作する

ホーム画面へコンテンツを登録する(追加)

● アプリ一覧から登録(☞ 60ページ)

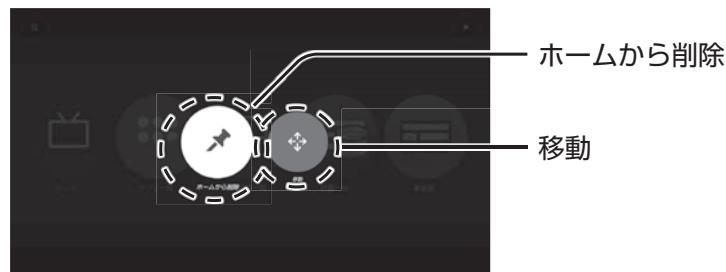
● 接続機器一覧から登録(☞ 62ページ)



追加したアイコンは右方向に追加されます

ホーム画面のコンテンツを削除／移動する

① ◀▶でコンテンツを選択し、Sボタンを押す



■ 削除

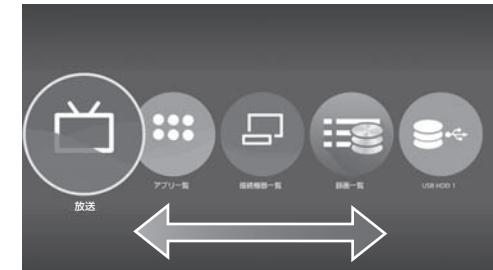
② ◀▶で「ホームから削除」を選択し、決定ボタンを押す

コンテンツを削除し、ホーム画面に戻ります。

■ 移動

③ ◀▶で「移動」を選択し、決定ボタンを押す

④ ◀▶でアイコンの位置を移動し、決定ボタンを押す



お知らせ

● 「放送」、「アプリ一覧」、「接続機器一覧」のコンテンツは削除できません。

アプリ一覧

番組表、予約一覧、録画一覧、メディアプレーヤーなどをアプリと呼びます。
本機ではアプリを一覧表示し、選んで楽しむことができます。

1 リモコンの「」を押す

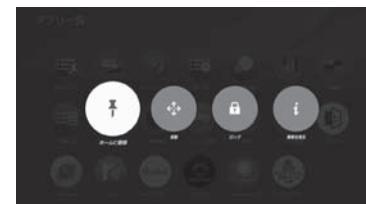
- アプリの一覧が表示されます。
- ホーム → 「アプリ一覧」からでも表示することができます。(☞ 58ページ)



2 ▲▼◀▶でアプリを選び、(決定)を押す

■アプリの移動

- ① ▲▼◀▶で移動するアプリを選び、(決定)を押す
- ② ◀▶で「移動」を選び、(決定)を押す
- ③ ▲▼◀▶で移動先を選び、(決定)を押す



■アプリのロック／ロック解除

- ① ▲▼◀▶でロック／ロック解除するアプリを選び、(決定)を押す
- ② ◀▶で「ロック」または「ロック解除」選び、(決定)を押す
- ③ 4桁の暗証番号を入力し、(決定)を押す(「制限項目設定」☞ 73、74ページ)
 - ロックができるアプリのみ選択できます。
 - ロックされているアプリには  のマークが表示されます。



■ホームに登録／ホームから削除(☞ 58ページ)

- ① ▲▼◀▶で登録または削除するアプリを選び、(決定)を押す
- ② ▲▼で「ホームに登録」または「ホームから削除」選び、(決定)を押す
 - ホーム画面のアプリが追加／削除されます。

■情報を見る

- ① ▲▼◀▶で情報を見るアプリを選び、(決定)を押す
- ② ▲▼で「情報を見る」選び、(決定)を押す

● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

お知らせ

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できるアプリの内容が異なります。
- 放送やネットワークのサービスには当社およびご加入のケーブルテレビ局以外の第三者であるサービス事業者が運営するものが含まれています。当社及びケーブルテレビ局は、当該サービスに関する一切(予告なくサービス内容の変更や終了する場合等)について何らの保証も責任も負いません。

■アプリ一覧

アプリ名	動作内容	説明ページ
設定メニュー	設定操作ができます	114
お部屋ジャンプリンク	ネットワーク接続された DLNA 対応機器(録画機器)の録画番組を本機で見ることができます	44
メディアプレーヤー	画像(写真)・動画(ビデオ)・音楽の再生操作ができます	56
予約一覧	予約一覧を表示します	38
時間指定予約	日時を指定して録画予約できます	35
番組表	番組表を表示します	20
裏番組	今放送中の裏番組を子画面で確認し、切り替えられます	14
録画一覧	内蔵ハードディスクおよび USB ハードディスクに録画(保存)した番組を一覧表示します	40
フリーワード検索	フリーワードで番組を検索できます	22
注目番組	G ガイドが提供する番組情報を表示します	24
キーワード検索	キーワードで番組を検索できます	23
人名検索	人名で番組を検索できます	23
ジャンル検索	ジャンルで番組を検索できます	22
ブラウザ	アクトビラのポータルサイトが表示されます	64
Web Browser	インターネット上のページを表示するためのアプリです	--

スマートフォンの写真／動画を見る ミラーリング

スマートフォンやPCなどの入力機器の画面(写真や動画)をテレビ画面に表示します。
※この機能は、ソフトウェアのバージョンアップにより追加予定です。(2015年12月現在)

1 リモコンの「」を押す

2 ▲▼◀▶で「ミラーリング」を選び、(決定)を押す

- 入力機器からの接続待ち画面が表示します。

3 スマートフォンを本機に接続する

4 接続確認画面の内容を確認し、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

- スマートフォンの画面が表示されます。

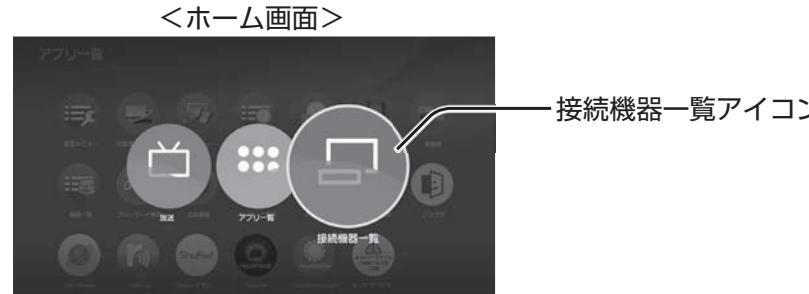
お知らせ

- Android 4.2以上のモバイル端末が対象ですが、ご利用いただけないモバイル機器があります。
- 接続方法などの詳細は、お使いの機器(スマートフォンなど)の取扱説明書をご覧ください。

接続機器一覧

接続機器一覧画面は、接続した外部機器を簡単に起動し、視聴できる機能です。

- ① ホームボタンを押す



- ② ◀▶で「接続機器一覧」を選び、決定ボタンを押す

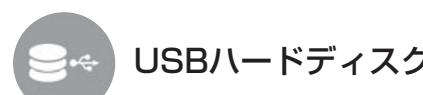
●接続機器一覧画面が表示します。



SDカード



DLNA機器



USBハードディスク



お部屋ジャンプリンク対応機器



USB機器

- ③ ◀▶で機器を選び、決定ボタンを押す

■SDカード、USB機器

選択した接続機器のメディアプレーヤーを表示(☞ 56ページ)

■USBハードディスク

録画一覧を表示(☞ 40ページ)

■DLNA機器、お部屋ジャンプリンク対応機器

録画機器一覧画面を表示(☞ 44ページ)

● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

接続機器一覧を操作する

接続機器をホーム画面へ登録(追加)／ホーム画面から削除する

- ① ◀▶で登録または削除する接続機器を選び、Sボタンを押す

- ② ◀▶で「ホームに登録」または「ホームから削除」を選び、決定ボタンを押す



音声ガイドの設定

- ① サブメニューSボタンを押す

- ② ◀▶で「音声ガイドの設定」を選び、決定ボタンを押す

●音声ガイドの設定画面が表示します。
(「音声ガイドの設定」☞ 72ページ)



接続機器の情報

- ① ◀▶で情報を見たい接続機器を選び、Sボタンを押す

- ② ◀▶で「情報を見る」を選び、決定ボタンを押す

●接続機器の情報が表示します。(「名称」、「機器の種類」)



インターネットを利用した情報を見る ブラウザ

ブラウザとは、インターネット上のページを表示するためのアプリです。本機にはポータルサイトへアクセスするためのブラウザがあらかじめ入っています。

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを見ることができます。

ブラウザ

■を押す

→ポータルサイト^{※1}画面に変わります。

<ポータルサイト画面のイメージ例>



・ご加入のケーブルテレビ局により画面は異なります。

青 **■** を押す

●アプリ一覧からでも開くことができます。
■を押す→「ブラウザ」を選び(決定)を押す

▲▼◀▶で見たい項目を選び、
(決定) を押す

選んでいる項目は黄色の枠で囲まれます。
●選択と決定を繰り返し、見たい情報へ。

初めてお使いになるときは…

端末情報送信の画面を表示します。
画面の指示に従って、端末情報^{※2}を送信してください。

ネット操作パネルを表示



インターネットを終了するとき **赤 ■** 押す

確認画面が表示され、

◀で「はい」を選び、**(決定) を押す**

→テレビ放送の画面に戻ります。

1つ先の 表示ページ 「お好みページ」を見る
ページへ の再読み込み とき(☞ 66ページ)

◀戻る ▶進む ×中止 ◎更新 金ホーム ↴お好みページ

1つ前の 読込み ポータルサイト
ページへ を中止 に戻るとき

ネット操作パネルを操作するには **◀▶で項目を選び、(決定) を押す**

ネット操作パネルを消すには もう一度、**青 ■** を押す

※1 ポータルサイトとは、「ブラウザ」ボタンを押したときに最初に表示されるホームページのことです。(ポータルとは玄関・入り口の意味です)

※2 端末情報とは、郵便番号や端末の識別ID(本機にあらかじめ組み込まれた番号)などのブラウザの通信制御に必要な情報のことです。端末情報を送信しないと、ブラウザ機能の一部が使えません。一度送信を行うと、次回から送信画面は表示されませんが、郵便番号が正しくない場合や長期間ポータルサイトを使用しなかった場合は、再び送信画面が表示されることがあります。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合があります。

ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

●接続と設定はお済みですか? (☞ 80、82、92~96ページ)

ブラウザの視聴制限(暗証番号の入力)を設定する

テレビ放送の画面にしてから設定します。

1 **■** を押す

2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、
(決定) を押す

3 ▲▼で「放送設定」を選び、**(決定) を押す**

4 ▲▼で「システム設定」を選び、
(決定) を押す

5 ▲▼で「制限項目設定」を選び、
(決定) を押す

6 暗証番号を入力する
(☞ 73、74ページ)

7 ▲▼で「ブラウザ制限」を選び、
(決定) を押す
▲▼で設定を選び、**(決定) を押す**

- ・「する」 暗証番号の入力が必要
- ・「しない」 暗証番号の入力が不要

ホームページへの情報登録についてのご注意

ブラウザを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。ご加入のケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、登録時の規約などに従って、必ず登録情報の消去を行ってください。

お知らせ

- 天災やシステム障害その他の事由により、ポータルサイトのコンテンツを表示できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ポータルサイトの利用条件については、別途、ポータルサイトにてご確認ください。
- ご加入のケーブルテレビ局指定のコンテンツ以外の一般的なインターネットホームページは、本機では正確に表示されない場合があります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれている場合もあります。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分注意してください。
- 本機能はご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により使用できない場合があります。
- ネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容は、サービス提供会社の都合により予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかるいかなる損害、損失に対しても当社およびご加入のケーブルテレビ局は責任を負いません。
- データ放送の番組で、双向(インターラクティブ)サービスを利用した際も暗証番号入力画面が表示される場合があります。

● 設定中、**戻る** で1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、**元の画面** でテレビ放送の画面に戻します。

文字を入力する

- 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

画面キーボード方法

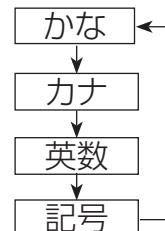
画面上にキーボードを表示して▲▼◀▶でカーソルを移動させ文字や項目を選び、入力します。



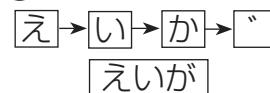
例：「映画」と入力するとき

- 1 青 を押して、入力文字を切り換える

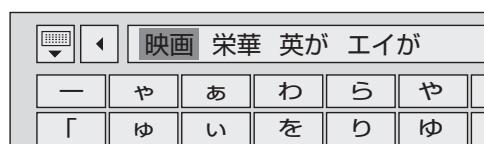
●押すたびにキーボードが切り換わる。



- 2 ▲▼◀▶で、キーボードから文字を選び、(決定) を押す



- 3 ▲◀▶で漢字を選び、(決定) を押す



- 4 黄 を押して、終了する

●▲▼◀▶で□選び、(決定) を押すことでも終了します。

●キーボードが消えます。

- キーボードを消すときは、戻る を押す。

■文節を分けて変換するとき

変換中に画面キーボードの◀▶で文節を切り換え、▲◀▶で変換する。

■記号を入力するとき

「きごう」と入力し、▲▼◀▶で記号を選び、(決定) を押す。

■文字を削除するとき

画面キーボードの◀▶で削除する文字の右側にカーソルを移動させて、 緑 を押す。

お知らせ

- 画面キーボードのレイアウトは予告なく変更する場合があります。

その他の機能を使う

3D番組を見る

必要な機器と接続

3D番組をご覧いただくためには、3D対応テレビと3D対応テレビ専用メガネが必要です。

3D番組を視聴するまで

- 1 3D対応テレビと3D対応テレビ専用メガネを準備する

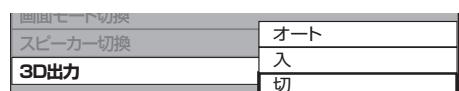
- 2 1あ～10の数字ボタンで3D放送を視聴できるチャンネルを入力する

- 3 有料番組(ペイ・パー・ビュー)の場合、暗証番号を入力して購入する

- 4 本機の3D出力を設定する

- ① ⑤を押し、▼▲で「3D出力」を選び、(決定) を押す

- ② ▲▼で「入」を選ぶ
(番組の信号がオート対応の場合は、「オート」を選ぶ)



(工場出荷時「オート」)

3Dメガネをかけてお楽しみください

接続してもメニューに「3D出力」がでない場合

- 4 3D対応テレビで「3D表示」に切り替え、「サイドバイサイド方式」(左右分割方式)に変更する

- 「3D表示」への切り替え「サイドバイサイド方式」の変更方法は、テレビの取扱説明書または、各メーカーのサイトをご確認ください。



3Dメガネをかけてお楽しみください

お知らせ

- テレビによっては、本機とは別にテレビの3D設定が必要な場合があります。

※3D対応でないテレビや通常の状態では画面が左右に分割された2画面に見えます。

音声ガイド

番組表や番組内容などを操作したときの内容を音声で読み上げます。音声ガイド機能を「オン」にすると次の音声ガイドが出力します。
(音声ガイドの設定 [72ページ](#))

■音声ガイドの内容

リモコン操作	リモコンボタンを押すごとに操作確認音を出力します (チャンネル選局)
番組表	番組表で選んだ番組の「放送種別」「放送局名」「番組タイトル」「放送日時」を音声出力します
番組内容	番組内容画面を表示させると「放送種別」「放送局名」「番組タイトル」「放送日時」「番組概要」「番組詳細内容」を音声出力します
メッセージ	メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせたメッセージを音声出力します

お知らせ

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

使いかたに合わせて設定を変える

操作するリモコンのボタン位置 (☞ 11ページ)

- 1 リモコンの  を押す
- 2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す
- 3 ▲▼で「放送設定」を選び、 を押す
- 4 ▲▼で「システム設定」を選び、 を押す

システム設定	
字幕の設定	
制限項目設定	
録画設定	
選局対象	すべて
二重音声設定	主
タイトル表示	する
前面パネル輝度	明
選局入力方式	プリセット
チャンネルアップダウン	ネットワーク
音声ガイドの設定	
ハイブリッドキャスト	オン

字幕の設定 字幕や文字スーパーを設定する

文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に文字で表示します。

- 5 ▲▼で「字幕の設定」を選び、 を押す
- 6 ▲▼で項目(①~④)を選び、 を押す
- ▲▼で設定を選び、 を押す

字幕の設定	
字幕	オフ
字幕言語	日本語
文字スーパー	オフ
文字スーパー言語	日本語

- ① 字幕のオン／オフ
- ② 字幕の言語
- ③ 文字スーパーのオン／オフ
- ④ 文字スーパーの言語

- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。
- 字幕の「オン」「オフ」の切り替えは  でもできます。

録画設定 録画時の設定を変える

録画時の設定を変えることができます。

- 5 ▲▼で「録画設定」を選び、 を押す
- 6 ▲▼で項目(①~④)を選び、 を押す
- ▲▼で設定を選び、 を押す

録画設定	
録画ボタン設定	6時間録画
録画番組の自動消去	しない
自動チャプター	入
まとめ番組設定	する

- ① 録画ボタン設定
録画ボタンを押したときの録画時間設定
 - ・「番組終了まで」
 - ・「6時間録画」(工場出荷時)
- ② 録画番組の自動消去
ハードディスクが録画データでいっぱいになったとき、古いデータから消去する
 - ・「自動消去する」
 - ・「自動消去しない」(工場出荷時)
- ③ 自動チャプター
録画中、シーンの切り換わりによりチャプター画面を作る
 - ・「入」(工場出荷時)
 - ・「切」
- ④ まとめ番組設定
録画予約時、シリーズ物の番組や同時に複数の番組を自動でまとめ番組として録画する
 - ・「する」(工場出荷時)
 - ・「しない」

お知らせ

- まとめ番組として録画されるのは、「まとめ番組設定」を「する」にした以降の録画からです。
- まとめ番組設定を「しない」に設定しても、既にまとめ番組で録画されている番組には影響ありません。
- まとめ番組の作成・解除・外すの設定 (☞ 42ページ) で、後からまとめ番組を設定することもできます。

選局対象

順送りできるチャンネルを設定する

- 5 ▲▼で「選局対象」を選び、 を押す
- 6 ▲▼で設定を選び、 を押す

- ・「設定チャンネル」
リモコンの①~⑫に設定されているチャンネルと、チャンネル設定 (☞ 84ページ) で設定した 13~36までのチャンネル
- ・「テレビ」
テレビ放送(映像+音声)のチャンネルのみ
- ・「すべて」(工場出荷時)
現在受信可能なすべてのチャンネル

- 7 ▲▼で「チャンネルアップダウン」を選び、 を押す
- 8 ▲▼で設定を選び、 を押す

- ・「ネットワーク」(工場出荷時)
地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送内で選局する
- ・「シームレス」
地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送をまたいで選局する

二重音声設定

二重音声の設定を変える

- 5 ▲▼で「二重音声設定」を選び、 を押す
- 6 ▲▼で設定を選び、 を押す

- ・「主」(工場出荷時)
音声が日本語
- ・「副」
音声が外国語
- ・「主+副」
日本語と外国語を同時に output
- 電源「切」「入」したときに放送が二重音声の場合、上記で設定した音声になります。
- 放送によっては「主」が外国語で「副」が日本語の場合があります。

● 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

タイトル表示

番組タイトルなどの表示を消す

- 5 ▲▼で「タイトル表示」を選び、 を押す
- 6 ▲▼で設定を選び、 を押す

- ・「する」(工場出荷時)
- ・「しない」
- 「しない」に設定すると、チャンネルを切り換えると右側に番組タイトル情報などを表示しません。(チャンネルは表示します。) 再度、表示させる場合は設定を「する」に戻してください。
- 「しない」に設定しても、画面表示ボタンを押したときは、タイトル表示します。

前面パネル輝度

本体表示窓の明るさを変える

- 5 ▲▼で「前面パネル輝度」を選び、 を押す
- 6 ▲▼で設定を選び、 を押す

- ・「明」(工場出荷時)
- ・「暗」

使いかたに合わせて設定を変える

70ページ手順①～④で「システム設定」画面を表示させてから行ってください。

選局入力方式 チャンネルの入力方式を設定する

チャンネルを選ぶとき、3桁のチャンネル番号を入力して選ぶか、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号で選ぶかを設定します。

⑤ ▲▼で「選局入力方式」を選び、
〔決定〕を押す

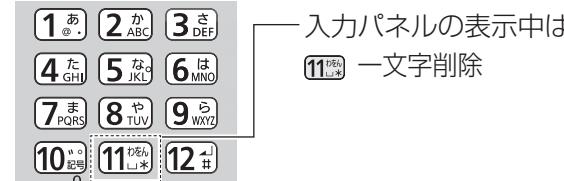
⑥ ▲▼で設定を選び、〔決定〕を押す

- ・「プリセット」(工場出荷時)
数字ボタンを1度押すと、84ページで設定したチャンネルに切り換わる
- ・「3桁入力」
数字ボタンを3度押して、3桁のチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルに切り換わる

■「プリセット」に設定したとき

チャンネルの選びかたは、
12ページをご覧ください。

■「3桁入力」に設定したとき



チャンネル番号の入力のしかたは、
13ページをご覧ください。

ハイブリッドキャスト ハイブリッドキャストを設定する

ハイブリッドキャストの機能を使用するか設定します。

⑤ ▲▼で「ハイブリッドキャスト」
を選び、〔決定〕を押す

⑥ ▲▼で設定を選び、〔決定〕を押す

- ・「オン」(工場出荷時)
- ・「オフ」

音声ガイドの設定 音声ガイドの設定を変える

音声ガイドの読み上げの設定をします。

⑤ ▲▼で「音声ガイドの設定」を選び、
〔決定〕を押す

⑥ ▲▼で項目(①～③)を選び、
〔決定〕を押す

▲▼で設定を選び、〔決定〕を押す

音声ガイドの設定	
音声ガイド機能	オフ
読み上げ速度	標準
読み上げ音量	標準

① 音声ガイド機能
音声ガイド機能をオン／オフする
・「オン」
・「オフ」(工場出荷時)

② 読み上げ速度
読み上げ速度を調節する
・「高速」
・「標準」(工場出荷時)
・「低速」

③ 読み上げ音量
読み上げ音量を調節する
・「大」
・「標準」(工場出荷時)
・「小」

● 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

70ページ手順①～④で「システム設定」画面を表示させてから行ってください。

制限項目設定 有料番組や視聴年齢制限を設定する

- 年齢の下限や購入金額の上限を設定できます。
- 制限を超える番組は暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は番組表などで「…」と表示します。
- 番組表で「…」と表示される番組でもケーブルテレビ局の運用により、選局できる場合があります。

⑤ ▲▼で「制限項目設定」を選び、
〔決定〕を押す

⑥ 画面の指示に従って①～⑩まで
4桁の暗証番号を入力する

● 初めて設定するときは暗証番号を2回入力して登録します。

● 登録した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限
プラウザ制限	しない
制限解除有効期限	(参考) 65ページ 電源OFFまで
チャンネルスキップ設定	(参考) 74ページ
暗証番号変更	
暗証番号削除	

● 各項目の詳細は以下をご覧ください。

有料番組のとき一番組の購入金額を制限する

① ▲▼で「一番組限度額」を選び、
〔決定〕を押す

視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限

● 視聴可能年齢と一番組限度額が同じです。

② ▲▼で制限する金額を選び、〔決定〕を押す
制限できる金額

- ・「100円」「500円」「1000円」「1500円」「2000円」「2500円」「3000円」
- ・「無制限」(工場出荷時)

設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと

暗証番号の入力画面が表示される。

一番組の購入限度額を超えています。 暗証番号を入力してください。
暗証番号 ****

① ①～⑩を押して、暗証番号を入力する。

制限を解除(視聴できる)

制限解除の期限を設定する

① ▲▼で「制限解除有効期限」を選び、
〔決定〕を押す

プラウザ制限	しない
制限解除有効期限	電源OFFまで
チャンネルスキップ設定	

② ▲▼で制限解除の有効期限を選び、〔決定〕を押す

- ・「電源OFFまで」(工場出荷時)
電源を切るまで視聴可能
- ・「選局まで」
チャンネルを変えるまで視聴可能

● 使いかたに合わせて設定を変える

便利に使う

使いかたに合わせて設定を変える

- 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

70ページ手順①～④で「システム設定」画面を表示させてから行ってください。

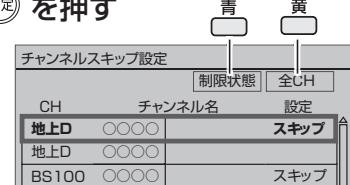
制限項目設定 有料番組や視聴年齢制限を設定する

視聴できるチャンネルを制限する

- ① ▲▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定を押す



- ② ▲▼で制限するチャンネルを選び、決定を押す



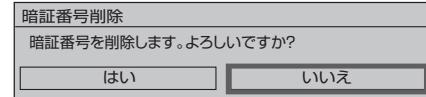
- スキップ設定したチャンネルは選局できなくなります。(番組表にも表示しません)
- スキップ設定したチャンネルを選び、決定を押すと、スキップ設定を解除します。
- 青□でチャンネルスキップ設定を一時解除します。押すごとに「制限状態」「一時解除」に切り換わります。
(電源を「切」「入」すると制限状態に戻ります。)
- 黄□でスキップチャンネルのみの表示に切り換わります。押すごとに「全CH」「スキップ」に切り換わります。

暗証番号を削除する

- ① ▲▼で「暗証番号削除」を選び、決定を押す



- ② ◀で「はい」を選び、決定を押す

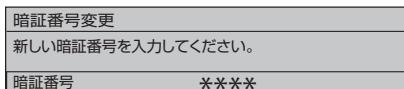


暗証番号を変更する

- ① ▲▼で「暗証番号変更」を選び、決定を押す



- ② 1～10で、新しい4桁の暗証番号を入力する



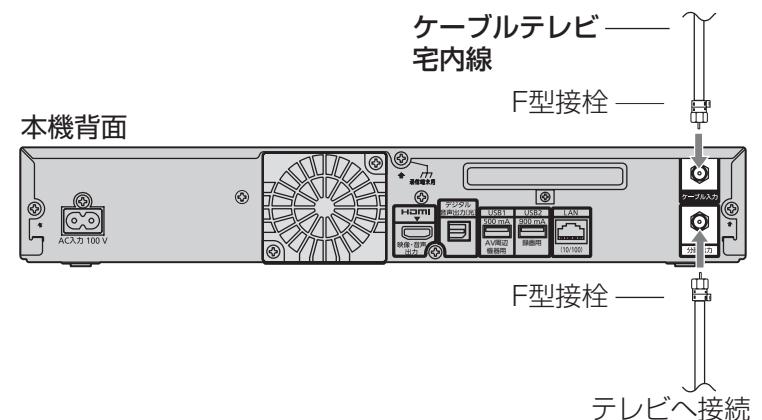
- ③ 画面の指示に従って
再度、4桁の暗証番号を入力する

● 変更した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

使いかたに合わせて設定を変える

便利に使う

ケーブルテレビ宅内線の接続



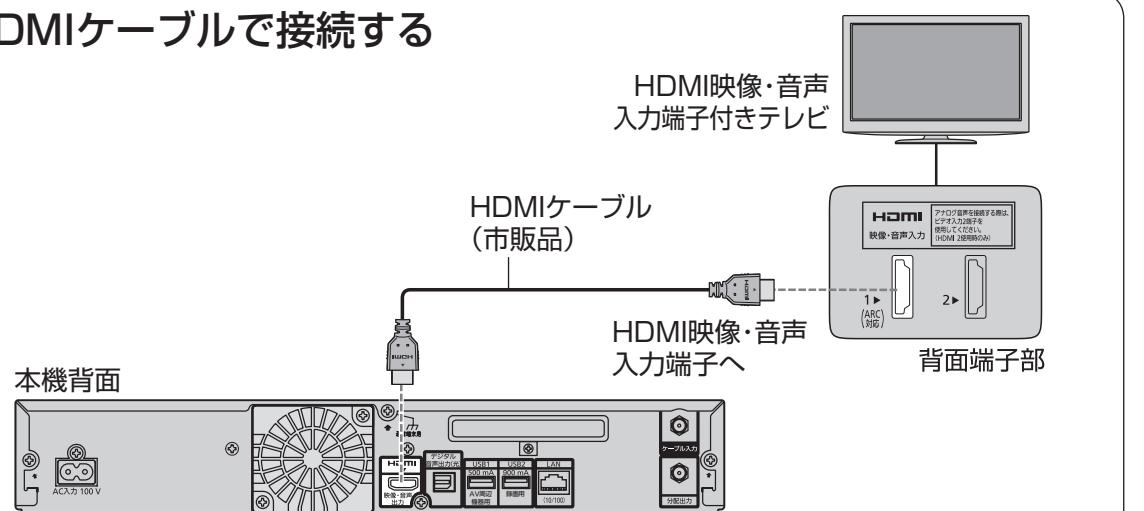
お願い

- ケーブル端子・分配出力端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
- ケーブル端子には、ケーブルテレビ宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
- 分配出力端子には、BSアンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。

テレビの接続

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。

HDMIケーブルで接続する



お願い

- HDMI規格に準拠したHDMIロゴのついたケーブルをご使用ください。
- 高画質な4K番組を視聴していただくには、4K対応テレビ(HDMI 2.0/HDCP2.2対応端子搭載)に接続してください。
- 3D映像番組をご覧いただくためには、本機と3D対応テレビは3D対応HDMIケーブルでの接続が必要です。

B-CAS/C-CASカードの挿入

■ICカードのテストをするとき

(☞ 90ページ)

■ICカードを抜くとき

- ① 電源プラグを電源コンセントから抜く
- ② ゆっくりとICカードを抜く

●ICカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(☞ 120ページ)

●ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、ICカードテストを行ってください。(☞ 90ページ)

● B-CAS/C-CASカードの挿入

● テレビの接続

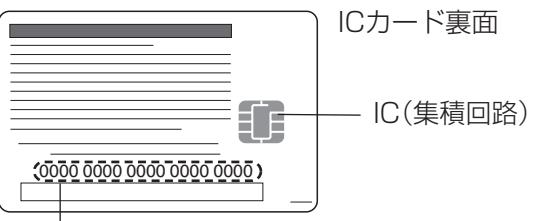
接続・設定

BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー回数を限定したコピー制御信号を加えて放送されています。(☞ 46ページ)

その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ICカードについて

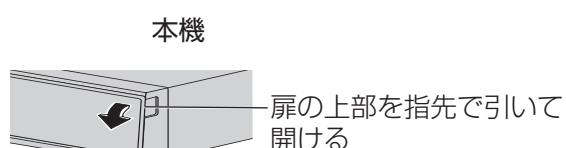
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりB-CASカードのみの場合があります。



- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する (電源プラグを抜いた状態)

2 前面の扉を開け、ICカードを挿入し、扉を閉める



ICカード挿入口(上段 : C-CAS、下段 : B-CAS)



- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

ICカードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

■ICカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- 分解加工は行わない。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。

お願い

- 本機専用のICカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとICカードは機能しません。

ネットワークへの接続

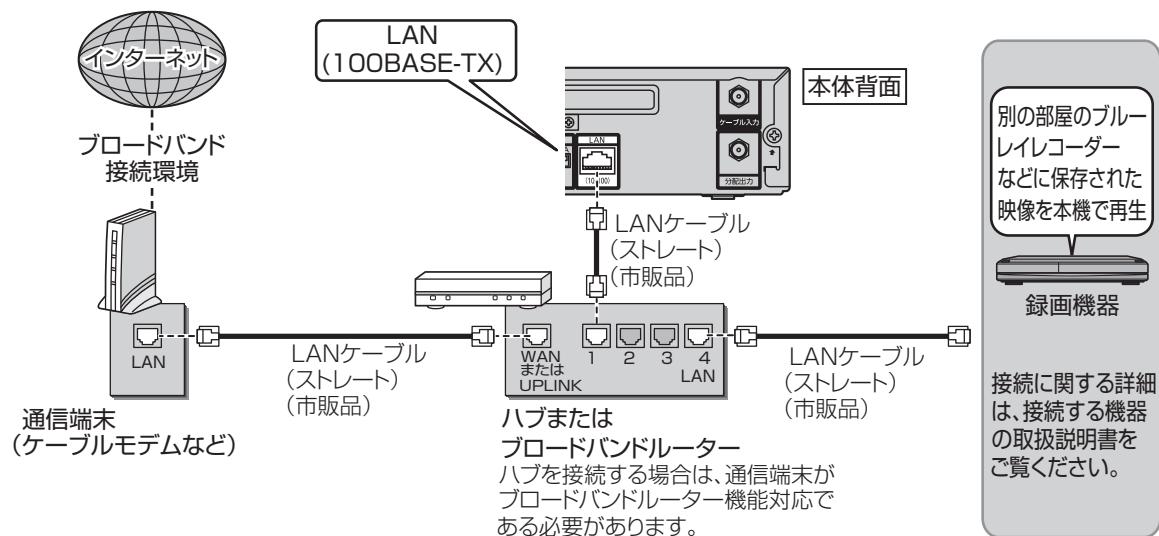
インターネット(ブラウザ)をご利用いただく場合、本機のLAN(100BASE-TX)端子をお使いのブロードバンド環境へ接続してください。また、お部屋ジャンプリンクをご利用いただく場合は、本機と対応機器とのネットワーク接続が必要です。

■ブロードバンド環境により必要な機器と接続方法が異なります。

- ケーブルモデムと接続するためには、ご加入のケーブルテレビ局と新たにご契約が必要になる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
- ご使用の環境によりケーブルモデムなどブロードバンド機器がご使用になれない場合があります。ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

有線LANのとき

無線LANの接続例については82ページをご覧ください。



■接続後は、必ずネットワーク関連設定(☞ 92~96ページ)を行ってください。

お願い

- 100BASE-TX用の機器を接続する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。

お知らせ

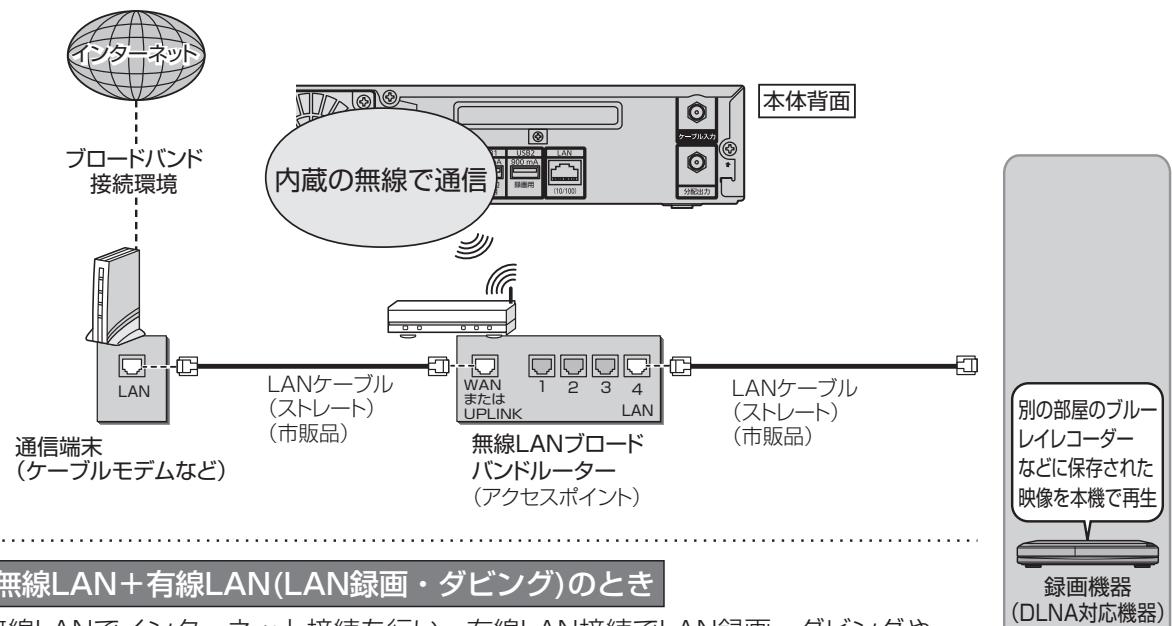
- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
- ポータルサイトの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH)でのブロードバンド環境が必要です。
- 100BASE-TX対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
- PLC^{*1}、無線LANで再生映像が乱れるなどの現象がある場合は、LANケーブルでのご使用をおすすめします。
- 本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 本機に接続したDHCP^{*2}でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- 本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間をおいて(約3分間)再度試してください。

※1 家庭内の電力線を使って、電源コンセントからネットワークに接続して情報を送受信する仕組みです。

※2 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。

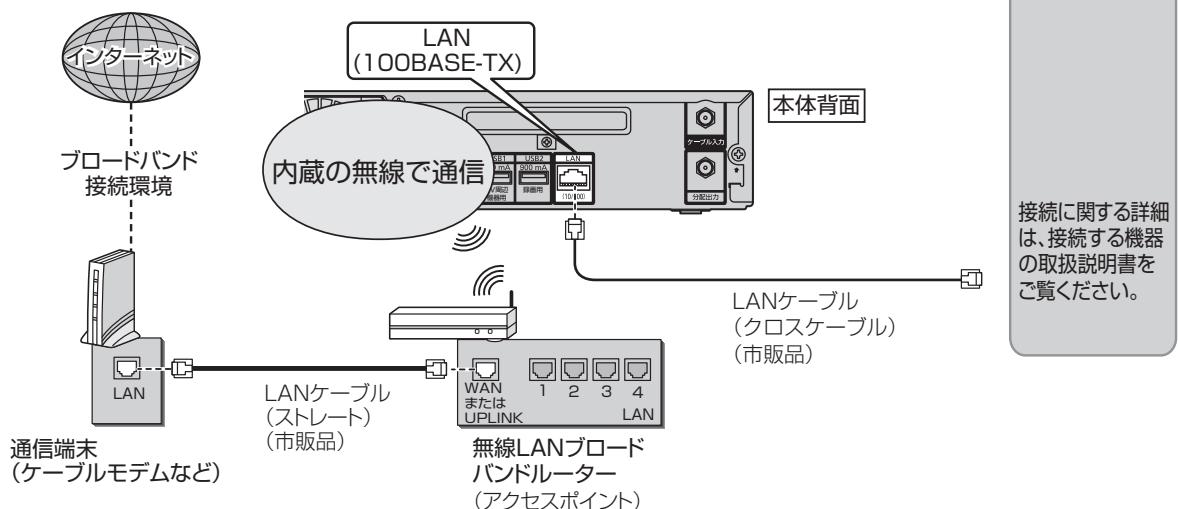
ネットワークへの接続

無線LANのとき



無線LAN+有線LAN(LAN録画・ダビング)のとき

無線LANでインターネット接続を行い、有線LAN接続でLAN録画、ダビングやお部屋ジャンプリンクの再生を行う場合の接続例です。



■接続後は、必ずネットワーク関連設定(☞92~96ページ)を行ってください。

■無線 LANについて

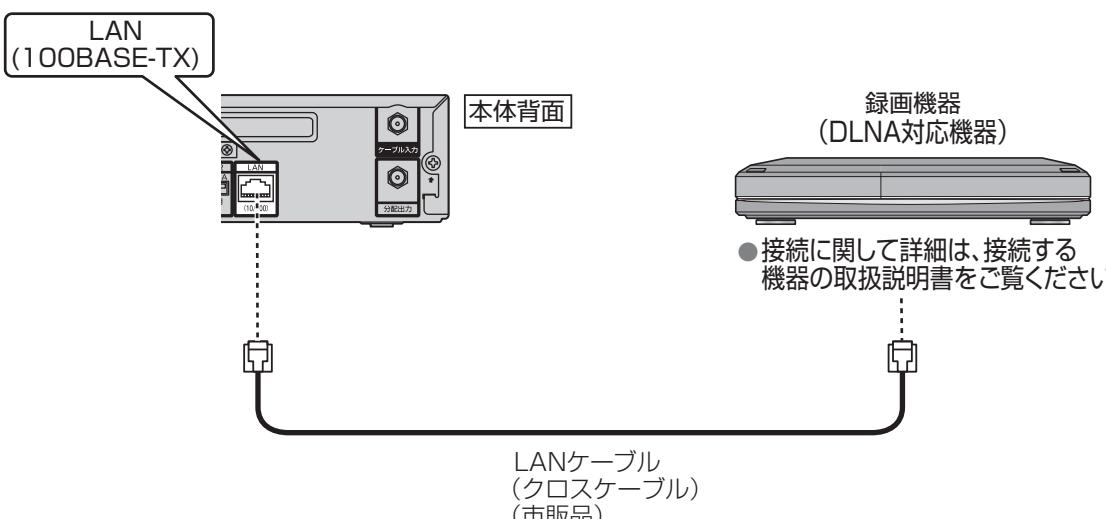
- 別途、本機との接続に対応したアクセスポイントが必要です。
- アクセスポイントはWPS対応であることをご確認ください。(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。) 詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントとの無線方式は、11n(5 GHz)を推奨します。
11a, 11b, 11g, 11n(2.4 GHz)でも通信できますが、通信速度が遅くなることがあります。
- 本機と他の無線機器との接続環境によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコンなど)が接続できなくなることがあります。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 電波を使う機器から離してください。
電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
 - 電子レンジ
 - 他の無線LAN機器
 - Bluetooth® 対応機器
 - その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器(デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)
- 接続環境によっては、お部屋ジャンプリンクの再生で映像が途切れたり、再生できないことがあります。うまく再生できない場合は、有線LANで接続してください。(お部屋ジャンプリンク ☞ 44ページ)

お知らせ

- LAN録画(☞33ページ)を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続でご使用ください。無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。

本機と録画機器(DLNA対応機器)を直接接続する

ブロードバンドルーターなどのネットワーク機器を経由せずに、本機と録画機器(DLNA対応機器)を直接接続できます。



設置設定

各機器を接続後、以下の設置設定を行ってください。

操作するリモコンのボタン位置 (☞ 11ページ)

①  を押す

② ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、(決定) を押す

③ ▲▼で「放送設定」を選び、(決定) を押す

④ ▲▼で「設置設定」を選び、(決定) を押す

設置設定	
チャンネル設定	▶ 下記
番組表設定	▶ 87
地域設定	▶ 87
クイックスタート	切
無操作自動オフ	6時間
C-CASカードテスト	---
B-CASカードテスト	---
リモコンモード	リモコン1
接続テレビ設定	▶ 111
	▶ 88

BS、CATVのとき

⑥ ▲▼で設定する放送を選び、(決定) を押す

チャンネル設定	
地上デジタル	
BS	
CATV	

① ▲▼で修正したい行(リモコン番号)を選び、(決定) を押す

BSチャンネル設定			
リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	---	---	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ

●受信されている放送のみ表示されます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

② ◀▶でCHを変更する

リモコン番号設定 1	
CH	< 101 >
チャンネル名	NHK BS1
種類	テレビ

③ 戻る (○) を押す

●リモコンの13~36に設定したチャンネルは、お好み選局表に登録され、その表から選局できます。

●選局対象 (☞ 71ページ) を「設定チャンネル」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

地上デジタルのとき

⑥ ▲▼で「地上デジタル」を選び、(決定) を押す

設定方法選択	
設定を行う前に、ケーブルが接続されているか確認してください。	
次の場合、何も受信しない可能性があります。	
・ケーブルテレビ局が地上デジタル放送を送信していない	
初期スキャン	
再スキャン	
マニュアル	

① 初期スキャン
改めて自動でチャンネル設定する

② 再スキャン
地上デジタル放送の受信チャンネルが変わったとき、受信できる局を自動で追加するとき

③ マニュアル
自動で設定したチャンネルを修正したいとき

初期スキャン

① ▲▼で「初期スキャン」を選び、(決定) を押す

設定方法選択	
設定を行う前に、ケーブルが接続されているか確認してください。	
次の場合、何も受信しない可能性があります。	
・ケーブルテレビ局が地上デジタル放送を送信していない	
初期スキャン	
再スキャン	
マニュアル	

② 青 (□) を押し、方式切換の画面が表示されたら▲▼でチャンネルスキャン方式を選び、(決定) を押す

方式切換	
選択した方式でスキャンを行います。	
(設定の変更はケーブル局にて確認のうえ行ってください。 正しく受信できなくなる場合があります。)	
現在の方式 : パススルー	
パススルー	
トランスモジュレーション	

●「パススルー」または「トランスモジュレーション」を選ぶ

設定の変更はご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

③ ▲▼で「地域選択」を選び、(決定) を押す

地域設定	
地域にあたる地上デジタルチャンネル設定を行なうために必要です。	
地域設定を変更すると、これまでの地上デジタルチャンネル設定が削除されます。	
これよりチャンネルスキャンを開始します。	
チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になりますので、ご注意ください。	
次へ	
地域選択	北海道(札幌)

④ ▲▼でお住まいの地域を選び、(決定) を押す

⑤ ▲▼で「次へ」を選び、(決定) を押す

●チャンネルスキャン画面を表示します。
受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します。
(今までの設定は全てリセットされます。)
●スキャン中は映像と音声は出ません。
終わるまでに、10分程度かかる場合があります。

⑥ チャンネルが正しく設定されていることを画面で確認し、(○) を押す

■修正したいとき

→☞ 右記「マニュアル」の手順②へ

● 戻る (○) で1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、(元の画面) でテレビ放送の画面に戻します。

再スキャン

① ▲▼で「再スキャン」を選び、(決定) を押す

設定方法選択	
設定を行う前に、ケーブルが接続されているか確認してください。	
次の場合、何も受信しない可能性があります。	
・ケーブルテレビ局が地上デジタル放送を送信していない	
初期スキャン	
再スキャン	
マニュアル	

● 10分程度、時間がかかる場合があります。
●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

② チャンネルが正しく設定されていることを画面で確認し、(○) を押す

■修正したいとき

→☞ 下記「マニュアル」の手順②へ

マニュアル

① ▲▼で「マニュアル」を選び、(決定) を押す

設定方法選択	
設定を行う前に、ケーブルが接続されているか確認してください。	
次の場合、何も受信しない可能性があります。	
・ケーブルテレビ局が地上デジタル放送を送信していない	
初期スキャン	
再スキャン	
マニュアル	

② ▲▼で修正したい行(リモコン番号)を選び、(決定) を押す

地上デジタルチャンネル設定	
リモコン	CH
1	101 NHK総合○○ テレビ
2	102 NHK教育○○ テレビ
3	---
4	141 テレビ2000 テレビ

③ ◀▶でCHを変更する

リモコン番号設定 1	
CH	< 101 >
チャンネル名	NHK 総合○○
種類	テレビ

④ 戻る (○) を押す

■設定した項目(「放送局名」や「CH」など)を他のリモコン番号と入れ替えたいとき

① 緑 (□) を押す

② ▲▼で、入れ替える番号を選び、(決定) を押す

③ ▲▼で、入れ替える番号を選び、(決定) を押す

④ ○ を2回押す

設置設定

以下は、84ページ手順①～④で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

チャンネル制限

番組表の表示やチャンネル選局、お好み選局を視聴できるチャンネルのみに設定できます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示されない場合があります。

- ⑤ ▼で「チャンネル設定」を選び、**(決定)** を押す
- ⑥ ▼で設定する「チャンネル制限」を選び、**(決定)** を押す

チャンネル設定	
地上デジタル	
BS	
CATV	
チャンネル制限	制限する

- ⑦ ◀で「制限する」を選び、**(決定)** を押す

チャンネル制限設定	
番組表等でのチャンネル表示の設定を行います。「制限する」を選択すると、お客様が視聴いただけない一部のチャンネルの表示、選局を制限します。	
制限する	制限しない

●チャンネル制限をしないときは「制限しない」を選びます。

- ⑧ ◀▶で設定を選び、**(決定)** を押す

チャンネル制限設定	
チャンネル情報を今すぐ更新しますか？	
チャンネル情報の確認には数分かかります。	
「いいえ」を選択すると電源オフ時に更新します。	
はい	いいえ

●「はい」チャンネル情報を今すぐ更新します。情報更新には数分かかります。

しばらくすると設定の完了画面が表示されます。

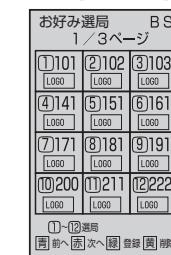
●「いいえ」チャンネル情報を電源オフ時に更新します。

お好み選局ボタンでチャンネル設定する

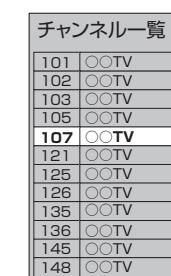
- ① 番組を見ているときに**[好み選局]** を押す

- ② ▲▼◀▶で登録したいボタンを選び、**緑** を押す

<お好み選局画面>



- ③ ▲▼で登録したいチャンネルを選び、**(決定)** を押す



■設定したチャンネルを削除するとき

- ▲▼◀▶で選び、**黄** を押し、
◀で「はい」を選び、**(決定)** を押す

チャンネル設定について

チャンネル設定のリモコン1～12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1～12で選局できます。またお好み選局の1ページ目に表示します。
(同様にリモコン13～24はお好み選局の2ページ目、リモコン25～36は3ページ目に表示します。)

● 設定中、○で1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

以下は、84ページ手順①～④で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

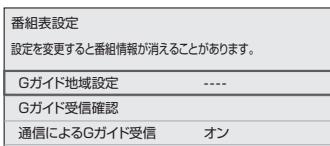
番組表設定

地域に合わせた番組表を表示させるための設定です。

- ① ▲▼で「番組表設定」を選び、**(決定)** を押す

- ② ▲▼で「Gガイド地域設定」を選び、**(決定)** を押す

- ▲▼でお住まいの地域を選び、
(決定) を押す



● 設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。
表示されなくなった場合は、設置設定を最初からやり直してください。

■番組表が受信できるか確認する

上記手順②で「Gガイド受信確認」を選び、**(決定)** を押す

- 受信可能であればスケジュールを表示します。
- 結果の表示に最大6分かかります。

■通信によるGガイド受信を設定する

上記手順②で「通信によるGガイド受信」を選び、**(決定)** を押す

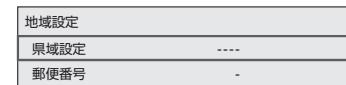
- 「オン」に設定すると、インターネットを利用して自動的に番組データを取得します。

地域設定

- ① ▲▼で「地域設定」を選び、**(決定)** を押す

- ② ▲▼で「県域設定」を選び、**(決定)** を押す

- ▲▼でお住まいの地域を選び、
(決定) を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
- 南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

- ③ ▼で「郵便番号」を選び、
1 あ. ~ **10 記号** で郵便番号を入力する



■入力を間違えたとき

→**黄** を押す

設置設定

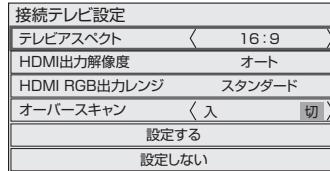
以下は、84ページ手順①～④で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

接続テレビの設定

接続するテレビに合わせて映像信号の出力方式を切り替えます。

① ▲▼で「接続テレビ設定」選び、
〔決定〕を押す

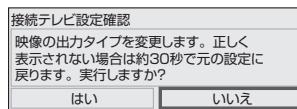
② ▲▼で「テレビアスペクト」選び、
◀▶で設定する



- ・「16:9」(工場出荷時)
ワイドテレビのとき
- ・「16:9フル」
ワイドテレビで左右の黒帯を無くして表示されるとき
- テレビ側の画面モードも切り換えて、正常な映像になるように設定してください。

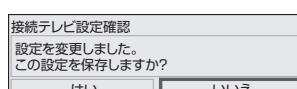
③ ▲▼で「設定する」選び、
〔決定〕を押す

④ ◀で「はい」選び、〔決定〕を押す



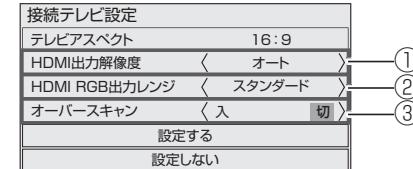
- 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が30秒間出力されます。
- 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

⑤ 映像が正しく映れば
◀で「はい」選び、〔決定〕を押す



HDMI出力設定

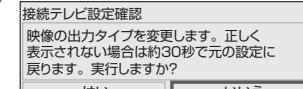
- ① ▲▼で「接続テレビ設定」選び、
〔決定〕を押す
- ② ▲▼で「HDMI出力解像度」または
「HDMI RGB出力レンジ」を
選び、◀▶で設定する



- ① HDMI出力解像度
・「オート」(工場出荷時)、「480p」、「1080p」
●「オート」は、4K(2160p)、1080p、480pの順で接続機器に適した解像度を自動で選択します。
高画質な4K番組を視聴する場合は、「オート」を選択してください。
- ② HDMI RGB出力レンジ
・「スタンダード」(工場出荷時)
・「エンハンス」
●映像の黑白が鮮明でないときは、「エンハンス」に設定してください。
- ③ オーバースキャン
・「入」
・「切」(工場出荷時)
●画面の端が切れる場合は、「入」に設定してください。この場合でも、接続するテレビによっては端が切れる場合があります。

③ ▲▼で「設定する」選び、
〔決定〕を押す

④ ◀で「はい」選び、〔決定〕を押す



- 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が30秒間出力されます。
- 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

⑤ 映像が正しく映れば
◀で「はい」選び、〔決定〕を押す

● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

本機のHDMI出力端子から出力される映像信号について

88ページのHDMI出力解像度の設定により、放送局から送信された信号方式[4K(2160p)、1080i、720p、480i、480p]を本機は下表のような信号方式で出力します。

出力解像度	HDMI出力解像度	「HDMI出力解像度の設定」により本機から出力される信号方式	
		480p	1080p
放送するか信号送方式	HD	1080iの放送	480pに 変換して出力
	SD	720pの放送	
	4K	480iの放送	480pを そのまま出力
		480pの放送	
		2160pの放送	480pに 変換して出力

*480i、480pの放送は1080pに変換されますが、画質は480i、480pと同等のままです。

お知らせ

●HDMI出力端子から出力する映像信号は、放送局から送られてくる信号とHDMI出力解像度の設定により異なります。正しく設定できていない場合は、映像が映らなかったり映像が映っても、接続されるテレビの持っている本来の画質にならないことがあります。

走査線について

1080i

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

480i

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。

480p

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。

720p

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。

1080p

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。

4K(2160p)

スーパーハイビジョン放送(UHDTV)の1つで、1/60秒ごとに2160本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。

設置設定

以下は、84ページ手順①～④で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

クイックスタート

映像を早く映したいときに設定します。

- 1 ▲▼で「クイックスタート」を選び、
決定 を押す
▲▼で「入」を選び、決定 を押す

地域設定	
クイックスタート	切
無操作自動オフ	6時間

- 「入」
- 「切」(工場出荷時)
- クイックスタートが「入」のとき
リモコンで電源オフ時、本体電源表示は
橙色が点灯します。
- 「サーバー機能」([96ページ](#))、
「リモートプレーヤー設定」([98
ページ](#))、「宅外リモート接続機能」
([98ページ](#))のいずれかを「入」にし
ているときは、クイックスタートが「入」
に固定され、設定を変更できません。

無操作自動オフ

操作しない状態が設定時間続くと、自動的に電源
を切り無駄な消費電力を低減します。

設定時間を短くすると、電源の切り忘れ時に効果
があり省エネにつながります。

- 1 ▲▼で「無操作自動オフ」を選び、
決定 を押す
▲▼で時間 выбираи、決定 を押す

クイックスタート	
無操作自動オフ	切
C-CASカードテスト	6時間
B-CASカードテスト	—

- 「切」
- 「12時間」
- 「6時間」(工場出荷時)
- 「3時間」

■「無操作自動オフ」がはたらくと

- 電源が切れる3分前になると、無操作自
動オフで電源が切れるまでの残り時間
が表示されます。

無操作自動オフにより、あと3分で電源が切れます。
視聴を続ける場合、決定キーを押してください。

- 決定などのボタン操作で解除されます。
- 録画動作中に無操作自動オフ機能が働
いた場合、本体の電源はオフになります
が、録画は停止しません。

C-CAS/B-CASカードテスト

- カードを挿入して3秒以上経ってから行って
ください。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容に
より、B-CASカードのみの場合があります。

- 1 ▲▼で「C-CASカードテスト」を
選び、決定 を押す

クイックスタート	
無操作自動オフ	切
C-CASカードテスト	6時間
B-CASカードテスト	—
リモコンモード	リモコン1

- カードテストの結果画面が表示されます。

カードが正しく挿入されていないなどの
メッセージが表示された場合は、C-CAS
カードの挿入を確認してください。
([79ページ](#))

- 2 ▲▼で「B-CASカードテスト」を
選び、決定 を押す

クイックスタート	
無操作自動オフ	切
C-CASカードテスト	6時間
B-CASカードテスト	—
リモコンモード	リモコン1

- カードテストの結果画面が表示されます。

カードが正しく挿入されていないなどの
メッセージが表示された場合は、B-CAS
カードの挿入を確認してください。
([79ページ](#))

● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。

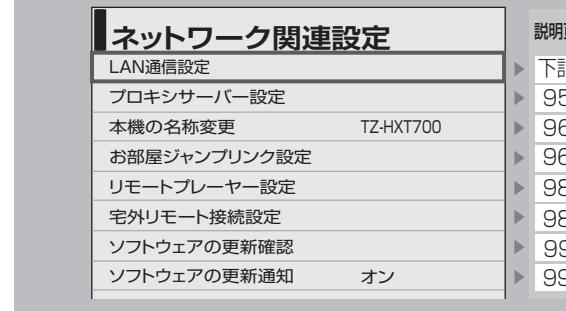
● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

ネットワーク関連設定

本機をネットワーク接続するための設定です。

- 接続設定につきましては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

- 1** を押す
- 2** ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す
- 3** ▼で「ネットワーク関連設定」を選び、 を押す



- 4** ▲▼で「LAN通信設定」を選び、 を押す

ネットワークの接続方法を選択する(有線/無線)

- 5** ◀▶で設定を選び、 を押す



- 「有線」を選択したとき
→「IPアドレス/DNS設定」([80、82ページ](#))
- 「無線」を選択したとき
→「アクセスポイント接続設定」([右記](#))
- 「無線+有線」を選択したとき
→「アクセスポイント接続設定」([右記](#))
→「IPアドレス/DNS設定」([93ページ](#))

アクセスポイント接続設定(無線)

ネットワークの接続方法を「無線」または「無線+有線」を選択した場合に「無線設定」画面が表示されます。
接続するアクセスポイント[無線ネットワーク(SSID)]を選択し、設定を行ってください。

無線設定			
No.	無線ネットワーク(SSID)	無線方式	状態
1	○○○○○○○○○○	11n(2.4GHz)	
2	□□□□□□□□	11n(2.4GHz)	
3	△△△△△△△△△△	11g(2.4GHz)	

■無線接続について

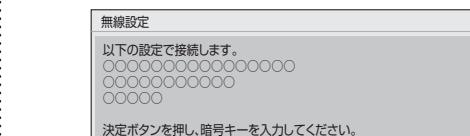
アクセスポイントがWPSに対応している場合は、「WPS(プッシュボタン)方式」を選ぶとかんたんに設定することができます。
対応していない場合は、「暗号キーの入力」、「WPS(PIN)方式」または「マニュアル」を選んで設定を行ってください。

- 接続先のアクセスポイントがWPS対応であるかどうかは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントを選択し、 を押すとアクセスポイントの情報表示が表示します。「SSID」「MACアドレス」「無線方式」「認証方式」「暗号化方式」

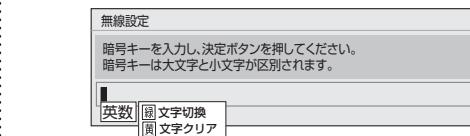
暗号キー入力の場合

接続機器の暗号キーを入力して接続します。

- 6** ▲▼で接続するアクセスポイントを選び、 を押す



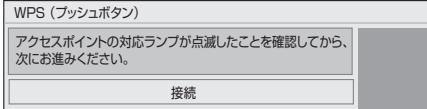
- 7** を押す
暗号キーを入力し、 を押す



- 8** 「無線ネットワークへの接続が完了しました。」と表示されたら、 を押す

WPS(プッシュボタン)方式の場合

- 6** 青 を押す



- 7** アクセスポイント(無線LAN親機)の「WPS」ボタンを対応ランプが点滅するまで押す

※ WPS対応ランプが点滅したら、 を押す

設定がはじまります。

※アクセスポイント(無線LAN親機)により、操作方法・ボタン・ランプなどは異なります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

- 8** 「無線ネットワークへの接続が完了しました。」と表示されたら、 を押す

マニュアルの場合

- 6** 緑 を押す

●接続するアクセスポイントのSSID、認証化方式、暗号化方式、暗号キーを画面に従って入力してください。入力内容がアクセスポイントと違う場合は、接続できません。

●マニュアルで接続できない場合は、暗号キー入力([82ページ](#))で接続してください。

アクセスポイントを再検索する

- 6** 黄 を押す

●本機でスキャンすることができた無線LANアクセスポイントが更新表示されます。

IPアドレス/DNS設定

■接続テスト

ネットワークが接続可能か確認します。

- ▲▼で「接続テスト」を選び、 を押す



- 「OK」接続が完了
- 「宅内機器使用可」本機とホームネットワーク回線の接続が完了
- 「テスト中」テスト中
- 「NG」ブロードバンド環境の接続([80、82ページ](#))と設定の確認を行い、92ページからの設定、IPアドレス設定、およびDNS設定([94ページ](#))を確認して再度テストしてください。

次ページにつづく▶▶▶

ネットワーク関連設定

■IPアドレス設定

DHCPでのIPアドレス自動取得が使えるとき

- ①▲▼で「IPアドレス自動取得」を選び、
〔決定〕を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	000:000:000:000

- ②▲▼で「する」を選び、〔決定〕を押す

ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

IPアドレスを手動で入力するとき

- ①▲▼で「IPアドレス自動取得」を選び、
〔決定〕を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	000:000:000:000

- ②▲▼で「しない」を選び、〔決定〕を押す

- ③▲▼で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選ぶ

- ④プロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	
IPアドレス自動取得	しない
IPアドレス	192:254:88:89

IPアドレスを修正するときは [] (1文字削除)で消去後に入力してください。

IPアドレスが0~255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

●設定は、「接続テスト」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

■DNS設定

DHCPでのDNSアドレス自動取得が使えるとき

- ①▲▼で「DNS-IP自動取得」を選び、
〔決定〕を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	000:000:000:000
サブネットマスク	000:000:000:000
ゲートウェイアドレス	000:000:000:000
DNS-IP自動取得	する
DNS	
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

- ②▲▼で「する」を選び、〔決定〕を押す

DNSアドレスを手動で入力するとき

- ①▲▼で「DNS-IP自動取得」を選び、
〔決定〕を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	000:000:000:000
サブネットマスク	000:000:000:000
ゲートウェイアドレス	000:000:000:000
DNS-IP自動取得	する
DNS	
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

- ②▲▼で「しない」を選び、〔決定〕を押す

- ③▲▼でDNSを選ぶ

- ④ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する
<入力画面例>

ゲートウェイアドレス	00:00:00:00
DNS-IP自動取得	しない
DNS	255.255.255.128
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

IPアドレスを修正するときは [] (1文字削除)で消去後に入力してください。

IPアドレスが0~255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

●設定は、「接続テスト」を行うと有効になります。(☞ 95ページ)

● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

以下は、92ページ手順①～③で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

■プロキシサーバー設定

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。

●プロキシアドレス

ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレス。
ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。
(例:proxy.○○○.ne.jp)

●プロキシポート番号

プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。
(例:8000)

ポータルサイトに接続できるか確認します。

左記手順⑤のとき

- ▲▼で「接続テスト」を選び、〔決定〕を押す

■接続テスト用サイトにつながり

「OK」が表示されたとき

→正しく設定ができています。

■正しく接続されなかったとき

「NG」が表示されます

→画面上にメッセージが表示されます。

接続と設定をご確認ください。

(☞ 80、82、92~96、121ページ)

プロキシサーバー設定

接続テスト

プロキシサーバー設定
プロキシアドレス
プロキシポート番号 0
接続テスト --

- 4 ▲▼で「プロキシサーバー設定」を選び、〔決定〕を押す

- 5 ▲▼で「プロキシアドレス」を選び、
〔決定〕を押す

プロキシサーバー設定
プロキシアドレス
プロキシポート番号 0
接続テスト --

- 6 プロキシアドレスを入力し、〔決定〕を押す

プロキシアドレス設定
HTTPプロキシアドレスを入力し、「決定」ボタンを押してください。 何も入力しないで「決定」ボタンを押すと設定を削除することができます。
proxy.○○○.ne.jp

●文字の入力方法(☞ 67ページ)

- 7 ▲▼で「プロキシポート番号」を選び、
〔1番〕～〔10番〕でポート番号を入力する

プロキシサーバー設定
プロキシアドレス
プロキシポート番号 0
接続テスト --

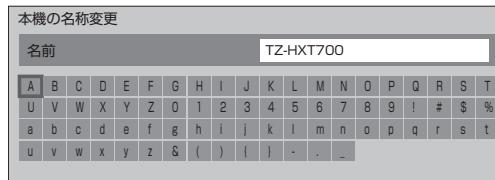
ネットワーク関連設定

以下は、92ページ手順①～③で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

本機の名称変更

本機の機器名を変えることができます。

- ④ ▼▲で「本機の名称変更」を選び、
〔決定〕を押す



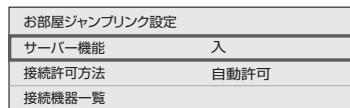
- ⑤ ▼▲◀▶でキーボードから文字を
選び、〔決定〕を押す
■文字を削除するとき
● 黄色の〔削除〕を押す

- ⑥ 文字の入力が終わったら、〔戻る〕を
押す

お部屋ジャンプリンクを設定する

ネットワーク接続されたお部屋ジャンプリンク
機器の録画番組を視聴するための設定をします。

- ④ ▼▲で「お部屋ジャンプリンク設
定」を選び、〔決定〕を押す



サーバー機能を「入」にする

- ⑤ ▼▲で「サーバー機能」を選び、
〔決定〕を押す
▼▲で「入」を選び、〔決定〕を押す

- 画面上にメッセージが表示されます。
- サーバー機能を「入」にすると「接続許可
方法」「接続機器一覧」(※上記)が設定
できるようになります。
- サーバー機能を「入」にすると、クリック
スタート「入」時と同じように動作し、待
機時消費電力は最小になります。

接続の許可を設定する

- ⑥ ▼▲で「接続許可方法」を選び、
〔決定〕を押す
▼▲で「自動許可」「手動許可」を
選び、〔決定〕を押す

- 「自動許可」
お部屋ジャンプリンク機器が接続された
らすべて自動的に許可します。
- 「手動許可」
手動で許可の設定をします。
「接続機器一覧」(※上記)で設定ができます。
- 許可の状態は「接続機器一覧」(※上記)
で確認できます。

- ⑦ ▼▲で「接続機器一覧」を選び、
〔決定〕を押す

接続機器一覧	MACアドレス	機器名	許可
00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00		<input checked="" type="checkbox"/>
△△-△△-△△-△△-△△	△△-△△-△△-△△-△△		<input checked="" type="checkbox"/>
□□-□□-□□-□□-□□	□□-□□-□□-□□-□□		<input checked="" type="checkbox"/>

- 接続されているお部屋ジャンプリンク
機器の情報が表示されます。
(MACアドレス、機器名、「許可」状態)
- 「許可」状態を手動で切り換える
▲▼で「許可」したい接続機器を選び、
〔決定〕を押す
●「許可」欄
チェックマーク()の接続機器に接続
が「許可」されます。
- 「接続許可方法」(※上記)が「自動許
可」の場合は、手動での切り換えはでき
ません。

有害サイトの閲覧を制限する

フィルタリングを設定する

フィルタリング機能とは、お子さまなどにインターネットで有害サイトを見せないようにするための機能です。
利用するためには、フィルタリングサービスの申し込みが必要です。
●Web Browserでのみ有効な機能です。

- ① を押す

- ② ▲▼◀▶で「Web Browser」を選び、〔決定〕を押す
●Web Browserの画面が表示されます。

- ③ ▲▼◀▶でカーソルを移動させて、画面右上にある☰(メニュー)を選び、
〔決定〕を押す
●メニュー画面が表示されます。

- ④ ▲▼◀▶で「フィルタリング設定」を選び、〔決定〕を押す

- ⑤ ▲▼◀▶で「申し込み手続き」を選び、〔決定〕を押す

- フィルタリングサービス*の申し込み手続き画面に移動します。
画面の表示内容に従って操作してください。

*デジタルアーツ株式会社提供の有害サイトフィルタリングサービス「i-フィルター」
(有料)をご利用いただくことで、インターネットを利用するときに、閲覧するのにふさわ
くないサイトの表示を制限することができます。有害サイトの判定にあたっては、閲覧さ
れるページのURL情報が自動的にデジタルアーツ株式会社へ送信されます。
なお、お客様からの情報はこの目的以外に使用されることはありません。

- ⑥ ▲▼◀▶で「フィルタリング機能」を選び、〔決定〕を押し、
▲▼◀▶で「オン」を選び、〔決定〕を押す

お知らせ

- フィルタリング機能の申し込み手続きは、ネットワークの接続が必要です。
- プロキシサーバー設定(※95ページ)を使用している場合、フィルタリング機能を有効
にすると、Web Browserでの通信ができなくなる場合があります。

宅外リモート接続設定

以下は、92ページ手順①～③で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

宅外リモート接続設定

宅外の機器から本機の録画予約などを操作できる機能です。

宅外リモート接続機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。

4 ▲▼で「宅外リモート接続設定」を選び、(決定)を押す

- 宅外リモート接続設定画面が表示されます。

5 ▲▼で「宅外リモート接続機能」を選び、(決定)を押し、「入」または「切」を選ぶ

- 宅外リモート接続を使用する場合は「入」を選んでください。

宅外リモート接続設定
宅外リモート接続機能 切
ネットワークからの番組消去 切

■ ネットワークからの番組消去

ネットワークから録画コンテンツを削除する機能の入／切を切り替えます。

- ・「入」：有効にします
- ・「切」：無効にします

■ 機器パスワード初期化

リモート接続する場合のパスワード(4桁の数値)を初期化できます。

- ① ▲▼で「機器パスワード初期化」を選び、(決定)を押す。
- ② 「はい」を選び、(決定)を押す。

■ 機器ID確認

ホームページから機器登録するために必要なIDを表示します。

リモートプレーヤー設定(リモート視聴)

宅外の機器から本機の放送、録画番組などを視聴できるリモート視聴機能です。

● 詳しくは、下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.biz/broad/catv-support/catvremoteplayer/index.html>
(2015年12月現在)

● ご加入のケーブルテレビ局によってはご使用できない場合があります。

● 4Kの放送や、4Kの録画番組は、リモート視聴することができません。

宅外リモート接続機能のご利用について

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
 - ・他人に見られたり、教えたりしないでください。
 - ・第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
 - ・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し(☞左記)、再設定してください。
 - ・機器を返却する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社およびご加入のケーブルテレビ局では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- スマートフォンなどのモバイル機器を紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちにご加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 「宅外リモート接続機能」を「入」にしたときは、すぐにリモート接続サービス側から機器パスワードを設定してください。また、「リモートプレーヤー設定」を「入」にした時は、すぐにリモート視聴アプリとのペアリングを行ってください。これらを行わずに設定を「入」にしたままになると、第三者から不正に利用される可能性があります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。

- 現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスにご加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。また、外付けのルーターをご使用の場合、設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社およびご加入のケーブルテレビ局ではお答えできません。

新しい情報のダウンロード方法を選ぶ

ご加入のケーブルテレビ局から送られる新しい情報のダウンロード方法を選ぶことができます。

ダウンロードについて

ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

ダウンロード予約する

1 ▲▼を押す

2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、(決定)を押す

3 ▲▼で「放送設定」を選び、(決定)を押す

4 ▲▼で「放送ダウンロード予約」を選び、(決定)を押す

放送設定
システム設定
設置設定
放送ダウンロード予約 自動
設定リセット

5 ▲▼で「自動」か「手動」を選び(決定)を押す

- ・「自動」(工場出荷時)
通常は「自動」をおすすめします。
リモコンで電源「切」時に情報が届いた場合は、自動的にダウンロードを実行します。
- ・「手動」
情報が届いた場合は、メールでお知らせします。メールを確認し、「ダウンロード予約」の「する」か「しない」を選びます。(☞ 76ページ「放送メール」)

ネットワークを利用してソフトウェアを更新する

1 ▲▼を押す

2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、(決定)を押す

3 ▲▼で「ネットワーク関連設定」を選び、(決定)を押す

4 ▲▼で「ソフトウェア更新確認」を選び、(決定)を押す

宅外リモート接続設定
ソフトウェアの更新確認
ソフトウェアの更新通知 オン

- 本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。更新する場合は、画面の指示に従ってください。

ソフトウェアの更新通知の設定

ソフトウェア更新がある場合に通知するか設定できます。

上記手順④のとき

▲▼で「ソフトウェアの更新通知」を選び、(決定)を押す

▲▼で「オン」か「オフ」を選び、(決定)を押す

お知らせ

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、ご利用できない場合があります。
- 更新中は他の動作はできません。また、故障の原因となるので、以下の動作は行わないでください。
 - ・本機の電源を切る
 - ・電源プラグをコンセントから抜く

● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。

● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

設定をリセットする

本機(内蔵ハードディスク)に保存したすべての内容を消去します。
本機をケーブルテレビ局へ返却するときに登録した個人情報を消去します。

ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

個人情報をリセットする

- ① を押す
- ② ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す
- ③ ▲▼で「放送設定」を選び、 を押す
- ④ ▲▼で「設定リセット」を選び、 を押す
- ⑤ ▲▼で「個人情報リセット」を選び、 を3秒以上押す
- ⑥ ◀で「はい」を選び、 を押す

個人情報リセット
契約解除を目的に、お客様が操作した情報をすべて消去します。よろしいですか?
ご加入のケーブルテレビ局との契約を解除する場合以外には実行しないでください。
正常に受信できなくなります。

はい いいえ

「受信機内部の初期化が終了しました。
電源プラグを抜いてください。」
のメッセージが表示されます。

本機の電源プラグを抜いてください。

お知らせ

- 本機に記録されているお客様に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が、すべて削除されます。
- 内蔵HDDおよびUSBハードディスクはフォーマット(初期化)されません。
- 双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作(退会手続きなど)を行ってください。

内蔵ハードディスクを全消去する(HDDフォーマット)

- ① 左記手順①～④の操作のあと
▲▼で「HDDのフォーマット」を選び、 を3秒以上押す
- ② ◀で「はい」を選び、 を押す

HDDのフォーマット
HDD(本機内蔵のハードディスク)のフォーマットを行います。
フォーマットを行うと、プロテクトされていてもHDDの内容がすべて消去されます。
HDDに予約を登録している場合は、予約を削除するか、フォーマット後に再登録してください。
フォーマットを実行してもよろしいですか?

はい いいえ

本機とテレビの電源を連動させる

テレビの電源と連動する

HDMI電源連動機能のある当社製テレビをHDMI経由で接続すると、本機とテレビの電源操作を連動させることができます。
テレビ側でもHDMIの設定を行ってください。

- ① を押す
- ② ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す
- ③ ▲▼で「接続機器関連設定」を選び、 を押す
- ④ ▲▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、 を押す
- ⑤ ▲▼で「ビエラリンク」を選び、 を押す
▲▼で「入」を選び、 を押す

ビエラリンク(HDMI)設定
ビエラリンク 入
電源オフ連動 切
ビエラリモコンで操作 切

- ⑥ ▲▼で「電源オフ連動」を選び、 を押す
▲▼で「入」を選び、 を押す

ビエラリンク(HDMI)設定
ビエラリンク 入
電源オフ連動 入
ビエラリモコンで操作 切

- ・「入」
本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
- ・「切」
電源オフ連動を無効にする

お知らせ

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

ECOスタンバイ

当社製テレビの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」の状態を設定します。

- テレビの電源「切」時には消費電力を少なくし、電源「入」時には本機がすぐに起動できる状態にします。

- ① を押す
- ② ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す

- ③ ▲▼で「接続機器関連設定」を選び、 を押す
- ④ ▲▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、 を押す

- ⑤ ▲▼で「ビエラリンク」を選び、 を押す
▲▼で「入」を選び、 を押す

ビエラリンク(HDMI)設定
ビエラリンク 入
電源オフ連動 切

- ⑥ ▲▼で「ECOスタンバイ」を選び、 を押す
▲▼で「入」を選び、 を押す

ビエラリンク(HDMI)設定
ビエラリンク 入
電源オフ連動 切
ビエラリモコンで操作 切
オートサウンド連携 切
ECOスタンバイ 入

- ・「入」
すぐに起動できる状態になる
- ・「切」
消費電力を少なくする

お知らせ

- ビエラリンク(HDMI)Ver.4.0以降対応している当社製テレビとの接続が必要です。
- 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるので待機時電力量が最小になります。

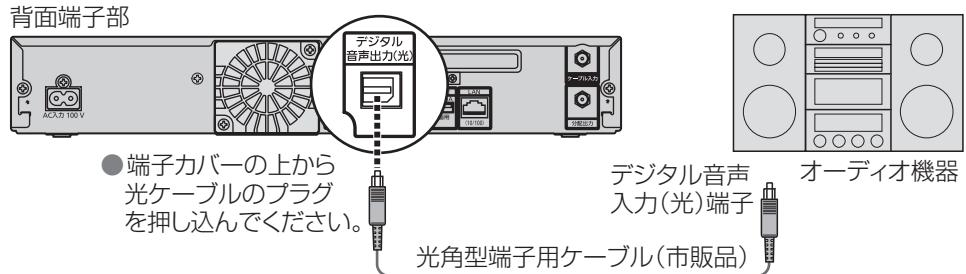
● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

● 本機とテレビの電源を連動させる

接続・設定

オーディオ機器の接続と設定

AACやドルビーデジタル対応のオーディオ機器を接続したときは、以下の設定を行ってください。



■接続できるオーディオ機器

- デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC^{*1}、ドルビーデジタル^{*2}対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。
- オーディオ機器の取扱説明書も、よくお読みください。

- ① を押す
- ② ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す
- ③ ▲▼で「接続機器関連設定」を選び、 を押す
- ④ ▲▼で「デジタル音声出力」を選び、 を押す
▲▼で設定を選び、 を押す

接続機器関連設定	
ピエラリンク(HDMI)設定	
USB機器一覧	
USB HDD機能待機する	
デジタル音声出力	PCM

- ・「オート」
サラウンド・ステレオ(5.1ch)番組のときのみ自動的に「AAC」や「ドルビーデジタル」出力に切り換える
- ・「PCM」(工場出荷時)
オーディオ機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」に対応していないとき
- ・「ビットストリーム」
AACの番組のときは、「AAC」出力、ドルビーデジタルの番組のときは、「ドルビーデジタル」出力それ以外は、「PCM」出力

お知らせ

- 「ビットストリーム」にすると、字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力(光)端子から出力されません。その場合は、「PCM」に設定してください。
- 「AAC」や「ドルビーデジタル」対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
- HDMI接続機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」対応の場合は、HDMI音声出力はデジタル音声出力で設定した音声方式で出力されます。HDMI接続機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」非対応の場合は、HDMI音声出力は「PCM」で出力されます。

- ※1 AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD(コンパクトディスク)並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語再生を行うこともできます。
- ※2 ドルビーデジタルとは、映画やコンサート会場の臨場感をご家庭でお楽しみいただけるデジタル音声規格のひとつです。

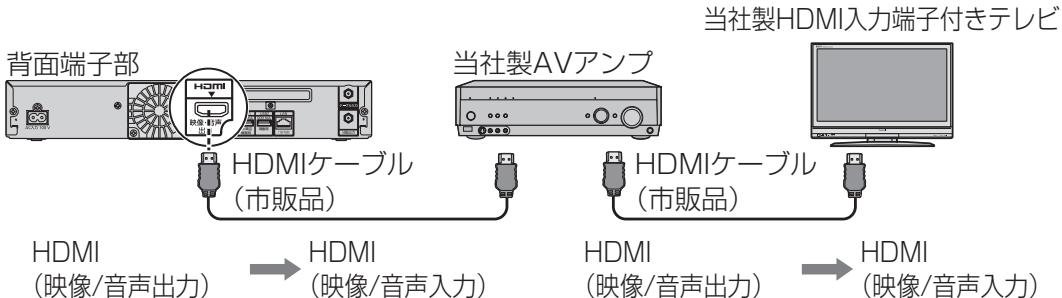
- 設定中、 で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、 でテレビ放送の画面に戻します。

音声の出力先を切り換える(ピエラリンク制御)

ピエラリンク制御機能がある当社製テレビまたはAVアンプをHDMI経由で接続すると、テレビの音声出力先を切り換えることができます。

ピエラリンク制御機能がある当社製AVアンプをHDMI経由で接続してください。

- テレビ側、AVアンプ側でもHDMIの設定が必要です。



- ① を押す

- ② ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す

- ③ ▲▼で「接続機器関連設定」を選び、 を押す

- ④ ▼で「ピエラリンク(HDMI)設定」を選び、 を押す

接続機器関連設定	
ピエラリンク(HDMI)設定	
USB機器一覧	

- ⑤ ▲▼で「ピエラリンク」を選び、 を押す

- ⑥ ▲▼で「入」を選び、 を押す

ピエラリンク(HDMI)設定	
ピエラリンク	入
電源オフ運動	切

・「入」

- 本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり本機の入力に切り換わる
- テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
- ・「切」(工場出荷時)
ピエラリンク(HDMI)制御を無効にする

- ⑦ ▲▼で「スピーカー切換」を選び、 を押す

- ⑧ ▼で音声出力先を選び、 を押す

スピーカー切換
音声をAVアンプから出す
音声をテレビから出す

お知らせ

- AVアンプは必ず本機とテレビの間に接続してください。
- ピエラリンク制御を行うには、接続したテレビ側、AVアンプ側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 本機からAVアンプへ番組に応じた最適な音声モードに切り換えることができます。(☞ 102ページ)
- HDCP2.2対応のAVアンプと、HDCP1.4対応のテレビを接続した場合、テレビに映像が出ません。

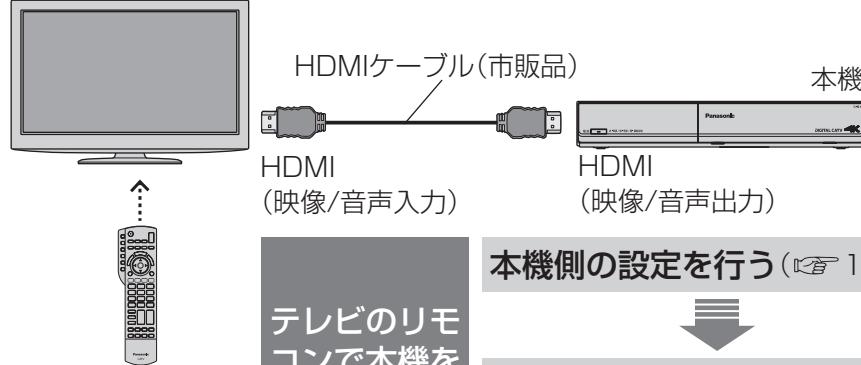
ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)Ver.3以降に対応した当社製テレビ「ビエラ」、またはAVアンプをHDMI経由で接続すると以下の操作ができます。

本機能は、接続した各機器のビエラリンク(HDMI)がVer.3から使用できます。
テレビのビエラリンクのバージョンは、テレビの取扱説明書をご確認ください。
本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作することができます。

ビエラリンク(HDMI)Ver.3以降の
当社製テレビ



- 本機を操作するときは、テレビのリモコンをテレビに向けてください。

テレビのリモコンで本機を操作するには

本機側の設定を行う (☞ 105ページ)
テレビ側の設定を行う
テレビ側の設定操作については、テレビの取扱説明書を参照ください。

お知らせ

- 本機とテレビの電源が「入」の状態で、テレビ側の入力切換の設定が本機のときに、ビエラリモコンで本機を操作することができます。

番組に適したAVアンプの音声モードを自動で切り換えることができます。(オートサウンド連携)

本機との接続は103ページ
をご覧ください。

オート
サウンド連携
を使うには

本機側の設定を行う (☞ 105ページ)

AVアンプ側の設定を行う

AVアンプ側の設定操作については、
AVアンプの取扱説明書を参照ください。

- 当社製HDMIケーブルを推奨します。

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

- ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社が独自機能を追加したもので

- HDMIケーブル(当社製)について
- ・品番: RP-CHKX10 (1 m)
 - ・品番: RP-CHKX15 (1.5 m)
 - ・品番: RP-CHKX20 (2 m)
 - ・品番: RP-CHKX30 (3 m)
 - ・品番: RP-CHKX50 (5 m)

- 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作するための設定

テレビのリモコンで操作するための設定を行います。
本機のリモコンで以下の設定を行ってください。

1 リモコンを押す

2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「接続機器関連設定」を選び、決定を押す

4 ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定を押す

接続機器関連設定	
ビエラリンク(HDMI)設定	
USB機器一覧	する
USB HDD機能待機	する
デジタル音声出力	PCM

5 ▲▼で「ビエラリンク」を選び、決定を押す

▲▼で「入」を選び、決定を押す

ビエラリンク(HDMI)設定	
ビエラリンク	入
電源オフ連動	切
ビエラリモコンで操作	切
オートサウンド連携	切
ECOスタンバイ	切

6 ▲▼で「ビエラリモコンで操作」を選び、決定を押す

▲▼で「入」を選び、決定を押す

ビエラリンク(HDMI)設定	
ビエラリンク	入
電源オフ連動	切
ビエラリモコンで操作	入
オートサウンド連携	切
ECOスタンバイ	切

ビエラのリモコンで本機を操作する
(☞ 106~109ページ)

オートサウンド連携を使うための設定

AVアンプの音声モードを自動で切り換えるための設定を行います。

1 リモコンを押す

2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「接続機器関連設定」を選び、決定を押す

4 ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定を押す

接続機器関連設定	
ビエラリンク(HDMI)設定	
USB機器一覧	する
USB HDD機能待機	する
デジタル音声出力	PCM

5 ▲▼で「ビエラリンク」を選び、決定を押す

▲▼で「入」を選び、決定を押す

ビエラリンク(HDMI)設定	
ビエラリンク	入
電源オフ連動	切
ビエラリモコンで操作	切
オートサウンド連携	切
ECOスタンバイ	切

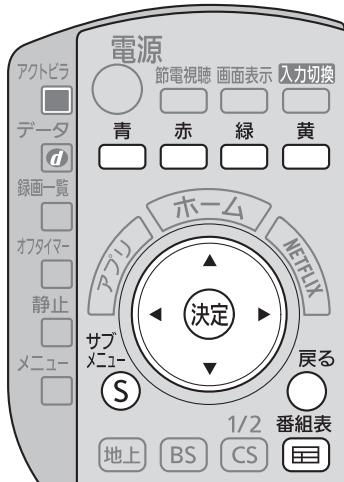
6 ▲▼で「オートサウンド連携」を選び、決定を押す

▲▼で「入」を選び、決定を押す

ビエラリンク(HDMI)設定	
ビエラリンク	入
電源オフ連動	切
ビエラリモコンで操作	切
オートサウンド連携	入
ECOスタンバイ	切

ビエラのリモコンで本機を操作する

テレビ(ビエラ)リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。



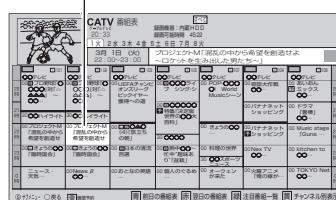
<ビエラのリモコン(例: TH-60CX800)>

録画・再生

1 を押す

2 番組表から▼▲◀▶で
録画したい番組を選び、 を押す

例: 選んでいる番組が黄色になる

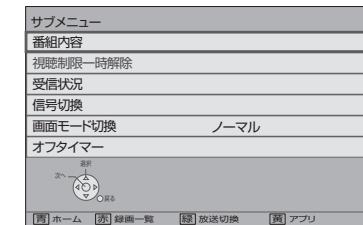


●録画予約についての詳細
(33~37ページ)

再生する

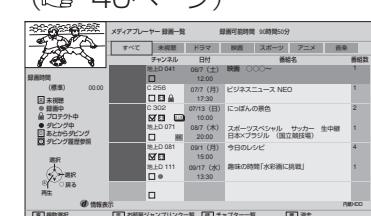
1 (S) を押す

→サブメニューが表示されます。



2 を押す

→録画一覧画面が表示されます。
(40ページ)



3 ▼▲で番組を選び、 を押す

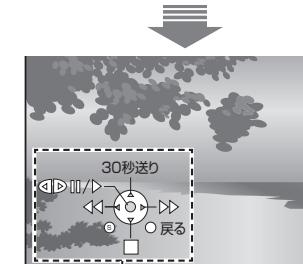
→選んだ番組の再生が始まります。

- 再生中の操作は(下記)
- 録画番組の消去やプロテクト設定変更について(40~43ページ)

再生中の操作(一時停止やサーチなど)

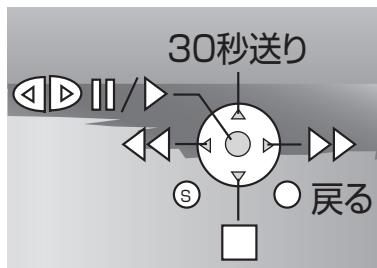
再生中に、 を押す

→操作パネルが表示されます。



操作パネル
(しばらくすると表示は消えます。)

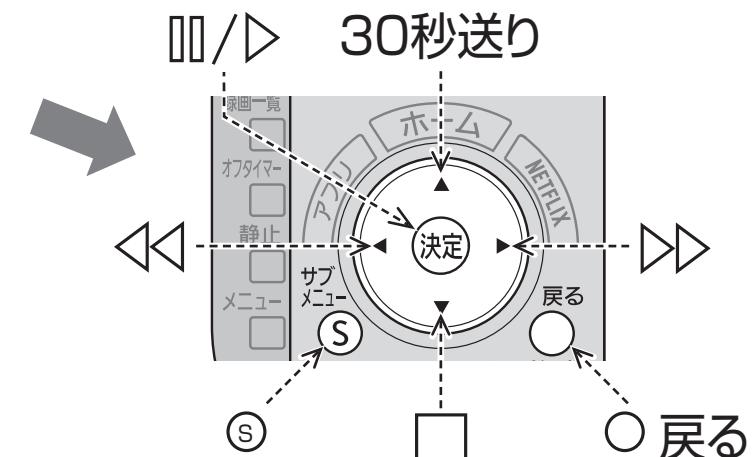
操作パネルを表示中に、操作パネルに応じたリモコンのボタンを押してください。(操作内容の詳細は下記の表を参照ください。)



一時停止やサーチなどのボタンを押すと操作パネルの表示が変わります。

操作パネルが消えたときは、再度、 を押してください。

操作パネルのボタンは、リモコンのボタン位置に対応しています。



操作内容	操作ボタン	
通常の再生に戻す		一時停止中、早送り中、早戻し中から通常の再生画面に戻します。
一時停止		番組の再生を一時停止します。 一時停止中◀▶で再生位置を選択できます。
停止		番組の再生を停止します。
早送り(サーチ▶)		押すごとに、速度が速くなります。(5段階)
早戻し(◀サーチ)		押すごとに、速度が速くなります。(5段階)
30秒先へスキップ再生		1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。

■操作パネルを消す
 を押す

■再生中のカラーボタンの操作について
 (S) を押す

カラー ボタンの操作メニューが表示されます。

カラー ボタン	内蔵ハードディスク・USBハードディスク
青	スキップ再生(戻り)
赤	スキップ再生(送り)
緑	チャプター一覧
黄	ABリピート

リモコンについて

- 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

テレビのメーカー設定

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。
(電源の入切、入力の切り換え、チャンネル選局、音量調整)

■設定方法

 テレビ ボタンを押したまま、下表よりお手持ちのテレビのメーカーに対応するボタンを選び、順番に押す。(工場出荷時はパナソニック(新1)に設定)

テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す
パナソニック(新1)	1あ.と1あ.	シャープ(1)	4たGHJと5なJKL	NEC(2)	6はMNOと6はMNO
パナソニック(新2)	1あ.と2かABC	シャープ(2)	4たGHJと6はMNO	AIWA	7まPORSと1あ.
パナソニック(旧)	1あ.と3さDEF	シャープ(3)	4たGHJと7まPORS	FUNAI	7まPORSと2かABC
パナソニック(新3)	1あ.と4たGHJ	三菱(1)	5なJKLと1あ.	LG	7まPORSと3さDEF
パナソニック(新4)	1あ.と5なJKL	三菱(2)	5なJKLと2かABC	オリオン(1)	7まPORSと4たGHJ
ビクター	2かABCと1あ.	三菱(3)	5なJKLと3さDEF	オリオン(2)	7まPORSと5なJKL
東芝	2かABCと5なJKL	三菱(4)	5なJKLと4たGHJ	オリオン(3)	7まPORSと6はMNO
日立(1)	3さDEFと1あ.	富士通ゼネラル(1)	5なJKLと5なJKL	ハイセンス(1)	7まPORSと7まPORS
日立(2)	3さDEFと2かABC	富士通ゼネラル(2)	5なJKLと6はMNO	ハイセンス(2)	7まPORSと8たUVW
日立(3)	3さDEFと3さDEF	三洋(1)	6はMNOと1あ.	ハイセンス(3)	7まPORSと9らWXY
日立(4)	3さDEFと4たGHJ	三洋(2)	6はMNOと2かABC	EPSON	8やTUVと1あ.
SONY(1)	3さDEFと5なJKL	三洋(3)	6はMNOと3さDEF		
SONY(2)	3さDEFと6はMNO	三洋(4)	6はMNOと4たGHJ		
パイオニア	4たGHJと1あ.	NEC(1)	6はMNOと5なJKL		

お知らせ

- 各メーカーの仕様により、専用リモコンがないと操作ができなかったり、動作しないボタンがある場合があります。
- 同一メーカーで設定が2種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。
- 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
- 電池の交換などで設定が戻り、テレビの操作が出来なくなる場合があります。その時は、再設定してください。
- 一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。
- 当社製テレビの場合、パナソニック(新3)またはパナソニック(新4)に設定すると、を押すことで入力の切り換えおよびテレビの放送に切り換えができます。切り換えることができない場合やテレビの放送に切り換えたくない場合は、パナソニック(新1)、パナソニック(新2)、パナソニック(旧)のいずれかに設定してください。

リモコンモードの設定

本機を複数台使用される場合、他のリモコンからの動作を防ぐためにリモコン発信器のモードを変えることができます。

本機側の設定

- 1  を押す
- 2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す
- 3 ▲▼で「放送設定」を選び、 を押す
- 4 ▲▼で「設置設定」を選び、 を押す
- 5 ▲▼で「リモコンモード」を選び、 を押す
- 6 ◀▶でモードを選ぶ
(例)リモコン2を選んだとき

リモコンモードの設定		
リモコンモードを選択してください。		
現在の設定: リモコン 1		
リモコン1	リモコン2	リモコン3

リモコン側の設定

- 7  を押しながら、1あ.、2かABCを順番に押し、 を押す
- (例)リモコン2を選んだとき
- | |
|---|
| リモコンモードの設定 |
| リモコンの“決定”を押しながら、“1”、“2”を押して変更してください。
「戻る」ボタンで画面を消去します。 |
| リモコン1 リモコン2 リモコン3 |
- 「リモコン1」を選んだときは1あ.、1あ.
「リモコン3」を選んだときは1あ.、3さDEFを順番に押します。

お知らせ

- 本機側とリモコン側でリモコンモードの設定が異なっている場合にリモコンで操作を行うと、電源表示ランプが点滅(赤色/橙色/緑色)します。

リモコンボタンでの入力文字一覧表

入力文字 ボタン	かな	カナ	英数	数字
1あ.	あいうえお	アイウエオ	@ . / : ~ - # \$ % * + =	1
2かABC	かきくけこ	カキクケコ	a b c A B C	2
3さDEF	さしすせそ	サシスセソ	d e f D E F	3
4たGHJ	たちつてとつ	タチツテトツ	g h i G H I	4
5なJKL	なにぬねの	ナニヌネノ	j k l J K L	5
6はMNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	m n o M N O	6
7まPORS	まみむめも	マミムメモ	p q r s P Q R S	7
8やTUV	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	t u v T U V	8
9らWXY	らりるれろ	ラリルレロ	w x y z W X Y Z	9
10さDEF ⁰	、。？！・（）	、。？！・（）	- , ; ' " ? ! & ¥ ()	0
11わZWX [*]	わをんわー	ワヲンワー	<> [] { } 0	*
12#	改行	改行	改行	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。(例:「い」を入力するときは1あ.を2回押す)
未確定の文字があるときに12#を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 「英数」と「数字」は半角で入力されます。(▼を押すと全角に変換されるものもあります)
- 濁点や半濁点を入力するときは→文字に続けて10⁰を押す

アイコン一覧

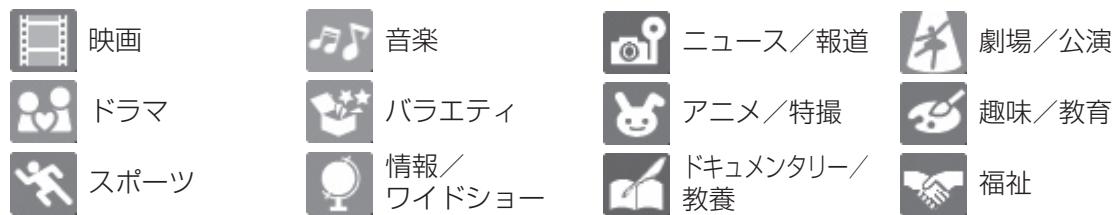
- 本機はアイコン(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

 テレビ	テレビ放送(映像+音声)の番組	 ラジオ	ラジオ放送の番組
 データ	データ放送の番組	 dテレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
 +dテレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組	 dラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
 +dラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組	 16:9 4K	番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9, 4:3) 下:信号方式 (4K, 1080p, 1080i, 720p, 480p, 480i)
 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組	 モノラル	モノラル音声の番組
 ステレオ	ステレオ放送の番組	 主+副	二重音声信号で、「主+副」音声の番組
 デジタル XCOPY	デジタルコピーガードが、かかっている番組(デジタルで録画できません)	 サラウンド	5.1chなどのサラウンド放送の番組
 アナログ XCOPY	アナログコピーガードが、かかっている番組(アナログで録画できません)	 有料	有料のデータを含む番組(ペイ・パー・ビュー番組) CATV放送では表示されません
 制限 COPY	「ダビング10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組	 マルチビュー	マルチビュー放送の番組 CATV放送では表示されません
 デジタル 1COPY	「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組	 字幕	番組の中に字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組
	●「デジタル1COPY」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。	 20 才~	視聴年齢制限がある番組(表示される年齢は4~20才まであります)

番組ジャンル

●番組をジャンル別に検索するときに選ぶ。(☞ 22ページ)



●別に、ジャンル名をイラスト化して表示しているアイコンがあります。

予約一覧画面

 見るだけ	見るだけ予約した番組	 検索中	時間変更追従を実行中(時間確認中)	
 録画 HDD	 録画 USB HDD	 録画 LAN	録画予約した番組 (下:録画機器、方式)	
 月~土	 月~金	 毎日	 毎週	毎週、毎日、曜日指定での予約
 重複	予約時間が重なっている予約	 注目番組	注目番組の予約	
 実行中	現在、実行中の予約	 済	予約時間が終了した予約	
 警告	LAN録画の予約登録を行ったが、ネットワーク接続や外部録画機器の状態により、予約情報が外部録画機器に登録されていない場合			

録画一覧画面/その他の画面

 未	未視聴番組	 成功	ダビングが正常に終了した場合
 録画中 (赤)		 失敗	ダビングが正常に終了しなかった場合
 プロテクトのかかった録画番組		 再実行	「あとからダビング」が再実行の待機中
 ダビング中 (青)		 メール	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)
 D	「あとからダビング」に登録されている録画番組	 メール	メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール(既読メール)
 (!) (青)	ダビングが失敗した録画番組	 予	番組表で予約された番組 白色: LAN録画予約 赤色: 内蔵ハードディスク録画予約 USBハードディスク録画予約 青色: 見るだけ予約
 まとめ	まとめ番組		
 4K	4K放送の録画番組		

設定メニュー

設定メニュー	設定項目	詳細設定項目	ページ
放送設定	システム設定	字幕の設定	70
		制限項目設定	73
		録画設定	70
		選局対象	71
		二重音声設定	71
		タイトル表示	71
		前面パネル輝度	71
		選局入力方式	72
		チャンネルアップダウン	71
		音声ガイドの設定	72
		ハイブリッドキャスト	72
		チャンネル設定	84
		番組表設定	87
		地域設定	87
		クイックスタート	90
	無操作自動オフ	90	
	C-CASカードテスト	90	
	B-CASカードテスト	90	
リモコンモード	111		
接続テレビ設定	88		
放送ダウンロード予約	99		
設定リセット	個人情報リセット	100	
	HDDのフォーマット	100	
接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)設定	101	
	USB機器一覧	30	
	USB HDD機能待機	31	
	デジタル音声出力	102	
ネットワーク関連設定	LAN通信設定	92	
	プロキシサーバー設定	95	
	本機の名称変更	96	
	お部屋ジャンプリンク設定	96	
	リモートプレーヤー設定	98	
	宅外リモート接続設定	98	
	ソフトウェアの更新確認	99	
	ソフトウェアの更新通知	99	
情報を見る	放送メール	76	
	購入記録	76	
	購入記録送信結果	76	
	ICカード	76	
	ボード	77	
	ステータス表示	77	
	ライセンス情報	77	
	ルート証明書	77	
	ダビング履歴	77	

お知らせ

- 詳細については該当のページをご覧ください。
- メニュー操作で設定画面を表示させたとき、設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

同時動作と優先動作について

左列の動作を実行中に、各動作をした場合、以下のような優先動作になります。

- HDD録画：内蔵ハードディスク録画またはUSBハードディスク録画
HDD再生：内蔵ハードディスク再生またはUSBハードディスク再生

■ 同時動作対応表

(○：実行できる / ×：実行できない)

実行中の動作	新たな動作	放送番組の視聴 / 選局	即時録画(HDD)	HDD録画予約	LAN録画予約	HDD再生	お部屋ジャンプリンク再生	ダビング	ホームサーバー機能	ブラウザ
		放送番組の視聴中	○	○	○	○	○	○	○ ^{※1}	
1番組をHDD録画中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2番組をHDD録画中	○	×	×	×	○	○	○	○ ^{※2}	○	×
1番組をHDD録画中 + HDD再生中	×	×	○	○	×	×	×	○ ^{※3}	○ ^{※3}	×
HDD再生中										
2番組をHDD録画中 + HDD再生中	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
LAN録画中	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×
LAN録画中 + HDD録画中	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×
お部屋ジャンプリンク再生中	×	×	○	○ ^{※4}	×	×	×	×	×	×
ダビング中	○	○ ^{※5}	○ ^{※5}	○ ^{※6}	○	○	×	×	× ^{※7}	× ^{※7}
ダビング中 + 1番組をHDD録画中	○	○	○	○ ^{※6}	○	○	×	×	× ^{※7}	× ^{※7}
ダビング中 + 2番組をHDD録画中	○	×	×	×	○ ^{※2}	×	×	×	× ^{※7}	× ^{※7}
ホームサーバー機能	録画配信中	○ ^{※8}	○ ^{※9}	○ ^{※9}	○ ^{※10}	○ ^{※11}	○ ^{※12}	○ ^{※7}	○ ^{※10}	×
	放送配信中	○ ^{※8}	○ ^{※9}	○ ^{※9}	○ ^{※10}	○ ^{※11}	○ ^{※12}	○ ^{※7}	○ ^{※10}	○ ^{※12}
ブラウザ実行中	×	×	○	○ ^{※13}	×	×	×	×	×	×

※1 4K放送視聴中は、解像度変換を伴うホームサーバー機能は動作しません。

※2 2番組同時録画と同時にダビングを実行中に、ハードディスクに録画した番組を再生すると、ダビングは停止されます。

※3 4K録画番組や4Kコンテンツの再生中は、解像度変換を伴うホームサーバー機能は動作しません。

※4 LAN録画の開始でお部屋ジャンプリンク再生は停止されます。

※5 1番組を録画、ダビングとハードディスクに録画した番組の再生を同時にしているときに、さらにもう1番組を録画開始(ハードディスク録画、LAN録画)すると、ダビングは停止されます。

※6 LAN録画の開始でダビングは停止されます。

※7 動作優先順位により動作が異なります。

LAN録画>いますぐダビング>ホームサーバー機能・あとからダビング
(ホームサーバー機能、あとからダビングは先に動作している方が優先されます。)

※8 4K放送の視聴で、解像度変換を伴うホームサーバー機能は停止されます。

※9 2番組録画で放送配信は停止されます。(録画配信は停止されません。)

※10 ホームサーバー機能実行中にLAN録画、ダビング、または各種ネットワークアプリを実行すると、ホームサーバー機能は停止されます。

※11 4K録画番組の再生で、解像度変換を伴うホームサーバー機能は停止されます。

※12 ホームサーバー機能実行中にお部屋ジャンプリンク再生、ブラウザ、または各種ネットワークアプリを実行したとき、およびメディアプレーヤーの状態によっては、ホームサーバー機能は停止されます。

※13 LAN録画の開始でブラウザや各種ネットワークアプリは停止されます。

故障かな!?

症 状	原 因 と 処 置	ページ
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受信部に向けて操作していますか？ ●電池の交換により、リモコン設定が変わることがあります。 ●本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が違っていますか？(電源表示ランプが点滅[赤色/橙色/緑色]している) ●受信異常ににより、本機の操作ができなくなる場合があります。 →本体前面(扉内)にあるリセットボタンを押してくださいが電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み動作を確認してください。 	11 8 110 111 6 8 9
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。 	—
チャンネル番号が画面から消えない	<ul style="list-style-type: none"> ●画面表示ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか？ →再度、画面表示ボタンを押してください。 	15
横長映像や縦長映像になる	<ul style="list-style-type: none"> ●「接続テレビ設定」が、接続されているテレビに合っていますか？ ●ワイドテレビの場合、映像に合った画面モードに設定されていますか？ 	88 —
電源が入らなくなつた (電源表示ランプが消灯状態)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを一度抜き、1分間程度おいてから再度電源プラグを差込み、電源を入れてください。 →症状が改善しない場合は、ケーブルテレビ局にご相談ください。 	8
電源を入れても映像がすぐに出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。 ●クイックスタート「入」に設定すると、出画時間を早くすることができます。 	— 90
電源「切」時に「D」表示が点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●自動的に放送情報を受信するため、「D」(データ)表示が一時的に点灯する場合があります。 (通常、深夜から早朝) 	—
映像も音も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビ側の入力切換(テレビ/ビデオ)は間違っていますか？ 	—
画質や音質が少し悪くなつた	<ul style="list-style-type: none"> ●降雨対応放送になつていますか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り替える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。 	120

症 状	原 因 と 処 置	ページ
字幕や文字スーパーが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●メニュー画面などが表示されていませんか？ →元の画面ボタンを押して、メニューや操作説明画面などを消してください。 ●「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていますか？ →「オン」にしてください。 ●「字幕の設定」の「字幕言語」や「文字スーパー言語」の設定が放送の言語と一致していますか？ →放送の言語に設定を合わせてください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。 	— 70 70 112
有料放送の視聴ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ICカードは正しく挿入されていますか？ ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。 ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。 	79 — 80 93
画面に「購入できませんでした。」などが表示され、購入または予約ができない状態が続く	<ul style="list-style-type: none"> ●ICカードは正しく挿入されていますか？ ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。 	79 80 93
見るだけ予約が実行されない	<ul style="list-style-type: none"> ●見るだけ予約をして、電源が「切」になつていますか？ →見るだけ予約した場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。 	35
時間指定予約で英語の音声が録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ●英語が第一音声で放送されていますか？ →デジタル放送では、第一音声と第二音声の2つの音声がある番組や、主音声と副音声がある二重音声の番組があります。 音声切換 を押して確認してください。 	15
天面に触れると熱い	<ul style="list-style-type: none"> ●本機は放熱のため天面の一部で温度が高くなります。 品質・性能には異常ありません。 (風通しの良い所に設置してください。) 	6

故障かな！？

症 状	原 因 と 処 置	ページ	症 状	原 因 と 処 置	ページ
無線LAN使用時、映像が途切れたり、接続が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●無線方式が11n(5 GHz)対応のアクセスポイントを使用していますか？ ●11n(5 GHz)対応のアクセスポイントを使用している場合、アクセスポイントの設定を無線方式11n(5 GHz)にしていますか？（詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。） ●電波を使う機器が近くにある場合は、機器から離してご使用ください。（電子レンジ、デジタルコードレス電話機など） ●本機またはアクセスポイントを、良好な電波状態が確保できる場所に移動してください。 ●アクセスポイントの無線チャンネルを変更することで症状が改善することがあります。（詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。） 	83 83 83 — —	録画予約が正常にできない（USBハードディスク録画）	<ul style="list-style-type: none"> ●動作確認済みのUSBハードディスクを使用しているか確認してください。 ●USBハードディスクと本機が正常に接続されているか確認してください。 ●USBハードディスクが事前に機器登録されているか確認してください。 ●予約開始5分以上前にUSBハードディスクの電源が入っていなかったため、録画を実行できなかった可能性があります。予約開始前にUSBハードディスクが録画可能な状態であることを確認してください。 ●USBハードディスクの容量が不足している場合は正しく録画できません。予約開始前にUSBハードディスクが録画可能な状態であることを確認してください。 	28 28 30 — 30
録画予約が正常にできない（内蔵ハードディスク、USBハードディスク録画共通）	<ul style="list-style-type: none"> ●番組のコピー制限により、録画されなかた可能性があります。予約一覧の履歴で確認してください。 ●録画予約時に停電などが発生したために正しく録画予約を実行できなかた可能性があります。予約一覧の履歴で確認してください。 ●録画予約開始時にICカードが正しく挿入されていなかた可能性があります。予約一覧の履歴で確認してください。 ●録画予約開始時の契約状態により、正しく録画されなかた可能性があります。予約一覧の履歴で確認してください。 	38 38 79 38 38	録画した番組が視聴できない（USBハードディスク録画）	<ul style="list-style-type: none"> ●USBハードディスクと本機が正常に接続され、USBハードディスクの電源が入っているか確認してください。 ●機器登録を削除したUSBハードディスクは、これまでに録画した番組は再生できなくなります。 	28 29
録画予約が正常にできない（LAN録画）	<ul style="list-style-type: none"> ●予約開始時に外部録画機器の電源が入っていなかたため、LAN録画を実行できなかた可能性があります。 予約開始前に外部録画機器が録画可能な状態であることを確認してください。 ●予約開始時にLANが正常に動作せず、LAN録画を実行できなかた可能性があります。LANケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。 	— 80～83 92～96	LAN録画した番組が視聴できない（お部屋ジャンプリンク）	<ul style="list-style-type: none"> ●外部録画機器の電源が「切」または異常状態になっていると正しく視聴できません。外部録画機器の電源を「入」して再度確認してください。 ●外部録画機器と正常に接続できていないと正しく視聴できません。LANケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。 	— 80～83 92～96
予約が正常にできない（LAN録画）	<ul style="list-style-type: none"> ●外部録画機器と本機が正常に接続できていないと正しく予約できません。LANケーブルの接続や外部録画機器の設定を確認してください。 ●外部録画機器に重複する予約があると正しく予約できない場合があります。外部録画機器の予約を確認・変更し、再度予約してください。 ●外部録画機器が異常状態になっている場合など、正しく予約できないことがあります。外部録画機器を再起動し、再度予約してください。 	80～83 — —	ダビングが正常にできない（ダビング）	<ul style="list-style-type: none"> ●外部録画機器の電源が「切」または異常状態になってると正しくダビングができません。外部録画機器の電源を「入」して再度確認してください。外部録画機器の動作仕様については、外部録画機器の取扱説明書を参照してください。 ●外部録画機器と正常に接続できていないと正しくダビングできません。LANケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。 ●ネットワーク接続による機能の優先動作や、外部録画機器側の状態（電源が「切」になっている、外部録画機器側での録画予約が開始される等）によりダビングできないことや、中止することができます。「あとからダビング一覧」「ダビング履歴」でダビングの状況を確認してください。 ●ダビング時に停電などが発生したために正しくダビングを実行できなかた可能性があります。ダビング履歴一覧で確認してください。 	— 80～83 92～96 50 77
外部録画機器が正常に登録できない（LAN録画）	<ul style="list-style-type: none"> ●外部録画機器の電源がオフまたは異常状態になっている場合など、正しく登録できないことがあります。外部録画機器を再起動し、「録画機器の情報を表示」でLAN録画に対応していることを確認してから再度登録してください。 ●外部録画機器と正常に接続できていないと正しく登録できません。LANケーブルの接続や外部録画機器の設定を確認してください。 	44 80～83	外部録画機器を登録できない（ダビング）	<ul style="list-style-type: none"> ●外部録画機器と本機が正常に接続できていないと正しく登録できません。LANケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。 ●外部録画機器が本機からのダビングに対応していることを確認してください。「録画機器の情報を表示」で確認できます。 ●外部録画機器側の動作制限（他の録画予約を実行しているなど）、異常状態になっているなどの場合、正しくダビングの登録ができないことがあります。外部録画機器の動作仕様については、外部録画機器の取扱説明書を参照してください。 	80～83 92～96 44 —

故障かな？

必要なとき

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。

主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容
購入できません。本機の接続・設定を確認のうえ、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	購入記録が送信できず、ICカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。ネットワークの接続・設定をご確認ください。(☞ 80、92ページ)
現在、受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。 視聴するには、「決定」ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。決定ボタンで、再度選局操作が行えます。
気象条件などにより、信号品質が低下しています。	雨等の影響により、衛星からの電波が弱くなつたため、ケーブルテレビ局で引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えると表示されます。画質、音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。「決定」ボタンで選局、「戻る」ボタンで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まると表示されます。必ず放送内容を確認するようにしてください。
C-CASカードを正しく挿入してください。	ICカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されると表示されます。本機専用のICカードを正しく挿入してください。(☞ 79ページ)
B-CASカードを正しく挿入してください。	ICカードが挿入されていない場合にも表示されます。
C-CASカード(またはB-CASカード)の交換が必要です。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	ICカードの交換が必要なときに表示されます。ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
このC-CASカード(またはB-CASカード)は使用できません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	●ケーブル宅内線の接続不良などでケーブル入力信号が正しく入力されていないと表示されます。ケーブル宅内線の接続などを確認してください。 ●天候の影響などでケーブルテレビ局において受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局していると表示される場合があります。
信号が受信できません。ケーブルの接続を確認してください。接続に問題がない場合は、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	視聴制限のチャンネルスキップ設定でスキップ設定したチャンネルを選局しています。(☞ 74ページ)
チャンネル制限が設定されている為選局できません。	視聴制限のチャンネルスキップ設定でスキップ設定したチャンネルを選局しています。(☞ 74ページ)
このチャンネルはご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
視聴条件によりご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	このチャンネルは契約されていません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。
ご契約の確認をしております。 しばらくお待ちください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。しばらく待って選局されない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

メッセージ	内容
HDDがいっぱいのため、録画できません。	USBハードディスクまたは、内蔵ハードディスクがいっぱい空き容量が不足しているため、録画できません。不要な録画番組を消去してください。(☞ 43ページ)
表示できるデータがありません。	本機は、SDメモリーカードおよびUSB機器に記録された静止画ファイル(JPEG形式)、動画ファイル、音楽ファイルを表示/再生できます。SDメモリーカードおよびUSB機器に表示/再生可能なデーターがありません。
システムの復旧に失敗したためセーフモードに移行します。	本機は、セーフモードに移行しています。「アプリ」、「番組表」、「録画一覧」などのリモコンのボタンが動作しない状態です。数字ボタンでチャンネルを選局して視聴することはできます。本機前面の扉を開け、リセットボタンを押してください。それでも症状が改善されない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
セーフモード中には起動できません。	

ブラウザ関連のメッセージ表示

ネットワーク設定の接続テスト時やブラウザ使用時の主なエラーメッセージと内容は、下記の通りです。

メッセージ	内容
IPアドレスが設定されていません。 本機の「ネットワーク関連設定」をご確認ください。(C201)	●LANケーブル、LANケーブルの接続、LAN端子の接触不良などを確認してください。
IPアドレスが取得できませんでした。 接続や設定をご確認ください。(C203)	●IPアドレス/DNS設定で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の設定を確認してください。
接続テストに失敗しました。 ゲートウェイが応答しません。 接続や設定をご確認ください。(C207)	(☞ 93、94ページ) ●ルーターの設定や動作を確認してください。
IPアドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。(C204)	本機と同じIPアドレスが他の機器に使われています。他のパソコンや、本機、ルーターのIPアドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。
接続テストを実行できませんでした。(C205)	一度、本機の電源プラグをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
接続先サイトの証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？サイト名：○○○○	接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをお勧めします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

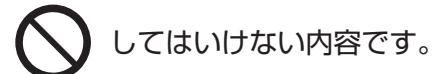
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

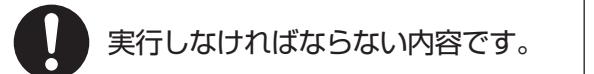
！ 警告 「死亡や重傷を負うおそ
れがある内容」です。

！ 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

！ 警告

異常・故障について

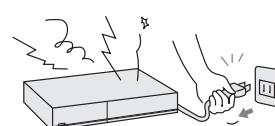
異常・故障時は直ちに使用を中止してください



電源プラグ
を抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- ・煙が出たり、異常な臭いや音がする
 - ・映像や音声が出ないことがある
 - ・内部に水などの液体や異物が入った
 - ・本機に変形や破損した部分がある
- そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- すぐに電源プラグをコンセントから抜いてケーブルテレビ局に修理をご相談ください。
 - お客様による修理は危険ですから、おやめください。



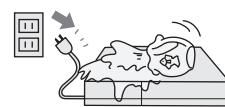
水ぬれについて



水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください

火災・感電の原因に
なります。



誤飲防止について



■メモリーカード類は、乳幼児の手の 届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと
思われるときは、
すぐに医師にご相談
ください。



雷について



接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、 アンテナ線や本機には 触れないでください

感電の原因になります。

異物について



■内部に金属類・燃えやすいものなどの 異物を入れないでください

火災・感電の原因に
なります。

- 特にお子様には
ご注意ください。



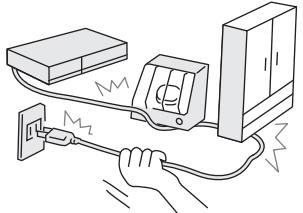
！ 警告

電源コード・電源プラグについて



■破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲
げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる
など)



火災・感電・ショートなどの原因になります。

- 修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。



■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコン セントは使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因
になります。

- 修理は、ケーブルテレビ局に
ご相談ください。



■交流 100 V以外で使用しないで ください

■コンセント・配線器具の定格を 超えて使わないでください

■たこ足配線などをしないでくだ さい

発熱による火災の原因にな
ります。



ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグの 抜き差しをしないで ください

感電の原因になります。



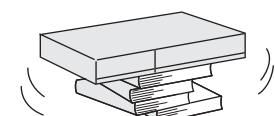
分解禁止について



■カバーを外したり、本機を改造 しないでください

火災・感電の原因になります。

- 内部の点検・調整・修理は
ケーブルテレビ局にご相談
ください。



安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

無線 LANについて

次の安全上のご注意は、無線LANご使用時に適用されます。

 ■本機を医療機関や医療機器のある場所には設置しないでください
本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因となります。

 ■自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近くで使用しないでください
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因となります。

 ■本機は心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください
本機からの電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

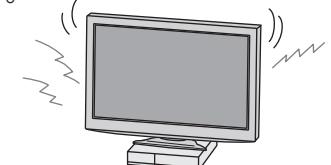
本機の取り扱いについて

 ■乗らないでください
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



 ■接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください
火災・感電の原因になることがあります。

 ■上に物を置かないでください
落下してけがの原因になることがあります。

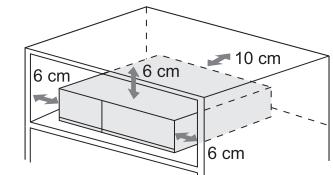


 ■接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないよう処理を行ってください
火災・感電・けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

設置について

 ■通風孔をふさがないでください
■風通しの悪い狭い所で使用しないでください
■あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
●テレビ台などに設置した場合、上側が6cm以上、左右が6cm以上、後側が10cm以上の間隔をあけて据えつけてください。



 ■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください
火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグについて

 ■長期間使用しないときはコンセントから抜いてください
電源プラグ 電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

 ■電源プラグを持って抜いてください
電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

電池の取り扱いについて

 ■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

 ■極性(プラス+とマイナス-)を逆に入れないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。
(☞ 11ページ参照)

移動について

 ■移動させる前に接続線などを外してください
(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線)
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

お手入れについて

 ■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください
感電の原因になることがあります。

仕様

本体

品名	CATV デジタルセットトップボックス
品番	TZ-HXT700PW
使用電源	AC100 V 50 Hz / 60 Hz 両用
消費電力	電源オン 32 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 14 W
デジタル放送	● 受信変調方式 : 64QAM / 256QAM(Annex.C) 受信周波数帯域 : 90 MHz~1000 MHz 入力レベル : 49~81 dB μV(平均値) ※64QAM ● 受信変調方式 : OFDM 受信周波数帯域 : 90 MHz~770 MHz 入力レベル : 47~81 dB μV(平均値)
ハードディスク容量	2 TB
接続端子	● ケーブル端子 : F型接栓、75 Ω ● 分配出力端子 : F型接栓、75 Ω ● 光デジタル音声出力端子 : -18 dBm 660 nm ● HDMI映像・音声出力端子 ● SDメモリーカード挿入口(SDHC・SDXCメモリーカード対応) ● LAN(100BASE-TX)端子 ● USB1 端子(AV周辺機器用) : USB2.0、DC5 V MAX500 mA ● USB2 端子(録画用 USB HDD) : USB3.0、DC5 V MAX900 mA
外形寸法	幅 36.0 cm · 高さ 5.9 cm (脚含む) · 奥行き 25.9 cm (突起部含む)
質量	約2.7 kg
環境条件	使用周囲温度範囲 5 ℃~ 40 ℃ 許容相対湿度範囲 10 %~ 80 % (結露のないこと)
リモコン	DC3 V (単3形マンガン乾電池2個使用)
操作距離・範囲	約7 m以内 (本体正面距離)、左右各約30°以内、上下各約15°以内
質量	約160 g (乾電池含む)

ブラウザ仕様

記述言語	HTML4.0 準拠	モノメディア(静止画)	JPEG、PNG、GIF
スタイルシート規格	CSS1/CSS2 (Subset)	プラグイン	なし
動作記述言語	JavaScript 1.5/ECMAScript (ECMA-262)	文字入力	画面キーボード方式、 リモコン(携帯電話)方式
セキュア通信	SSL2.0/SSL3.0/TLS1.0	画面解像度	800 × 450
Cookie	バージョン0	カラーモデル	フルカラー

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- ※ 本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみです。
外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- * This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services. Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.
- 本機で利用できるサービスの内容や画面は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。

無線LAN使用上の注意

■ 使用周波数帯

無線LANは2.4 GHz帯と5 GHz帯の周波数帯を使用します。

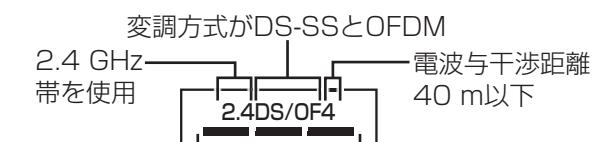
他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、ご加入のケーブルテレビ局にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。

■ 無線LANの周波数表示の見かた (本機背面に記載)



2.400 GHz~2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 分解／改造する
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがす

■ 使用制限

- ・ 日本国でのみ使用できます。
- ・ 法令により本機の5 GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

■ 無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n
使用周波数範囲/チャンネル(中心周波数)	2.412 GHz~2.472 GHz /1~13ch 5.180 GHz~5.240 GHz /W52:36, 40, 44, 48ch 5.260 GHz~5.320 GHz /W53:52, 56, 60, 64ch 5.500 GHz~5.700 GHz /W56:100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES) WPA-PSK(TKIP/AES) WEP(64bit/128bit)

商標などについて

- SDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
 - HDAVI Control™は商標です。
 - HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
 - DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
 - “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
 - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
 - 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
 - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - ・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
 - 詳細については米国法人MPEG LA, LLC(<http://www.mpegla.com>)を参照ください。
 - ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
 - Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
 - 米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
 - 天災、システム障害その他の事由により、電子番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社は電子番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
 - 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” ©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
 - 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2015
 - デジタルアーツ/i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
 - Android、アンドロイドは、Google Inc. の商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、ボタンを押し、「設定メニュー」→「情報を見る」→「ライセンス情報」→「ソフト情報表示」をご参照ください。

お手入れについて

キャビネットをいためないように次の点にお気をつけください。

- 殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなど揮発性のものをかけないでください。
変質したり、塗料がはげことがあります。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。
- 汚れは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた台所用洗剤(中性)に浸した布をかたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

Web Browser 利用規約

パナソニック株式会社およびその関係会社(以下、総称して「パナソニック」という)が提供する「本ソフトウェア」および「本サービス」を利用する利用者(以下、「利用者」という)は、その利用に関して、以下の条件に同意することにより「本ソフトウェア」および「本サービス」を利用できる権利を得られることを確認し、以下の利用規約に同意するものとします。

「本ソフトウェア」とは、パナソニックのIP対応製品上で利用可能な「本サービス」を利用するためには必要なパナソニックが提供するソフトウェア(パナソニックが提供するアップグレード・アップデート版を含みます)をいいいます。

「本サービス」とは、パナソニックのIP対応製品上で利用できるIPサービスを通じて提供されるウェブブラウザサービス(パナソニックが提供するアップグレード・アップデート版を含みます)をいいます。

1. パナソニックは「本ソフトウェア」および「本サービス」を、利用者への予告無く変更することがあります。
2. パナソニックは「本ソフトウェア」および「本サービス」を、利用者への予告無く停止することがあります。
3. 利用者は、法的に明文で認められている場合、または、パナソニックからの事前の書面承諾を得ている場合を除き、「本ソフトウェア」および「本サービス」を複製、改変、派生物の作成、リバースエンジニアリング等を自ら実施したり、第三者に当該行為を実施させたりしてはならないものとします。
4. パナソニックまたはパナソニックのサプライヤーは、「本ソフトウェア」の所有権を保持します。
5. 利用者は、「本ソフトウェア」および「本サービス」がパナソニックから現状有姿にて提供されていることを理解し、それらを自らの責任で利用することに合意するものとします。
6. 利用者は、パナソニックおよびそのライセンサーが「本ソフトウェア」および「本サービス」に関して、以下の保証を始めとする一切の明示的または黙示的な保証を行なうものではないことについて合意します。
 - (A)「本ソフトウェア」および「本サービス」が利用者の求める特定の目的に適合すること。
 - (B)「本ソフトウェア」および「本サービス」の使用が安全で、瑕疵がないこと。
 - (C)「本ソフトウェア」および「本サービス」を通じて利用者が取得できる情報が正確であること。
 - (D)「本ソフトウェア」および「本サービス」に瑕疵があった場合、それが修正されること。
 - (E)「本ソフトウェア」および「本サービス」が任意のウェブサイトを正確に表示すること。
7. 「本ソフトウェア」および「本サービス」を用いた情報の取得は利用者自らのリスクにおいて行われるものであり、それによって生じるいかなる損害も利用者の責任であり、パナソニックは一切の責任を負わないものとします。
8. 法令により禁止されない限り、パナソニックおよびそのライセンサーは、利用者に対して、「本ソフトウェア」および「本サービス」の使用、内容の変更、停止、データの消失、データの取得失敗、その他、あらゆる利用者の「本ソフトウェア」および「本サービス」の使用または使用不能に起因するまたは関連する直接的または間接的な損害、特別損害、派生的損害、人身損害、懲罰的損害賠償、逸失利益、データの消失、事業の中止、その他のあらゆる損害について、たとえ当該損害の可能性を示唆されていた場合であつたとしても、一切の責任を負いません。

英数字	ページ
■3D番組	69
■3桁入力	12
■480p、720p、1080i、1080p	88
■4K放送	4
■ABリピート	41
■B-CASカード	79
■B-CASカードテスト	90
■BSデジタル	4
■CATVデジタル	4
■C-CASカード	79
■C-CASカードテスト	90
■ECOスタンバイ	101
■HDMI出力解像度	88
■HDMI端子	9、78
■ICカードの挿入	79
■JLabs対応機器	4、5、44~46、56
■LAN通信設定	92
■LAN録画	4、33
■PCM	102
■SDメモリーカード	54、57
■USB機器一覧	30
■USB端子	9、28
■USBハードディスクの起動設定	31
■USBハードディスクのご注意	29
■USBハードディスクの接続・設定	28~31
■WAN端子	9、81
■Web Browser利用規約	129
■WPS	93

あ 行	ページ
■アイコン一覧	112
■あとからダビング	49~51
■アドリーライ	60
■暗証番号	73、74
■一番組限度額	73
■いますぐダビング	47、48
■裏番組	14
■枝番号	13
■オーディオ機器	102
■お好み選局(設定)	13、86
■お好みページ	66
■オフタイマー	18
■お部屋ジャンプリンク	44、96
■音声ガイド	69、72
■音声切換	15

か 行	ページ
■画面表示	10、15
■画面モード	19
■カラーボタン	10
■漢字変換	67、68
■簡単予約	21
■機器選択	43
■機器登録／取り外し／削除 (USBハードディスク)	30、31
■記号入力	67、68
■クイックスタート	90
■ケーブルテレビ宅内線の接続	78
■県域設定	87
■購入記録	76
■個人情報リセット	100
■コピーガード	16
■コンテンツ選択	43、56

さ 行	ページ
■サーチ	41
■再スキャン(チャンネル設定)	85
■再生中の操作	41
■サイドカット(画面モード)	19
■サブメニュー	18
■時間指定予約	35
■視聴可能年齢	73
■視聴購入	16
■視聴制限	73
■視聴制限一時解除	41、45
■自動チャプター	70
■字幕の設定	70
■ジャンル検索	22
■順送り選局	12、71
■仕様	126
■消音	10
■消費電力	126
■初期スキャン(チャンネル設定)	85
■スキップ再生	41
■ステータス表示	77
■接続テレビ設定	88
■設置設定	84~90
■設定メニュー	114
■設定リセット	100
■選局対象	71
■前面パネル輝度	71
■ソフトウェア更新(ネットワーク)	99

た 行	ページ
■ダウンロード	99
■宅外リモート接続設定	98
■ダビング	46
■ダビングモード	45
■ダビング履歴	77
■端末情報送信	64
■地域設定	87
■地上デジタル	4
■チャプター	42
■チャンネルアップダウン	12、71
■チャンネルスキップ設定	74
■チャンネル設定	84~86
■注目番組	24
■データ放送	25
■デジタル音声出力	102
■デジタル音声出力(光)端子	102
■テレビの接続	78
■テレビのメーカー設定(リモコン)	110
■電源表示ランプ	8

な 行	ページ
■内蔵ハードディスク(HDD)に関するご注意	7
■二重音声設定	71
■入力文字	67、68
■入力文字一覧表	111
■ネット操作	64
■ネットワーク関連設定	92~97

は 行	ページ
■ハイブリッドキャスト	25、72
■番組購入	16
■番組データ取得	21
■番組内容	14
■番組表	20
■番組表設定	87
■番組持ち出し	53
■番組予約	33~39
■番組を探す	22
■ビエラリンク(HDMI)	101、103~105
■ビットストリーム	102
■付属品	裏表紙
■ブラウザ	64~66
■ブラウザ仕様	126
■ブラウザ制限	65
■プレビュー	16
■プロキシサーバー設定	95
■プロテクト設定(上書き禁止)	42

ペイ・パー・ビュー	16
■放送メール	76
■放送を選ぶ	12
■ポータルサイト	64
■ボード	77
■ホームサーバー機能	52、96
■本機の名称変更	96

ま 行	ページ
■毎週一覧	39
■毎週予約(毎日・毎週 連続予約)	35、36
■まとめ番組	42、70
■マニュアル(チャンネル設定)	85
■マルチビュー放送	18
■見ている番組を録画する(即時録画)	32
■ミラーリング	61
■見るだけ予約	35
■無線LAN	82、92、127
■無操作自動オフ	90
■メッセージ表示一覧	120
■メディアプレーヤー	56
■文字スーパー	70
■文字入力	67、68

や 行	ページ
■有害サイトの閲覧制限	97
■有料番組	16
■予約一覧(変更／取り消し)	38
■予約重複確認	39
■予約方式	34

ら 行	ページ
■ライセンス情報	77
■リモート視聴	98
■リモートプレーヤー設定	98
■リモコン受信部	8
■リモコンモード	111
■ルート証明書	77
■録画一覧	40
■録画機器	36
■録画購入	16
■録画時間のめやす	26、40
■録画設定	70
■録画停止	32
■録画番組の自動消去	70
■録画番組を消去する	43
■録画番組を見る	40
■録画予約	33~39